

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

平成 23 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の性格	1
	(1) 調査地域	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査対象者数	1
	(4) 抽出方法	1
	(5) 調査方法	1
	(6) 調査期間	1
	(7) 回収状況	1
	(8) 調査実施機関	1
3	調査項目	2
4	調査結果利用上の注意	3

第2章 調査結果の分析

第1節	回答者の属性	5
1.	性別（問1）	5
2.	年齢（問2）	6
3.	世帯構成（問3）	7
4.	職業（問4）	8
5.	通勤・通学先（問4付問1）	9
6.	居住地域	10
	(1) 行政区（問5）	10
	(2) 小学校区（問6）	11
7.	居住年数（問7）	12
8.	居住形態（問8）	13
第2節	住みやすさについて	14
1.	太宰府市の住みやすさ（問9）	14
2.	継続居住意向（問10）	15
3.	住み続けたい理由（問10付問1）	16
4.	住み続けたくない理由（問10付問2）	18
第3節	日頃の暮らし、行動について	19
1.	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問11）	19
2.	子育て支援の推進	24
	(1) 子育てのしやすさ（問12）	24

(2) 子育てに対する不安や負担感 (問 13)	25
3. 高齢者福祉の推進	26
(1) 生きがいの有無 (問 14)	26
(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 15)	27
4. 障がい者福祉の推進	28
(1) 障がい者福祉サービスの充実度 (問 16)	28
(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 17)	29
(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 18)	30
5. 地域福祉の推進 (問 19)	31
6. 生涯健康づくりの推進	32
(1) 健康状態 (問 20)	32
(2) 健康増進の取り組み状況 (問 21)	33
(3) 健康診査の受診状況 (問 22)	34
7. 防災・消防体制の整備充実 (問 23)	35
8. 防犯・暴力追放運動の推進	37
(1) 防犯面の安心度 (問 24)	37
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 24 付問 1)	38
9. 安全な消費生活の推進	40
(1) 不当請求や不適切な取引行為の被害状況 (問 25)	40
(2) 不当請求や不適切な取引行為の具体的な被害 (問 25 付問 1)	41
10. 人権を尊重するまちづくりの推進	42
(1) 人権侵害の経験と内容 (問 26)	42
(2) 人権問題への認識 (問 27)	43
(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 28)	44
(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 29)	45
11. 男女共同参画の推進	46
(1) 固定的性別役割分担意識 (問 30)	46
(2) 男女間の地域の平等感 (問 31)	47
12. 生涯学習の推進	48
(1) 生涯学習の取り組み状況 (問 32)	48
(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 33)	49
13. 文化芸術の振興 (問 34)	50
14. 生活環境の向上	51
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 35)	51
(2) 環境マナーの順守 (問 36)	52
(3) 美化活動への参加状況 (問 37)	53
15. 自然共生社会の構築 (問 38)	54
16. 低炭素社会の構築	55
(1) 省エネルギー・省資源の活動について (問 39)	55
(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 40)	56

17. 環境教育・学習の推進（問 41）	57
18. 未来に伝える景観づくり	58
(1) 美しい自然に対する意識（問 42）	58
(2) 美しい歴史的景観に対する意識（問 43）	59
(3) 良好なまちなみに対する意識（問 44）	60
19. 計画的なまちづくりの推進	61
(1) 住環境の快適さについての認識（問 45）	61
(2) 商業施設等の利便性に対する意識（問 46）	62
20. 地域交通体系の整備	63
(1) バスの利便性に対する意識（問 47）	63
(2) 鉄道の利便性に対する意識（問 48）	64
(3) 道路の円滑性に対する意識（問 49）	65
(4) 買い物時の交通手段（問 50）	66
21. 産業の振興（問 51）	67
22. 文化遺産の保存と活用（問 52）	68
23. 観光基盤の整備充実（問 53）	69
24. 国際交流・友好都市交流の推進	70
(1) 外国人との交流頻度（問 54）	70
(2) 姉妹都市・友好都市の認知（問 55）	71
(3) 姉妹・友好都市の人たちとの交流頻度（問 56）	72
(4) 外国人や留学生との交流方法（問 57）	73
25. 市民参画の推進	74
(1) 自治会活動への参加（問 58）	74
(2) ボランティア活動への参加（問 59）	75
第 4 節 行政サービスについて	76
1. 情報の共有化と活用	76
(1) 市民と行政の情報の共有（問 60）	76
(2) 広報広聴機能の充実（問 61）	77
(3) 情報公開・提供に対する意識（問 62）	80
(4) パソコンの有無（問 63）	81
(5) パソコンのインターネット利用の有無（問 63 付問 1）	82
(6) 携帯電話の有無（問 64）	83
(7) 携帯のインターネット利用の有無（問 64 付問 1）	84
2. 市民のための行政運営	85
(1) 行財政改革（問 65）	85
(2) 市職員の応対や行動などに対する満足度（問 66）	86
(3) 市役所窓口の利用の有無（問 67）	87
(4) 事務処理の迅速性に対する意識（問 67 付問 1）	88
(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度（問 67 付問 2）	89
3. 広域連携の推進（問 68）	90

第5節 まちづくりに対する自由意見	91
-------------------------	----

◎附属資料

使用した調査票	93
---------------	----

第1章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今度のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する 20 歳以上の男女個人

(3) 調査対象者数

1,000 サンプル

(4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為二段階抽出

(5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状 1 回郵送）

(6) 調査期間

配 布：平成 23 年 3 月 4 日（金）発送

投函締切：平成 23 年 3 月 22 日（火）

(7) 回収状況

回 収 数：548 件（回収率 54.8%）

うち有効回収数：542 件

(8) 調査実施機関

西日本新聞社 企画局 ソーシャル事業部

3. 調査項目

1. 回答者の属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	世帯構成	
	問4	職業	
	問4付問1	通勤・通学先	
	問5	行政区	
	問6	小学校区	
	問7	居住年数	
2. 住みやすさについて	問8	居住形態	
	問9	太宰府市の住みやすさ	
	問10	継続居住意向	
3. 日頃の暮らし、行動に対する意識等について	問10付問1	住み続けたい理由	
	問10付問2	住み続けたくない理由	
	問11	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方 (全34項目)	
	問12	子育てのしやすさ	
	問13	子育てに対する不安や負担感	
	問14	生きがいの有無	
	問15	高齢者福祉サービスの充実度	
	問16	障がい者福祉サービスの充実度	
	問17	公共施設の配慮に対する意識	
	問18	民間施設の配慮に対する意識	
	問19	地域での福祉活動	
	問20	健康状態	
	問21	健康増進の取り組み状況	
	問22	健康診査の受診状況	
	問23	災害に対する取り組み状況	
	問24	防犯面の安心度	
	問24付問1	防犯上危険と思う場所	
	問25、付問1	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
	問26、付問1	人権侵害の経験と内容	
	問27	人権問題への認識	
	問28	同和地区に対する差別の認識	
	問29	結婚を決める時の家柄、血筋に対する考え方	
	問30	固定的役割分担に対する考え方	
	問31	男女間の地位の平等感	
	問32	生涯学習活動の取り組み状況	
	問33	運動・スポーツの実施頻度	
	問34	文化芸術活動の状況	
	問35	自宅周辺の衛生環境	
	問36	環境マナーの順守	
	問37	美化活動への参加状況	
	問38	緑の保全と創造	
	問39	省エネルギー・省資源の活動について	
	問40	二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践	
	問41	環境に関する学習会への参加	
	問42	美しい自然に対する意識	
	問43	美しい歴史的景観に対する意識	
	問44	良好なまちなみに対する意識	
	問45	住環境の快適さについての認識	
	問46	商業施設等の利便性に対する意識	
	問47	バスの利便性に対する意識	
	問48	鉄道の利便性に対する意識	
	問49	道路の円滑性に対する意識	
	問50	買い物時の交通手段	
	問51	産業の振興	
	問52	歴史と国立博物館を生かしたまちづくり	
	問53	観光基盤の整備充実	
	問54	外国人との交流頻度	
	問55	姉妹都市・友好都市の認知	
	問56	姉妹都市・友好都市との交流頻度	
	問57	外国人や留学生との交流方法	
	問58	自治会活動への参加	
	問59	ボランティア活動への参加	
	問60	市民と行政の情報共有	
	問61	広報広聴機能の充実	
	問62	情報公開・提供に対する意識	
	問63	パソコンの有無	
	問63付問1	パソコンによるインターネットの利用の有無	
	問64	携帯電話の有無	
	問64付問1	携帯電話によるインターネット利用の有無	
	問65	行財政改革	
	問66	市職員の対応や行動などに対する満足度	
	問67	市役所窓口の利用の有無	
	問67付問1	事務処理の迅速性に対する意識	
	問67付問2	職員の対応・姿勢に対する満足度	
	問68	広域連携の推進	
	自由意見		

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は原則として小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す「N」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 平成21年度に実施した前回調査、平成19年度に実施した前々回調査と比較検討が可能な設問については前回・前々回結果も掲載しているが、実際に比較検討する際には、前回・前々回調査と今回調査では調査対象が若干異なっていることを留意する必要がある。また、一部の質問文や選択肢では、前回調査とは文言が変更になっているものもある。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別（問1）

- 回答者の性別は「男性」約4割、「女性」約6割。
- 「男性」は年齢が上がるにつれ多くなり、反対に「女性」は年齢が上がるほど少なくなる。

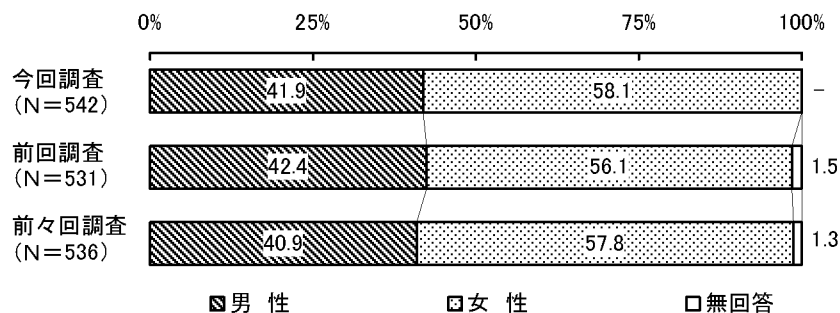
「男性」41.9%、「女性」58.1%と女性の方が16.2ポイント多い。

経年比較でみると、男性約4割、女性約6割と推移しており大きな変化はない。

年代別にみると、男性は20歳代で35.3%、70歳以上で57.7%と年代が上がるにつれ割合が高くなっている。反対に、女性は20歳代が64.7%、70歳以上が42.3%と年代が上がるにつれて低くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区と太宰府西小学校区は「男性」が3割台にとどまっている。

問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		542	41.9	58.1	-
年代別	20歳代	51	35.3	64.7	-
	30歳代	105	36.2	63.8	-
	40歳代	88	36.4	63.6	-
	50歳代	89	40.4	59.6	-
	60歳代	130	44.6	55.4	-
	70歳以上	78	57.7	42.3	-
	無回答	1	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	49.2	50.8	-
	太宰府東小学校区	60	43.3	56.7	-
	太宰府南小学校区	36	55.6	44.4	-
	水城小学校区	98	30.6	69.4	-
	水城西小学校区	75	44.0	56.0	-
	太宰府西小学校区	77	36.4	63.6	-
	国分小学校区	83	43.4	56.6	-
	わからない	46	47.8	52.2	-
	無回答	4	25.0	75.0	-

2. 年齢（問2）

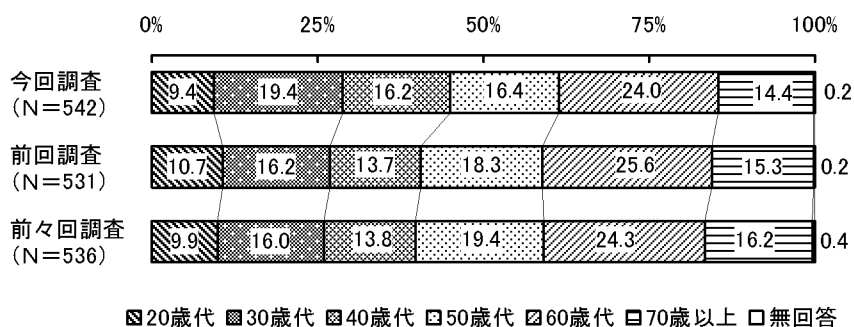
●過去2回の調査に比べ「30歳代」「40歳代」の割合が増え、『50歳以上』の割合が減少している。

回答者の年齢は「60歳」が24.0%、次いで「30歳代」19.4%、「50歳代」16.4%、「40歳代」16.2%、「70歳以上」14.4%、「20歳代」が9.4%となっている。

経年比較でみると、過去2回の調査に比べ「30歳代」と「40歳代」の割合が増え、「70歳以上」が減っている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校で「70歳以上」が41.7%で、「60歳代」（30.6%）を合わせると約7割と高齢者の占める割合が高い。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成23年3月末時点で）



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		542	9.4	19.4	16.2	16.4	24.0	14.4	0.2
小学校区別	太宰府小学校区	63	11.1	11.1	14.3	11.1	39.7	12.7	-
	太宰府東小学校区	60	8.3	10.0	15.0	23.3	23.3	20.0	-
	太宰府南小学校区	36	2.8	5.6	11.1	8.3	30.6	41.7	-
	水城小学校区	98	12.2	25.5	13.3	18.4	14.3	16.3	-
	水城西小学校区	75	10.7	28.0	17.3	14.7	20.0	9.3	-
	太宰府西小学校区	77	3.9	18.2	18.2	14.3	32.5	13.0	-
	国分小学校区	83	9.6	20.5	18.1	18.1	22.9	9.6	1.2
	わからない	46	15.2	28.3	21.7	21.7	10.9	2.2	-
無回答	4	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-	

3. 世帯構成（問3）

- 「2世代世帯」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割。
- 60歳以上では「夫婦のみ」の世帯が「2世代世帯」を上回る。

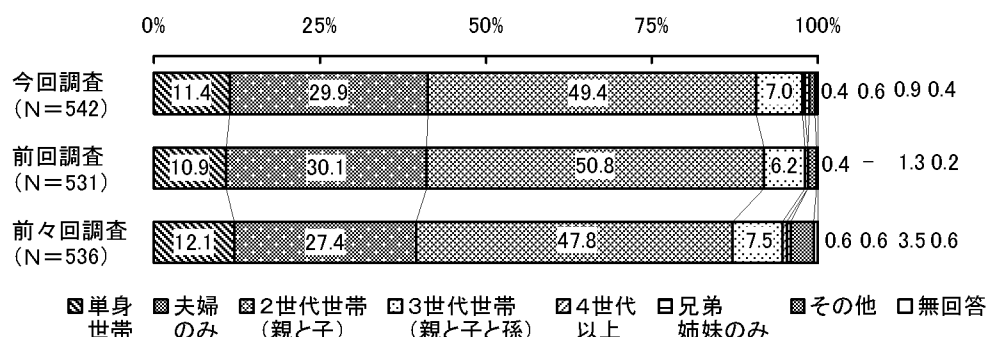
「2世代世帯（親と子）」が49.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が29.9%、「単身世帯」が11.4%、「3世代世帯（親と子と孫）」が7.0%となっている。

経年比較でみるとあまり大きな変化はみられないが、徐々にではあるが「夫婦のみ」の世帯が増加傾向にある。

年代別にみると20歳代から50歳代は「2世代世帯（親と子）」が5割以上を占めているが、60歳以上になると「夫婦のみ」の世帯が4割台となり、「2世代世帯（親と子）」を上回る。また70歳以上で「単身世帯」が19.2%と20歳代（17.6%）よりも多くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では「3世代世帯（親と子と孫）」が16.7%と他の小学校区に比べて多いが、「夫婦のみ」の世帯も36.1%と国分小学校区と同率で高い。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯) (親と子)	(3世代世帯) (親と子と孫)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		542	62	162	268	38	2	3	5	2
性別	男性	227	12.3	35.2	45.4	6.2	0.4	-	-	0.4
	女性	315	10.8	26.0	52.4	7.6	0.3	1.0	1.6	0.3
年代別	20歳代	51	17.6	15.7	58.8	3.9	-	-	2.0	2.0
	30歳代	105	7.6	21.9	60.0	6.7	1.0	1.9	1.0	-
	40歳代	88	2.3	19.3	71.6	6.8	-	-	-	-
	50歳代	89	14.6	21.3	56.2	5.6	-	-	2.2	-
	60歳代	130	10.8	43.8	35.4	6.9	0.8	0.8	0.8	0.8
	70歳以上	78	19.2	48.7	20.5	11.5	-	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	15.9	28.6	47.6	6.3	1.6	-	-	-
	太宰府東小学校区	60	11.7	28.3	48.3	8.3	-	1.7	-	1.7
	太宰府南小学校区	36	8.3	36.1	38.9	16.7	-	-	-	-
	水城小学校区	98	11.2	28.6	50.0	8.2	-	1.0	1.0	-
	水城西小学校区	75	13.3	22.7	58.7	4.0	-	1.3	-	-
	太宰府西小学校区	77	6.5	27.3	57.1	6.5	-	-	2.6	-
	国分小学校区	83	8.4	36.1	43.4	8.4	1.2	-	1.2	1.2
	わからない	46	19.6	34.8	43.5	-	-	-	2.2	-
無回答	4	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	

4. 職業（問4）

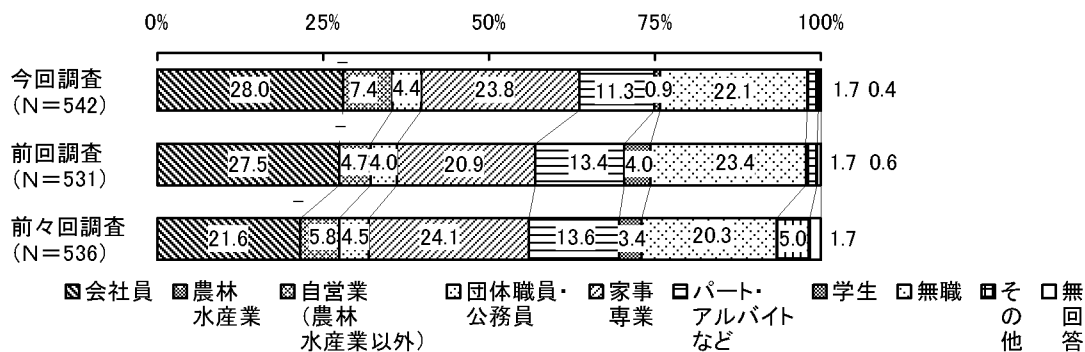
●職業は「会社員」（28.0%）、「家事専業」（23.8%）、「無職」（22.1%）が主である。

職業は「会社員」28.0%、「家事専業」23.8%、「無職」22.1%が2割台と多い。
 経年比較でみると「会社員」や「自営業（農林水産業以外）」が増加し、「学生」は減少している。

性別にみると、男性は「会社員」（44.1%）、「無職」（32.2%）、女性は「家事専業」（40.6%）、「パート・アルバイトなど」（17.1%）などで男女差が大きい。

性別・年代別にみると「会社員」は男性の50歳代以下、「無職」は60歳以上で5割を超えて多い。「家事専業」は女性の30歳代（52.2%）、「パート・アルバイトなど」は40歳代（32.1%）で他の年代に比べ高い。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		542	152	-	40	24	129	61	5	120	9	2
性別												
男	性	227	44.1	-	11.9	5.7	0.4	3.1	0.9	32.2	1.8	-
女	性	315	16.5	-	4.1	3.5	40.6	17.1	1.0	14.9	1.6	0.6
性別・年代別												
性別・年代別	男性:20歳代	18	50.0	-	5.6	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-
	男性:30歳代	38	73.7	-	10.5	10.5	-	-	-	5.3	-	-
	男性:40歳代	32	84.4	-	3.1	6.3	-	-	-	6.3	-	-
	男性:50歳代	36	63.9	-	19.4	8.3	-	-	-	8.3	-	-
	男性:60歳代	58	15.5	-	13.8	3.4	-	6.9	-	56.9	3.4	-
	男性:70歳代以上	45	8.9	-	13.3	-	2.2	2.2	-	68.9	4.4	-
	女性:20歳代	33	42.4	-	-	15.2	12.1	15.2	9.1	6.1	-	-
	女性:30歳代	67	17.9	-	4.5	3.0	52.2	11.9	-	6.0	3.0	1.5
	女性:40歳代	56	19.6	-	5.4	1.8	37.5	32.1	-	1.8	1.8	-
	女性:50歳代	53	24.5	-	3.8	3.8	32.1	18.9	-	15.1	1.9	-
女性:60歳代	72	2.8	-	5.6	1.4	48.6	18.1	-	20.8	1.4	1.4	
女性:70歳代以上	33	-	-	3.0	-	48.5	-	-	48.5	-	-	
小学校区別												
太宰府小学校区	63	20.6	-	4.8	9.5	20.6	11.1	3.2	30.2	-	-	
太宰府東小学校区	60	23.3	-	8.3	5.0	28.3	8.3	1.7	23.3	-	1.7	
太宰府南小学校区	36	11.1	-	8.3	2.8	30.6	2.8	-	44.4	-	-	
水城小学校区	98	25.5	-	9.2	3.1	28.6	14.3	-	18.4	1.0	-	
水城西小学校区	75	34.7	-	1.3	6.7	14.7	13.3	-	26.7	2.7	-	
太宰府西小学校区	77	27.3	-	16.9	1.3	23.4	10.4	-	16.9	3.9	-	
国分小学校区	83	32.5	-	4.8	4.8	25.3	10.8	1.2	19.3	1.2	-	
わからない	46	45.7	-	4.3	2.2	19.6	13.0	2.2	8.7	4.3	-	
無回答	4	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	

5. 通勤・通学先（問4付問1）

- 通勤・通学先は「福岡市」が約3割、「太宰府市」が約2割。
- 「福岡市」の割合は減少し、「筑紫野市」「大野城市」など近郊への通勤・通学が増加。

通勤・通学先は「福岡市」が29.8%と最も多く、次いで「太宰府市」が20.6%、「筑紫野市」が11.3%となっている。

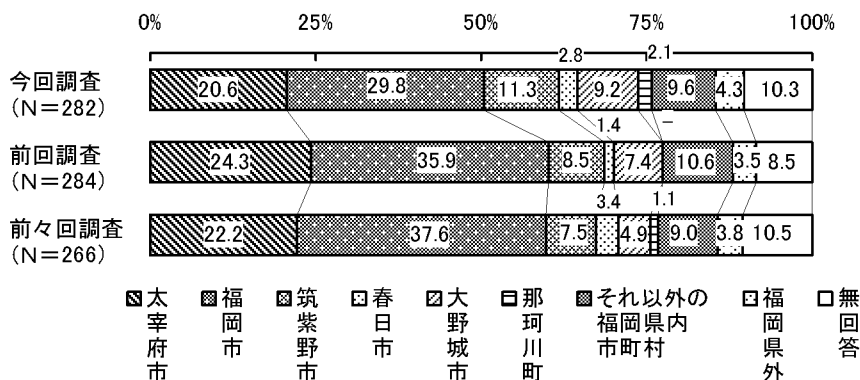
経年比較でみると、「福岡市」の占める割合は減少し、「筑紫野市」や「大野城市」が増加している。

性別でみると、男性は「福岡市」（38.9%）や「それ以外の福岡県内市町村」（12.1%）が多く、女性は「太宰府市」（23.3%）、「筑紫野市」（19.5%）、「大野城市」（12.0%）など市内や太宰府市近郊での通勤・通学が多い。

年代別みると20歳代と60歳代以上では「太宰府市」が最も多いが、30歳代から50歳代では「福岡市」が最も多くなっている。

小学校区別にみると太宰府小学校区では「太宰府市」への通勤・通学が41.9%、「それ以外の福岡県内市町村」が19.4%と「福岡市」（9.7%）を上回っている。

問4付問1【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内市福れ町岡以村県外	福岡県外	無回答
全体		282	58	84	32	8	26	6	27	12	29
		100.0	20.6	29.8	11.3	2.8	9.2	2.1	9.6	4.3	10.3
性別	男性	149	18.1	38.9	4.0	1.3	6.7	2.0	12.1	4.7	12.1
	女性	133	23.3	19.5	19.5	4.5	12.0	2.3	6.8	3.8	8.3
年代別	20歳代	43	20.9	18.6	14.0	2.3	11.6	4.7	11.6	7.0	9.3
	30歳代	61	13.1	29.5	9.8	3.3	14.8	1.6	14.8	4.9	8.2
	40歳代	63	19.0	33.3	15.9	3.2	6.3	3.2	7.9	1.6	9.5
	50歳代	60	8.3	31.7	11.7	3.3	8.3	1.7	11.7	5.0	18.3
	60歳代	43	41.9	34.9	4.7	2.3	7.0	-	-	2.3	7.0
	70歳以上	12	50.0	25.0	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	31	41.9	9.7	9.7	3.2	3.2	3.2	19.4	3.2	6.5
	太宰府東小学校区	28	17.9	21.4	10.7	-	7.1	-	10.7	7.1	25.0
	太宰府南小学校区	9	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-
	水城小学校区	51	15.7	43.1	11.8	2.0	7.8	-	7.8	3.9	7.8
	水城西小学校区	42	14.3	38.1	14.3	2.4	9.5	4.8	9.5	2.4	4.8
	太宰府西小学校区	43	25.6	25.6	14.0	4.7	7.0	-	2.3	4.7	16.3
	国分小学校区	45	17.8	28.9	4.4	2.2	15.6	4.4	8.9	6.7	11.1
	わからない	31	12.9	29.0	12.9	3.2	12.9	3.2	16.1	3.2	6.5
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-

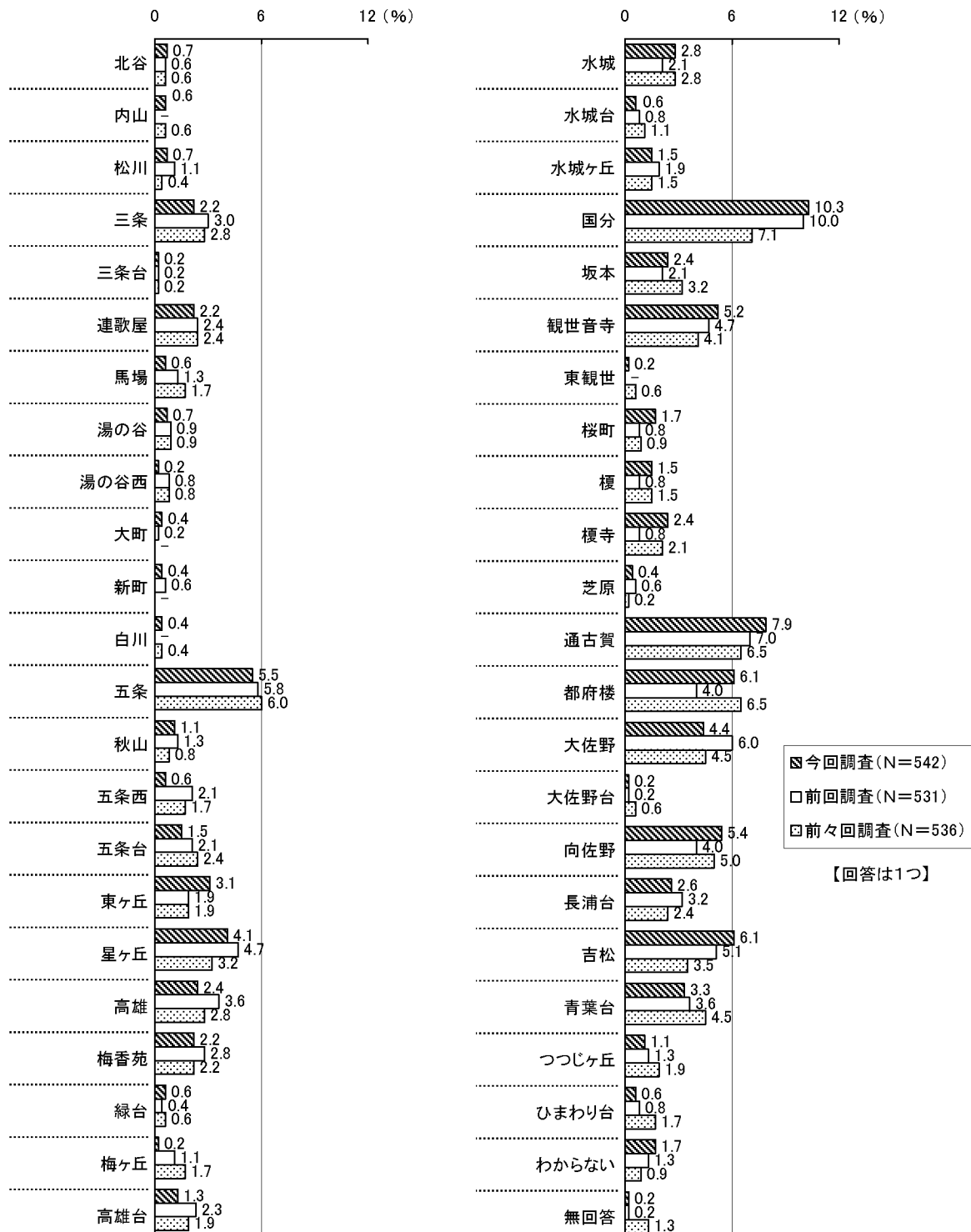
6. 居住地域

(1) 行政区 (問5)

●住んでいる行政区は「国分」が約1割。以下、「通古賀」「都府楼」「吉松」「五条」「観音寺」。

住んでいる行政区は「国分」が10.3%で最も多く、次いで「通古賀」(7.9%)、「都府楼」「吉松」(同率6.1%)、「五条」(5.5%)、「観世音寺」(5.2%)となっている。

問5. あなたの住んでいる行政区を次の中からお選びください。

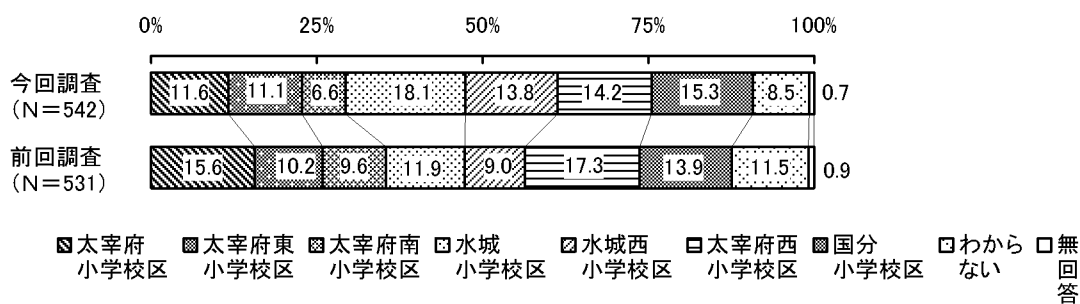


(2) 小学校区 (問6)

●住んでいる小学校区は「水城小学校区」(18.1%)、「国分小学校区」(15.3%)。

住んでいる小学校区は「水城小学校区」が18.1%と最も多く、次いで「国分小学校区」(15.3%)、「太宰府西小学校区」(14.2%)、「水城西小学校区」(13.8%)となっている。
 前回調査と比較すると、「水城小学校区」と「水城西小学校区」の増加が目立っているが、それ以外の小学校区は同程度か、減少している。

問6. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		標本数	学太 校宰 区府 小	小太 学宰 校府 区東	小太 学宰 校府 区南	校水 区城 小 学	学水 校城 区西 小	小太 学宰 校府 区西	校国 区分 小 学	いわ から な	無 回 答
全体		542	63	60	36	98	75	77	83	46	4
		100.0	11.6	11.1	6.6	18.1	13.8	14.2	15.3	8.5	0.7
性別	男性	227	13.7	11.5	8.8	13.2	14.5	12.3	15.9	9.7	0.4
	女性	315	10.2	10.8	5.1	21.6	13.3	15.6	14.9	7.6	1.0
年代別	20歳代	51	13.7	9.8	2.0	23.5	15.7	5.9	15.7	13.7	-
	30歳代	105	6.7	5.7	1.9	23.8	20.0	13.3	16.2	12.4	-
	40歳代	88	10.2	10.2	4.5	14.8	14.8	15.9	17.0	11.4	1.1
	50歳代	89	7.9	15.7	3.4	20.2	12.4	12.4	16.9	11.2	-
	60歳代	130	19.2	10.8	8.5	10.8	11.5	19.2	14.6	3.8	1.5
	70歳以上	78	10.3	15.4	19.2	20.5	9.0	12.8	10.3	1.3	1.3
無回答		1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

7. 居住年数（問7）

- 居住年数が『5年未満』が5割以上を占めている。
- 70歳以上を除くいずれの年代でも「3年未満」が最も多い。

居住年数は「3年未満」が33.0%と最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が22.1%と『5年未満』で5割以上を占め、今回調査の回答者は居住年数が短い人が多い。

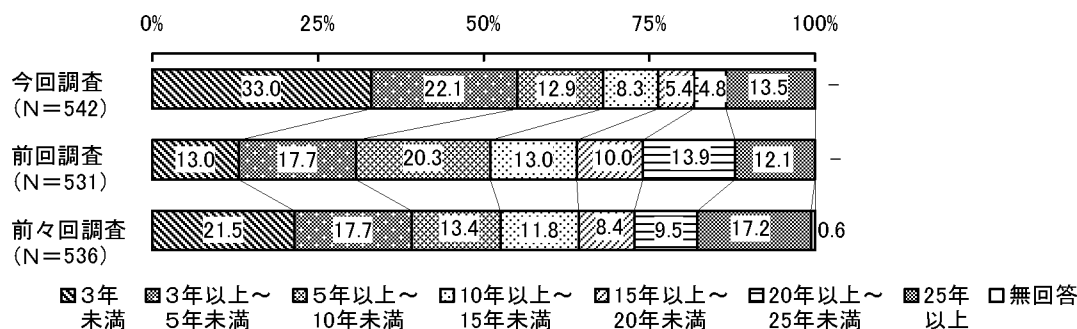
経年比較でみると、過去2回の調査に比べ『5年未満』の割合が最も多い。

性別でみると、男性では「25年以上」（19.4%）、女性では「3年未満」（37.1%）の居住者が多い。

年代別にみると、70歳以上を除く年代で「3年未満」が最も多く、特に30歳代と50歳代で4割前後となっている。「3年以上～5年未満」は30歳代以下で3割台と多い。「25年以上」は70歳以上で48.7%と最も多い。

小学校区別にみると、水城西小学校区、水城小学校区、国分小学校区、太宰府小学校区で『5年未満』が5割を超えており、特に水城西小学校区では76.0%となっている。一方、太宰府南小学校区では『20年以上』の人が47.2%と多い。

問7. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成23年3月末時点で）次の中からお選びください。



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		542	179	120	70	45	29	26	73	-
性別	男性	227	27.3	22.5	11.0	7.0	6.6	6.2	19.4	-
	女性	315	37.1	21.9	14.3	9.2	4.4	3.8	9.2	-
年代別	20歳代	51	35.3	35.3	9.8	5.9	5.9	7.8	-	-
	30歳代	105	42.9	39.0	12.4	1.9	1.0	-	2.9	-
	40歳代	88	31.8	26.1	18.2	10.2	5.7	1.1	6.8	-
	50歳代	89	39.3	19.1	11.2	9.0	4.5	10.1	6.7	-
	60歳代	130	29.2	13.1	17.7	11.5	10.0	3.1	15.4	-
	70歳以上	78	19.2	5.1	3.8	10.3	2.6	10.3	48.7	-
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	34.9	15.9	14.3	12.7	6.3	9.5	6.3	-
	太宰府東小学校区	60	16.7	20.0	8.3	13.3	11.7	8.3	21.7	-
	太宰府南小学校区	36	22.2	-	16.7	2.8	11.1	11.1	36.1	-
	水城小学校区	98	36.7	21.4	14.3	11.2	1.0	2.0	13.3	-
	水城西小学校区	75	46.7	29.3	8.0	1.3	4.0	1.3	9.3	-
	太宰府西小学校区	77	19.5	26.0	18.2	6.5	5.2	2.6	22.1	-
	国分小学校区	83	31.3	22.9	14.5	9.6	7.2	7.2	7.2	-
	わからない	46	54.3	34.8	8.7	2.2	-	-	-	-
	無回答	4	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-

8. 居住形態（問8）

●「持ち家・分譲マンション」が約56%、「賃貸住宅・アパート」が約4割。

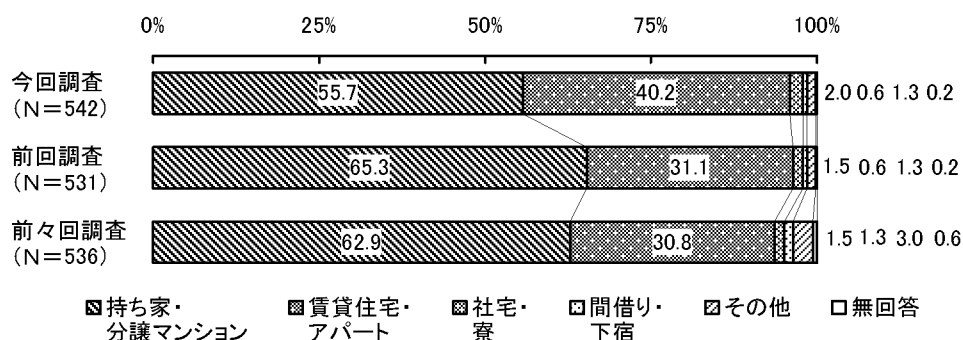
住居形態は「持ち家・分譲マンション」が55.7%と最も多く、次いで「賃貸住宅・アパート」が40.2%となっている。

経年比較でみると、過去2回の調査に比べ「持ち家・分譲マンション」の割合が減少し、「賃貸住宅・アパート」の割合が増えている。

年代別にみると、「持ち家・分譲マンション」の割合は年齢が高い層で高くなり、60歳以上では7割を超えている。反対に「賃貸住宅・アパート」は年齢が低い層で高くなり30歳代以下で6割を超えている。

小学校区別にみると、水城小学校区と水城西小学校区では「賃貸住宅・アパート」が5割を超えて多いが、その他小学校区では「持ち家・分譲マンション」が最も多く、特に太宰府南小学校区では91.7%となっている。

問8. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	シ分持 ヨ譲 ンマ家 ン・	ア賃 パ貸 ↑住 宅・	社 宅 ・ 寮	下 間 宿 借 り ・	そ の 他	無 回 答
全体		542 100.0	302 55.7	218 40.2	11 2.0	3 0.6	7 1.3	1 0.2
性別	男性	227	57.3	39.2	2.2	0.9	0.4	-
	女性	315	54.6	41.0	1.9	0.3	1.9	0.3
年代別	20歳代	51	29.4	68.6	2.0	-	-	-
	30歳代	105	31.4	64.8	2.9	1.0	-	-
	40歳代	88	56.8	38.6	4.5	-	-	-
	50歳代	89	56.2	40.4	1.1	-	1.1	1.1
	60歳代	130	72.3	23.1	0.8	0.8	3.1	-
	70歳以上	78	75.6	19.2	1.3	1.3	2.6	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	63.5	33.3	-	1.6	1.6	-
	太宰府東小学校区	60	73.3	25.0	1.7	-	-	-
	太宰府南小学校区	36	91.7	5.6	-	-	2.8	-
	水城小学校区	98	36.7	56.1	6.1	-	1.0	-
	水城西小学校区	75	41.3	53.3	2.7	1.3	1.3	-
	太宰府西小学校区	77	70.1	27.3	-	1.3	-	1.3
	国分小学校区	83	60.2	34.9	2.4	-	2.4	-
	わからない	46	26.1	71.7	-	-	2.2	-
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	-

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ（問9）

●太宰府市の住みやすさについて『満足派』は約7割、『不満派』は約1割。

太宰府市の住みやすさについて、「住みやすい」が29.9%で「どちらかといえば住みやすい」(41.5%)を合わせた『満足派』は71.4%となっている。一方、「住みにくい」(1.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(9.0%)を合わせた『不満派』は10.8%となっている。「どちらともいえない」は16.2%である。

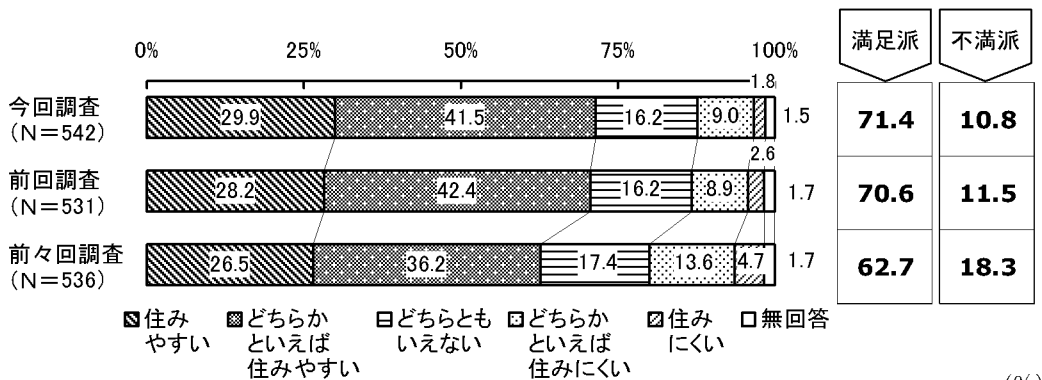
経年比較でみると、『満足派』は増加傾向、『不満派』は減少傾向にある。

性別でみると、『満足派』は男女とも約7割と変わらないが、『不満派』は女性が12.3%とやや女性の方が多い。

年代別にみると、60歳以上では『満足派』が6割台と他の年代に比べると低くなっている。50歳以下では『満足派』が7割を超えており、特に30歳代(78.1%)と50歳代(77.5%)では8割近くにのぼる。

小学校区別にみると、水城小学校区で『満足派』が82.7%と最も高い。一方、太宰府小学校区と太宰府南小学校区では『不満派』が15%を超えている。

問9. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	住みやすい	やや住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全体		542	162	225	88	49	10	8	387	59
性別	男性	227	29.1	41.9	18.1	7.9	0.9	2.2	71.0	8.8
	女性	315	30.5	41.3	14.9	9.8	2.5	1.0	71.8	12.3
年代別	20歳代	51	23.5	47.1	11.8	7.8	5.9	3.9	70.6	13.7
	30歳代	105	33.3	44.8	15.2	4.8	1.0	1.0	78.1	5.8
	40歳代	88	28.4	44.3	18.2	8.0	1.1	-	72.7	9.1
	50歳代	89	33.7	43.8	14.6	4.5	2.2	1.1	77.5	6.7
	60歳代	130	26.9	37.7	16.9	15.4	0.8	2.3	64.6	16.2
	70歳以上	78	32.1	34.6	19.2	11.5	2.6	-	66.7	14.1
無回答		1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	25.4	38.1	17.5	15.9	1.6	1.6	63.5	17.5
	太宰府東小学校区	60	26.7	40.0	18.3	10.0	1.7	3.3	66.7	11.7
	太宰府南小学校区	36	38.9	30.6	11.1	13.9	2.8	2.8	69.5	16.7
	水城小学校区	98	39.8	42.9	12.2	3.1	1.0	1.0	82.7	4.1
	水城西小学校区	75	26.7	42.7	21.3	8.0	1.3	-	69.4	9.3
	太宰府西小学校区	77	31.2	42.9	15.6	9.1	1.3	-	74.1	10.4
	国分小学校区	83	16.9	50.6	18.1	9.6	2.4	2.4	67.5	12.0
	わからない	46	39.1	32.6	13.0	8.7	4.3	2.2	71.7	13.0
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	75.0	-

2. 継続居住意向（問 10）

●「住み続けたい」は約6割。「住み続けたくない」（14.2%）は前回調査より微増。

太宰府市に今後も「住み続けたい」が59.2%で「住み続けたくない」（14.2%）を45ポイント上回っている。「わからない」は25.6%である。

経年比較でみると、前回調査まで「住み続けたい」は増加していたが、今回調査では若干減少し、「住み続けたくない」がやや増加している。

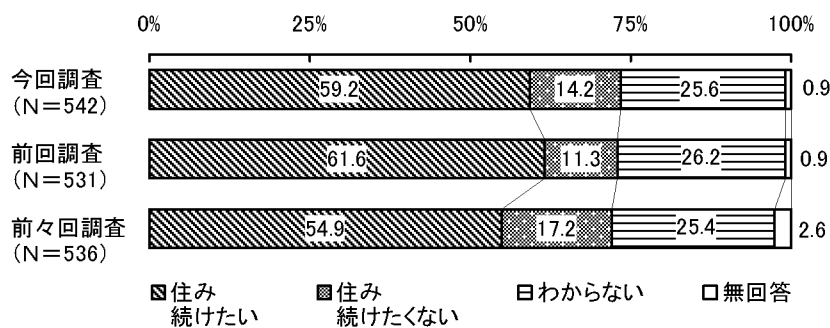
性別にみると、男性の方が「住み続けたい」が63.0%で女性（56.5%）よりも高い。

年代別にみると20歳代は「わからない」が51.0%と最も多い。30歳以上では「住み続けたい」が多いが、特に50歳代（68.5%）と70歳以上（67.9%）では7割近くになっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と水城小学校区では「住み続けたい」が約7割と高い。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人ほど「住み続けたい」が高く、住みやすい人では84.6%が継続して住みたいと回答している。

問 10. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	た住み続けたい (%)	た住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		542	321	77	139	5
性別	男性	227	63.0	14.1	22.9	-
	女性	315	56.5	14.3	27.6	1.6
年代別	20歳代	51	33.3	15.7	51.0	-
	30歳代	105	53.3	21.9	23.8	1.0
	40歳代	88	58.0	13.6	27.3	1.1
	50歳代	89	68.5	6.7	24.7	-
	60歳代	130	63.1	13.8	20.8	2.3
	70歳以上	78	67.9	12.8	19.2	-
	無回答	1	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	52.4	19.0	27.0	1.6
	太宰府東小学校区	60	61.7	18.3	20.0	-
	太宰府南小学校区	36	69.4	19.4	11.1	-
	水城小学校区	98	69.4	10.2	19.4	1.0
	水城西小学校区	75	52.0	10.7	36.0	1.3
	太宰府西小学校区	77	62.3	13.0	23.4	1.3
	国分小学校区	83	50.6	16.9	31.3	1.2
	わからない	46	56.5	10.9	32.6	-
無回答	4	75.0	-	25.0	-	
住みやすさ別	住みやすい	162	84.6	0.6	14.2	0.6
	どちらかといえば住みやすい	225	65.3	8.4	25.8	0.4
	どちらともいえない	88	26.1	30.7	39.8	3.4
	どちらかといえば住みにくい	49	20.4	42.9	36.7	-
	住みにくい	10	10.0	70.0	20.0	-
	無回答	8	37.5	25.0	37.5	-

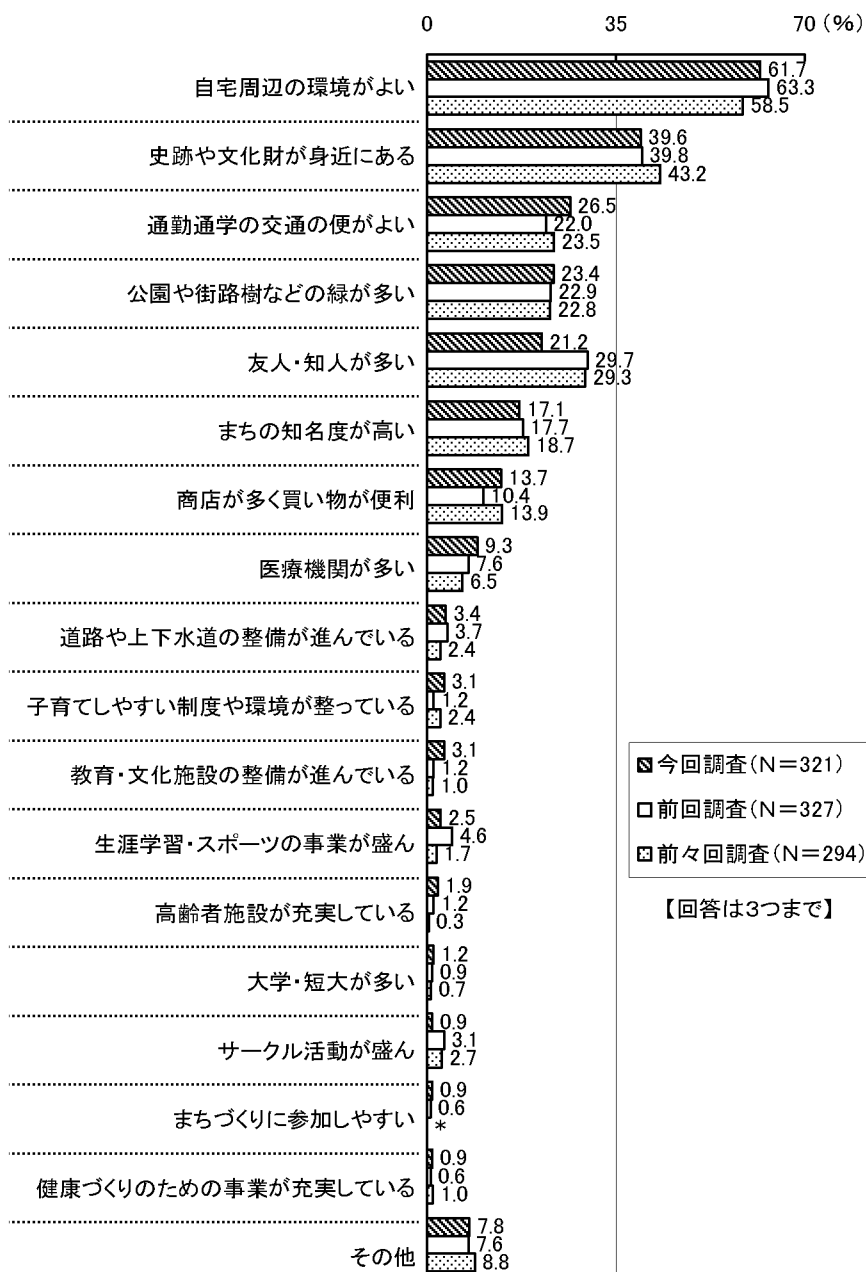
3. 住み続けたい理由（問 10 付問 1）

●住み続けたい理由は「自宅周辺の環境がよい」（61.7%）、「史跡や文化財が身近にある」（39.6%）、「通勤通学の交通の便がよい」（26.5%）が上位 3 位。

「住み続けたい」と回答した人（321 人）の理由は「自宅周辺の環境がよい」が 61.7%と最も高い。次いで「史跡や文化財が身近にある」39.6%、「通勤通学の交通の便がよい」26.5%の順となっている。

経年比較でみると、上位 2 位までは変化はないが、前回調査まで 3 位であった「友人・知人が多い」は今回調査では 21.2%と 5 位になっている。これは今回調査の回答者の居住年数が『5 年未満』の短い人が多いことが影響していると思われる。

問 10 付問 1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（○は 3 つまで）



*は前々回調査ではなかった項目

性別にみると、順位に変化はみられないが、男性は「史跡や文化財が身近にある」「まちの知名度が高い」などが女性よりも7ポイント以上高く、女性は「医療機関が多い」「自宅周辺の環境がよい」が男性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」という理由が最も多いが、特に60歳代では73.2%と高い。その他「史跡や文化財が身近にある」は50歳以上で、「通勤通学の交通の便がよい」「商店が多く買い物が便利」は20歳代、また「通勤通学の交通の便がよい」は40歳代、50歳代でも高い。「友人・知人が多い」「公園や街路樹などの緑が多い」は30歳代で3割台と多い。

小学校区別にみると、いずれの小学校区も「自宅周辺の環境がよい」「史跡や文化財が身近にある」という理由が多いが、水城西小学校区では「通勤通学の交通の便がよい」が「史跡や文化財が身近にある」よりも上位にあげられている。その他太宰府小学校区では「まちの知名度が高い」、水城西小学校区と太宰府南小学校区、太宰府東小学校区では「友人・知人が多い」、国分小学校区では「公園や街路樹などの緑が多い」などの理由も多くなっている。

(%)

	標本数	友人・知人が多い	自宅周辺の環境がよい	サークル活動が盛ん	まちづくりに参加しやすい	ある史跡や文化財が身近に	まちの知名度が高い	大学・短大が多い	よ通勤通学の交通の便が	利商店が多く買い物が便利	生涯学習・スポーツの	いる高年齢者が充実している	子育てしやすい制度や環境が整っている	医療機関が多い	教育・文化施設の整備が進んでいる	健康づくりのための事業が充実している	道路や上下水道の整備が進んでいる	公園や街路樹などの緑が多い	その他	無回答
全体	321 100.0	68 21.2	198 61.7	3 0.9	3 0.9	127 39.6	55 17.1	4 1.2	85 26.5	44 13.7	8 2.5	6 1.9	10 3.1	30 9.3	10 3.1	3 0.9	11 3.4	75 23.4	25 7.8	2 0.6
性別																				
男性	143	21.0	58.7	1.4	1.4	44.1	21.0	2.8	28.0	12.6	2.8	2.1	1.4	5.6	3.5	0.7	3.5	24.5	7.0	0.7
女性	178	21.3	64.0	0.6	0.6	36.0	14.0	-	25.3	14.6	2.2	1.7	4.5	12.4	2.8	1.1	3.4	22.5	8.4	0.6
年代別																				
20歳代	17	-	52.9	-	-	17.6	17.6	-	47.1	35.3	-	-	-	17.6	-	-	-	23.5	-	-
30歳代	56	32.1	62.5	1.8	1.8	28.6	10.7	-	26.8	7.1	1.8	-	10.7	5.4	8.9	-	-	30.4	8.9	-
40歳代	51	23.5	49.0	-	2.0	27.5	15.7	3.9	45.1	15.7	-	-	5.9	7.8	2.0	-	-	25.5	7.8	2.0
50歳代	61	9.8	63.9	-	-	39.3	21.3	-	37.7	18.0	3.3	-	-	11.5	3.3	1.6	3.3	18.0	1.6	-
60歳代	82	20.7	73.2	2.4	1.2	57.3	13.4	-	12.2	14.6	2.4	3.7	-	9.8	1.2	2.4	6.1	23.2	12.2	1.2
70歳以上	53	26.4	54.7	-	-	43.4	26.4	3.8	11.3	5.7	5.7	5.7	1.9	9.4	1.9	-	5.7	20.8	9.4	-
無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
小学校区別																				
太宰府小学校区	33	9.1	69.7	-	-	57.6	33.3	3.0	12.1	12.1	6.1	3.0	3.0	12.1	-	3.0	-	12.1	12.1	-
太宰府東小学校区	37	27.0	75.7	-	-	43.2	5.4	2.7	24.3	16.2	5.4	5.4	-	16.2	2.7	2.7	-	16.2	5.4	-
太宰府南小学校区	25	28.0	64.0	-	-	32.0	20.0	4.0	28.0	16.0	8.0	4.0	4.0	-	4.0	-	-	4.0	12.0	4.0
水城西小学校区	68	20.6	58.8	-	2.9	44.1	17.6	-	33.8	11.8	2.9	1.5	5.9	7.4	2.9	-	1.5	25.0	5.9	-
水城西小学校区	39	30.8	53.8	-	-	28.2	10.3	-	41.0	10.3	-	-	2.6	2.6	2.6	-	-	25.6	7.7	-
太宰府西小学校区	48	25.0	68.8	4.2	-	25.0	18.8	-	14.6	25.0	-	-	4.2	16.7	8.3	-	12.5	25.0	10.4	-
国分小学校区	42	21.4	54.8	2.4	2.4	42.9	19.0	-	19.0	-	-	-	2.4	4.8	-	2.4	4.8	33.3	9.5	2.4
わからない	26	-	50.0	-	-	42.3	11.5	3.8	42.3	19.2	-	3.8	-	11.5	3.8	-	3.8	38.5	-	-
無回答	3	33.3	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-

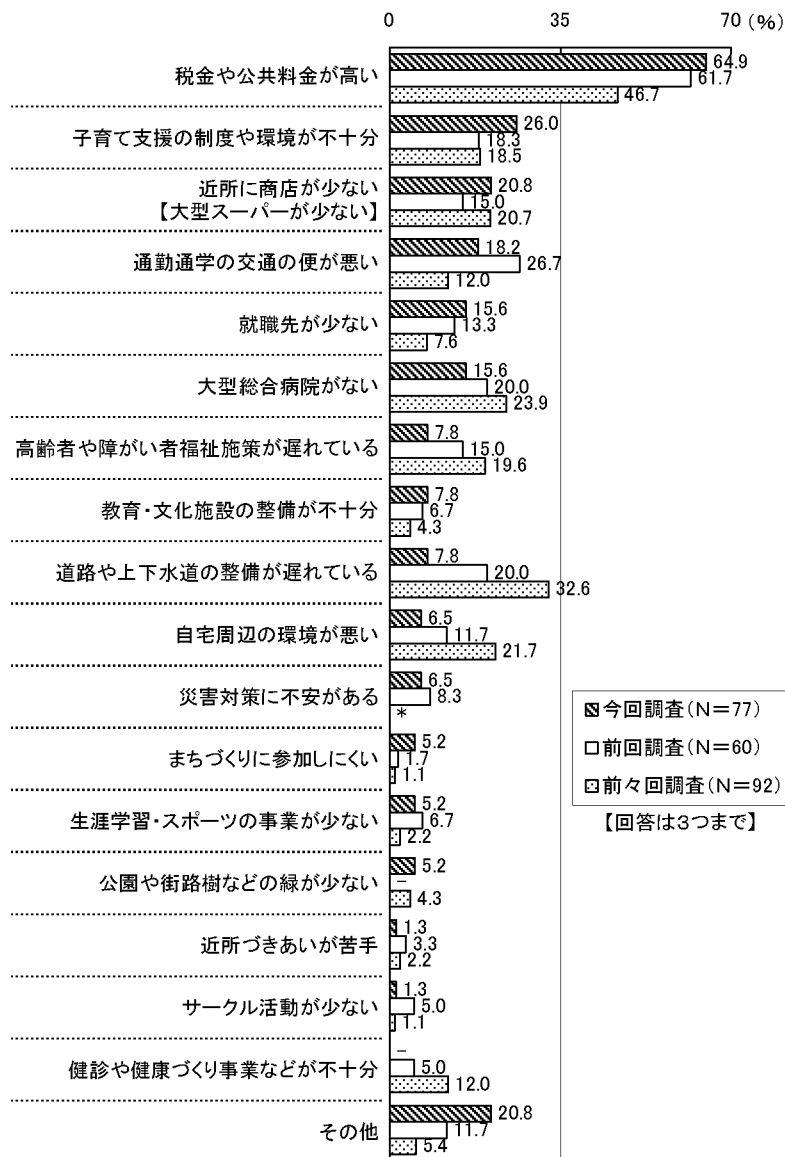
4. 住み続けたくない理由（問 10 付問 2）

●住み続けたくない理由「税金や公共料金が高い」（64.9%）、「子育て支援の制度や環境が不十分」（26.0%）、「近所に商店が少ない」（20.8%）が上位3位。

「住み続けたくない」と回答した人（77人）の理由の第1位は「税金や公共料金が高い」で64.9%と最も高い。次いで「子育て支援の制度や環境が不十分」26.0%、「近所に商店が少ない」20.8%となっている。

経年比較でみると「税金や公共料金が高い」「就職先が少ない」などの理由は毎回増加傾向にある。また「子育て支援の制度や環境が不十分」も前回調査に比べ7.7ポイント増加している。反対に、「道路や下水道の整備が遅れている」「大型総合病院がない」「高齢者や障がい者福祉施策が遅れている」「自宅周辺の環境が悪い」などの理由は前々回調査からずっと減少傾向にあり、「通勤通学の交通の便が悪い」も前回調査に比べ8.5ポイント減少している。

問 10 付問 2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）



【 】内は前回調査以前の項目
*は前々回調査ではなかった項目

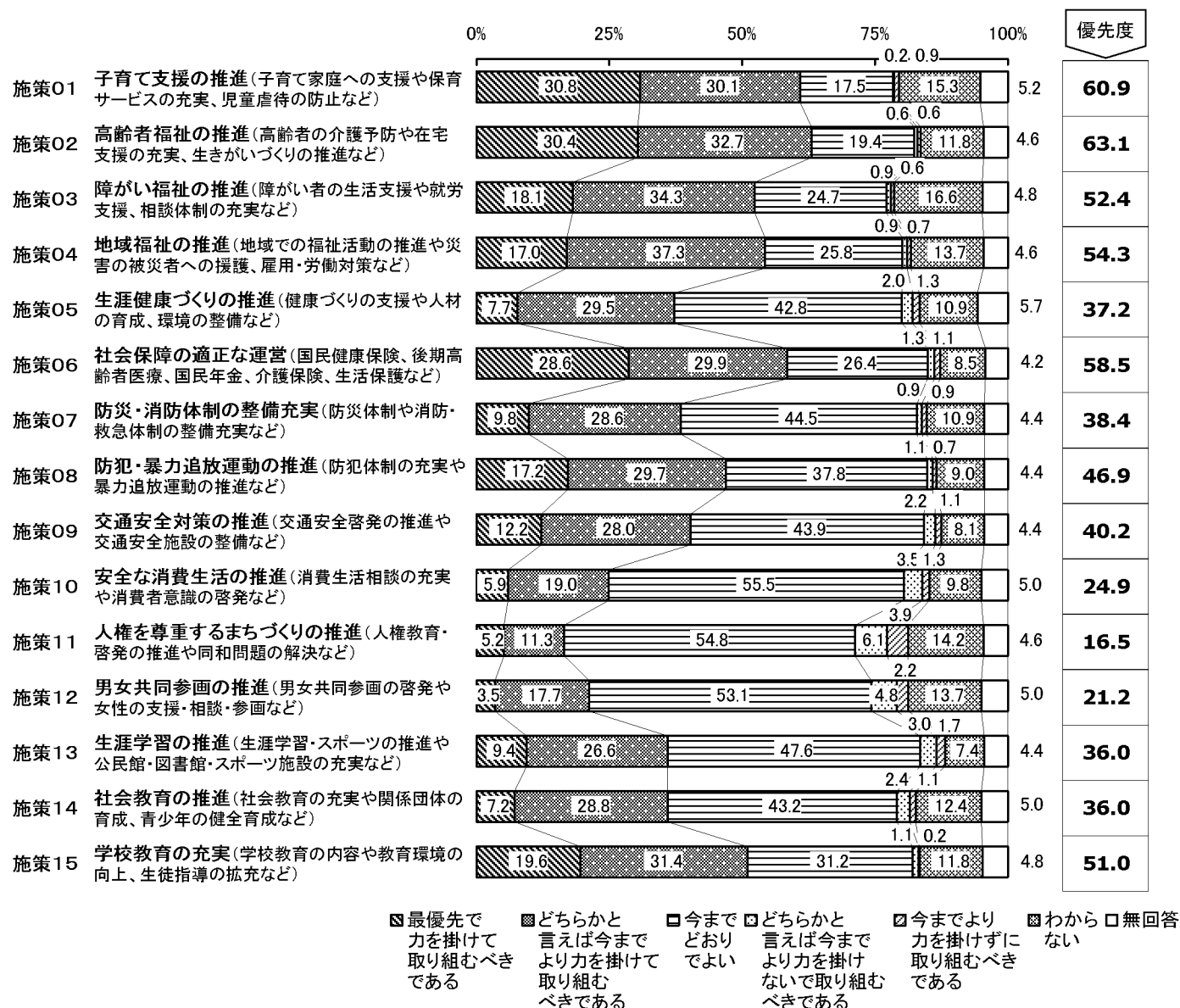
第3節 日頃の暮らし、行動について

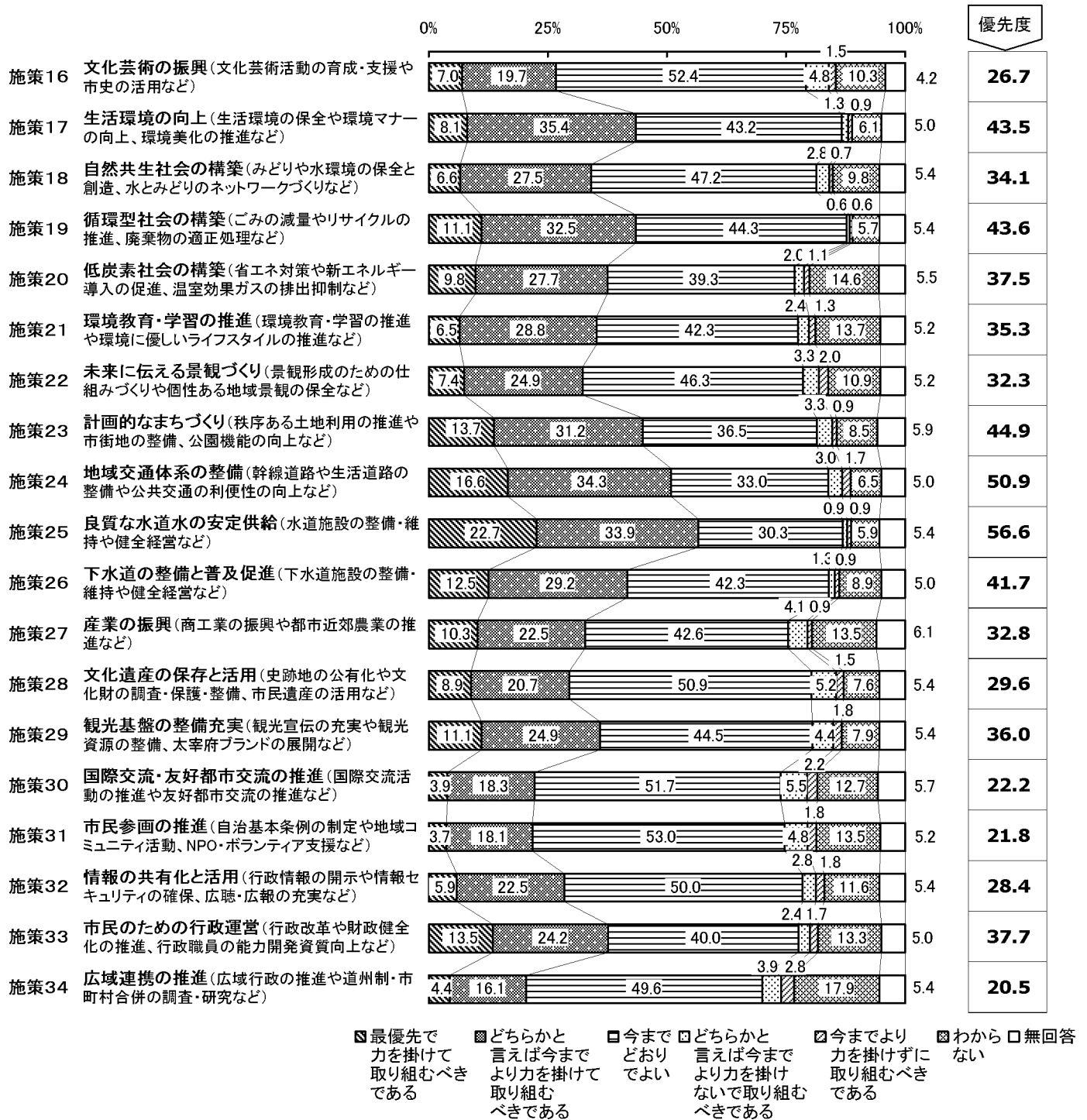
1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問 11）

●「施策02 高齢者福祉の推進」「施策01 子育て支援策の推進」「施策06 社会保障の適正な運営」などの優先度が高い。

第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた34項目への取り組みについて、「最優先で力を掛けて取り組むべきである」の比率が高いのは「施策01 子育て支援の推進」(30.8%)、「施策02 高齢者福祉の推進」(30.4%)、「施策06 社会保障の適正な運営」(28.6%)などで、この3施策は「どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである」を合わせた優先度も6割前後と高くなっている。

問 11. あなたは第五次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(○は施策ごとに1つ)





これらの施策について、性別、年代別、小学校区別に上位項目をみてる。

性別にみると、男性は「施策01 子育て支援の推進」(66.1%)、女性は「施策02 高齢者福祉の推進」(61.3%)の優先度が最も高くなっている。

年代別にみると30歳代以下では「施策01 子育て支援の推進」や「施策15 学校教育の充実」の優先度が高く、40歳以上では「施策02 高齢者福祉の推進」や「施策06 社会保障の適正な運営」の優先度が高くなっている。

小学校区別にみると、「施策02 高齢者福祉の推進」と同率で太宰府小学校区では「施策24 地域交通体系の整備」(57.1%)が、国分小学校区では「施策25 良質な水道水の安定供給」(68.6%)が第1位にあげられている。

第3節 日頃の暮らし、行動について

(%)

全体		1位	2位	3位	4位	5位
		施策02 高齢者福祉の推進 63.1	施策01 子育て支援の推進 60.9	施策06 社会保障の適正な運営 58.5	施策25 良質な水道水の安定供給 56.6	施策04 地域福祉の推進 54.3
性別	男性 227	施策01 子育て支援の推進 66.1	施策02 高齢者福祉の推進 65.7	施策06 社会保障の適正な運営 61.7	施策25 良質な水道水の安定供給 57.7	施策03 障がい福祉の推進 56.8
	女性 315	施策02 高齢者福祉の推進 61.3	施策01 子育て支援の推進 57.2	施策06 社会保障の適正な運営 56.2	施策25 良質な水道水の安定供給 55.9	施策04 地域福祉の推進 53.6
年代別	20歳代 51	施策01 子育て支援の推進 68.7	施策08 防犯・暴力追放運動の推進 施策15 学校教育の充実 60.8		施策04 地域福祉の推進 施策06 社会保障の適正な運営 58.8	
	30歳代 105	施策01 子育て支援の推進 78.1	施策15 学校教育の充実 62.9	施策25 良質な水道水の安定供給 61.9	施策02 高齢者福祉の推進 56.2	施策06 社会保障の適正な運営 51.5
	40歳代 88	施策02 高齢者福祉の推進 65.9	施策01 子育て支援の推進 64.8	施策04 地域福祉の推進 62.5	施策24 地域交通体系の整備 58.0	施策03 障がい福祉の推進/施策06 社会保障の適正な運営/施策15 学校教育の充実 56.8
	50歳代 89	施策02 高齢者福祉の推進 71.9	施策06 社会保障の適正な運営 66.3	施策24 地域交通体系の整備 62.9	施策25 良質な水道水の安定供給 61.8	施策03 障がい福祉の推進 60.7
	60歳代 130	施策02 高齢者福祉の推進 66.9	施策06 社会保障の適正な運営 58.4	施策01 子育て支援の推進 55.4	施策25 良質な水道水の安定供給 54.6	施策24 地域交通体系の整備 53.9
	70歳以上 78	施策02 高齢者福祉の推進 62.9	施策06 社会保障の適正な運営 61.6	施策25 良質な水道水の安定供給 56.4	施策03 障がい福祉の推進 51.2	施策04 地域福祉の推進/施策08 防犯・暴力追放運動の推進 47.4
小学校区別	太宰府小学校区 63	施策02 高齢者福祉の推進 施策24 地域交通体系の整備 57.1		施策03 障がい福祉の推進 54.0	施策04 地域福祉の推進 53.9	施策01 子育て支援の推進/施策23 計画的なまちづくり 47.6
	太宰府東小学校区 60	施策02 高齢者福祉の推進 71.7	施策06 社会保障の適正な運営 68.4	施策01 子育て支援の推進 63.3	施策03 障がい福祉の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 60.0	
	太宰府南小学校区 36	施策02 高齢者福祉の推進 72.2	施策06 社会保障の適正な運営 66.6	施策25 良質な水道水の安定供給 61.1	施策01 子育て支援の推進 58.4	施策24 地域交通体系の整備 55.6
	水城小学校区 98	施策01 子育て支援の推進 58.1	施策25 良質な水道水の安定供給 54.0	施策02 高齢者福祉の推進 施策15 学校教育の充実 53.1		施策04 地域福祉の推進/施策06 社会保障の適正な運営 52.0
	水城西小学校区 75	施策01 子育て支援の推進 70.7	施策02 高齢者福祉の推進 58.7	施策06 社会保障の適正な運営 56.0	施策15 学校教育の充実 53.3	施策04 地域福祉の推進/施策25 良質な水道水の安定供給 52.0
	太宰府西小学校区 77	施策02 高齢者福祉の推進 67.6	施策01 子育て支援の推進 63.7	施策06 社会保障の適正な運営 61.1	施策04 地域福祉の推進 59.8	施策03 障がい福祉の推進/施策25 良質な水道水の安定供給 58.5
	国分小学校区 83	施策02 高齢者福祉の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 68.6		施策01 子育て支援の推進 67.4	施策06 社会保障の適正な運営 60.2	施策03 障がい福祉の推進/施策04 地域福祉の推進/施策15 学校教育の充実 55.4
	わからない 46	施策02 高齢者福祉の推進 67.4	施策06 社会保障の適正な運営 65.2	施策04 地域福祉の推進 54.4	施策03 障がい福祉の推進 52.2	施策01 子育て支援の推進 52.1

第2章 調査結果の分析

また、各施策について、第五次総合計画に掲げた成果指標と目標値の今年度の達成状況を整理してみると、以下の表のとおりとなる。

施策01	子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	60.9% (2位)	子育てをしやすいと感じる保護者の割合	52.6%	70.0%	75.0%
施策02	高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	63.1% (1位)	生きがいを感じている高齢者の割合	80.7%	85.0%	77.8%
			高齢者福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	24.9%	35.0%	18.1%
施策03	障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	52.4% (6位)	障がい福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	23.5%	33.0%	35.9%
施策04	地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	54.3% (5位)	地域の福祉活動が活発に行われていると感じる市民の割合	29.6%	50.0%	34.7%
施策05	生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	37.2% (18位)	健康状態が良好な市民の割合	77.0%	80.0%	79.4%
			健康増進に取り組んでいる市民の割合	53.5%	60.0%	54.2%
施策06	社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	58.5% (3位)				
施策07	防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	38.4% (15位)	日頃から災害に備えている市民の割合	47.4%	60.0%	40.7%
施策08	防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	46.9% (9位)				
施策09	交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	40.2% (14位)				
施策10	安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	24.9% (29位)	この1年間に消費生活に関する不安を感じたりトラブルを受けた市民の割合	17.3%	15.0%	14.2%
施策11	人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	16.5% (34位)	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	2.8%	1.0%	3.0%
			同和問題をはじめあらゆる人権が尊重されていると感じる市民の割合	80.3%	90.0%	76.2%
施策12	男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	21.2% (32位)	男は仕事、女は家庭という役割分担意識を持たない市民の割合	60.5% (男性56.4%) (女性64.3%)	65.0% (男性60.0%) (女性70.0%)	66.4% (男性66.1%) (女性66.7%)
施策13	生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	36.0% (19位)	日頃から学習テーマを持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	16.2%	20.0%	15.1%
			日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合	33.9%	40.0%	37.4%
施策14	社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	36.0% (19位)				
施策15	学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	51.0% (7位)				
施策16	文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	26.7% (28位)	文化芸術活動を月数回以上行っている市民の割合	14.5%	20.0%	16.4%
施策17	生活環境の向上(生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など)	43.5% (12位)	自宅周辺の環境が清潔で衛生的と感じる市民の割合	73.7%	80.0%	77.9%
			環境マナーが守られていると感じる市民の割合	62.8%	70.0%	68.5%
			地域の美化活動に参加している市民の割合	52.2%	60.0%	63.6%
施策18	自然共生社会の構築(みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	34.1% (23位)	自然環境が豊かであると感じる市民の割合	88.1%	93.0%	89.4%
施策19	循環型社会の構築(ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	43.6% (11位)				
施策20	低炭素社会の構築(省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	37.5% (17位)	省エネルギー・省資源を実践している市民の割合	82.1%	90.0%	87.1%
施策21	環境教育・学習の推進(環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	35.3% (22位)	環境学習会や環境講演会等に参加したことがある市民の割合	12.3%	25.0%	13.5%

施策22	未来に伝える景観づくり(景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など)	32.3% (25位)	自然が美しいと感じる市民の割合	85.5%	85.5%	85.2%
			歴史的景観が美しいと感じる市民の割合	91.3%	91.3%	90.8%
			良好なまちなみと感じる市民の割合	76.8%	80.0%	80.1%
施策23	計画的なまちづくり(秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	44.9% (10位)	道路や公園などの都市基盤が周辺に整えられ、快適で住環境がよいと感じる市民の割合	69.6%	75.0%	69.3%
			商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利と感じる市民の割合	69.7%	75.0%	70.8%
施策24	地域交通体系の整備(幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など)	50.9% (8位)	公共交通機関(鉄道・バス)の利便性に満足を感じる市民の割合	鉄道63.7% バス31.1%	鉄道65.0% バス50.0%	鉄道66.2% バス35.2%
施策25	良質な水道水の安定供給(水道施設の整備・維持や健全経営など)	56.6% (4位)				
施策26	下水道の整備と普及促進(下水道施設の整備・維持や健全経営など)	41.7% (13位)				
施策27	産業の振興(商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	32.8 (24位)	主に市内で買物している市民の割合	67.8%	75.0%	72.7%
施策28	文化遺産の保存と活用(史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	29.6% (26位)				
施策29	観光基盤の整備充実(観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	36.0% (19位)				
施策30	国際交流・友好都市交流の推進(国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など)	22.2% (30位)	日頃から市内在住外国人と交流している市民の割合	5.3%	10.0%	4.6%
			姉妹都市・友好都市を認知している市民の割合	33.0%	50.0%	24.6%
施策31	市民参画の推進(自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など)	21.8% (31位)				
施策32	情報の共有化と活用(行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	28.4% (27位)	市民と行政の情報共有がなされていると感じる市民の割合	36.7%	50.0%	30.6%
			広報だざいふを読んでいる市民の割合	83.0%	90.0%	87.8%
			市公式ホームページを見ている市民の割合	29.0%	50.0%	34.1%
施策33	市民のための行政運営(行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など)	37.7% (16位)	効果的に行政運営が行われていると感じる市民の割合	48.9%	80.0%	48.5%
			職員の応対や行動などの仕事に対する取組に満足している市民の割合	65.7%	100%	60.5%
施策34	広域連携の推進(広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など)	20.5% (33位)	広域化により住民サービスが向上したと感じる市民の割合	28.2%	40.0%	37.1%

2. 子育て支援の推進

(1) 子育てのしやすさ (問 12)

- 『子育てがしやすい派』は75.0%、『子育てがしにくい派』は25.0%。
- 20歳代、30歳代では『子育てがしにくい派』が3割台と多い。

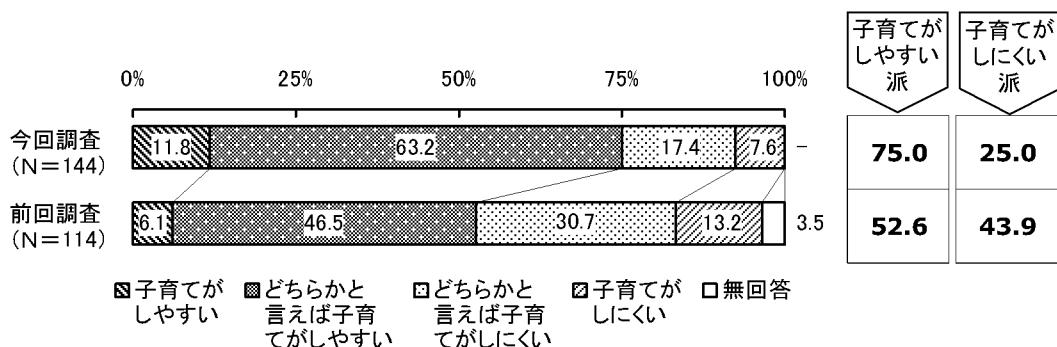
中学生以下の子どもがいる人(144人)で「子育てがしやすい」と思っている人は11.8%で、「どちらかと言えば子育てがしやすい」(63.2%)を合わせた『子育てがしやすい派』は75.0%となっている。反対に「子育てがしにくい」は7.6%で「どちらかと言えば子育てがしにくい」(17.4%)を合わせた『子育てがしにくい派』は25.0%となっている。

経年比較でみると、『子育てがしやすい派』は22.4ポイントも増加している。

性別でみると、『子育てがしにくい派』は女性が27.2%で男性(21.2%)よりも6ポイント高い。

年代別にみると、20歳代と30歳代で『子育てがしにくい派』が3割台と他の年代に比べて高い。

問 12. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		144	11.8	63.2	17.4	7.6	-	75.0	25.0
性別	男性	52	11.5	67.3	13.5	7.7	-	78.8	21.2
	女性	92	12.0	60.9	19.6	7.6	-	72.9	27.2
年代別	20歳代	16	12.5	56.3	25.0	6.3	-	68.8	31.3
	30歳代	65	10.8	56.9	21.5	10.8	-	67.7	32.3
	40歳代	52	15.4	67.3	11.5	5.8	-	82.7	17.3
	50歳代	8	-	87.5	12.5	-	-	87.5	12.5
	60歳代	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	10	10.0	80.0	-	10.0	-	90.0	10.0
	太宰府東小学校区	11	9.1	63.6	27.3	-	-	72.7	27.3
	太宰府南小学校区	5	40.0	40.0	-	20.0	-	80.0	20.0
	水城小学校区	33	18.2	69.7	9.1	3.0	-	87.9	12.1
	水城西小学校区	28	7.1	53.6	32.1	7.1	-	60.7	39.2
	太宰府西小学校区	28	7.1	64.3	14.3	14.3	-	71.4	28.6
	国分小学校区	21	9.5	66.7	23.8	-	-	76.2	23.8
	わからない	8	12.5	50.0	12.5	25.0	-	62.5	37.5

(2) 子育てに対する不安や負担感 (問 13)

●子育てに対して『不安派』が58.3%、『安心派』が41.0%。

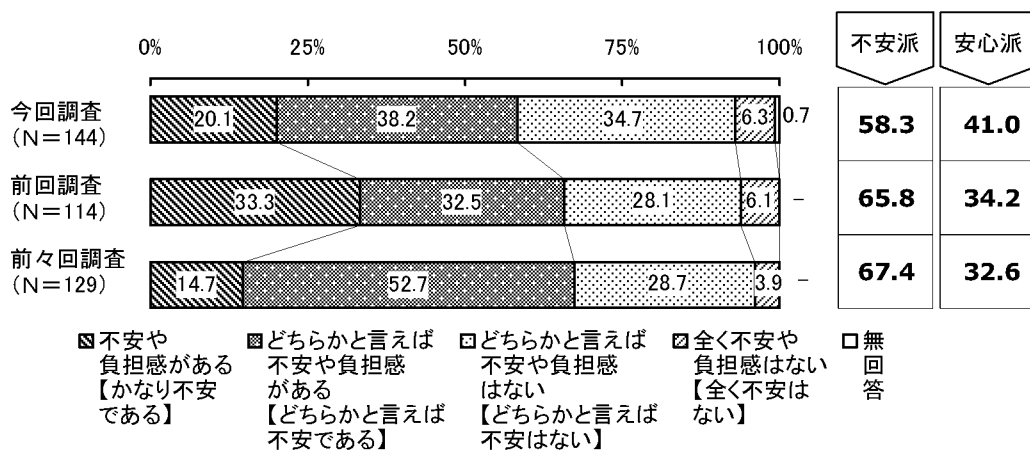
中学生以下の子どもがいる人(144人)の子育てに対する不安や負担感について「不安や負担感がある」は20.1%、「どちらかと言えば不安や負担感がある」が38.2%で、これらを合わせた『不安派』は58.3%となっている。一方、「全く不安や負担感はない」は6.3%で「どちらかと言えば不安や負担感はない」(34.7%)を合わせた『安心派』は41.0%となっている。

経年比較でみると、『不安派』は減少傾向となっている。

性別でみると、女性の『不安派』は62.0%で男性(51.9%)よりも10.1ポイント高い。

年代別にみると、子育ての中心世代である20歳代から40歳代のうち、20歳代と30歳代で『不安派』が6割以上と高くなっているが、30歳代で「不安や負担感がある」が26.2%と高い。

問 13. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)



※【 】内は前々回調査の項目

		標本数	が不安や負担感がある	担えど感ばどちらか不安や負担感がある	担えど感ばどちらか不安や負担感はない	担えど感ばどちらか不安や負担感はない	無回答	不安派	安心派
全体		144	29	55	50	9	1	84	59
		100.0	20.1	38.2	34.7	6.3	0.7	58.3	41.0
性別	男性	52	23.1	28.8	40.4	5.8	1.9	51.9	46.2
	女性	92	18.5	43.5	31.5	6.5	-	62.0	38.0
年代別	20歳代	16	12.5	62.5	12.5	6.3	6.3	75.0	18.8
	30歳代	65	26.2	35.4	35.4	3.1	-	61.6	38.5
	40歳代	52	17.3	38.5	38.5	5.8	-	55.8	44.3
	50歳代	8	-	12.5	62.5	25.0	-	12.5	87.5
	60歳代	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	10	30.0	60.0	-	10.0	-	90.0	10.0
	太宰府東小学校区	11	9.1	54.5	27.3	9.1	-	63.6	36.4
	太宰府南小学校区	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	水城小学校区	33	9.1	42.4	39.4	9.1	-	51.5	48.5
	水城西小学校区	28	28.6	35.7	32.1	3.6	-	64.3	35.7
	太宰府西小学校区	28	21.4	28.6	42.9	7.1	-	50.0	50.0
	国分小学校区	21	19.0	28.6	52.4	-	-	47.6	52.4
	わからない	8	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0

3. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの有無 (問 14)

●『充実派』は約8割で、生きがいを「とても感じている」人は増加傾向にある。

65 歳以上の人 (135 人) に生きがいの有無をたずねたところ、「とても感じている」が 27.4%、「どちらかと言えば感じている」が 50.4%でこれらを合わせた『充実派』は 77.8% となっている。一方、「全く感じていない」(1.5%)と「どちらかと言えば感じていない」(19.3%)を合わせた『不満派』は 20.8%である。

経年比較でみると、『充実派』が今回調査ではやや減少しているが、「とても感じている」に限ってみると増加傾向にある。

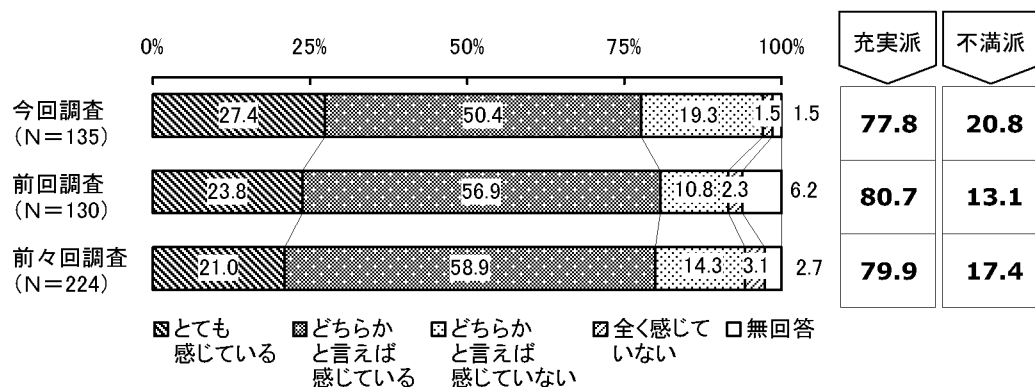
性別でみると、『充実派』『不満派』とも性別による違いはあまりみられない。

年代別にみると、60 歳代より 70 歳以上で『充実派』がやや高い。

健康状態別にみると、現在の健康状態が良好な人は生きがいを「とても感じている」人が多い。

問 14. XXXXXXXXXX

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)



※前回調査では60歳以上の人が回答

		標本数	とても感じている (%)	どちらかと言えば感じている (%)	どちらかと言えば感じていない (%)	全く感じていない (%)	無回答 (%)	充実派 (%)	不満派 (%)
全体		135	37	68	26	2	2	105	28
性別	男性	78	28.2	50.0	19.2	1.3	1.3	78.2	20.5
	女性	57	26.3	50.9	19.3	1.8	1.8	77.2	21.1
年代別	60歳代	57	26.3	49.1	21.1	1.8	1.8	75.4	22.9
	70歳以上	78	28.2	51.3	17.9	1.3	1.3	79.5	19.2
健康状態別	とても健康である	16	43.8	25.0	25.0	-	6.3	68.8	25.0
	健康な方である	79	29.1	55.7	12.7	1.3	1.3	84.8	14.0
	あまり健康でない	29	17.2	58.6	24.1	-	-	75.8	24.1
	健康ではない	10	20.0	20.0	50.0	10.0	-	40.0	60.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	21	19.0	52.4	23.8	-	4.8	71.4	23.8
	太宰府東小学校区	17	23.5	41.2	23.5	11.8	-	64.7	35.3
	太宰府南小学校区	22	27.3	63.6	9.1	-	-	90.9	9.1
	水城小学校区	21	33.3	47.6	14.3	-	4.8	80.9	14.3
	水城西小学校区	13	7.7	46.2	46.2	-	-	53.9	46.2
	太宰府西小学校区	22	45.5	45.5	9.1	-	-	91.0	9.1
	国分小学校区	14	28.6	50.0	21.4	-	-	78.6	21.4
	わからない	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	

(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 15)

- 高齢者福祉サービスについて『充実派』は 18.1%、『不足派』は 21.8%。
- 男性や 60 歳以上では『充実派』『不足派』ともに高いが、基本的に『不足派』が多い。

高齢者福祉サービスの充実度について「そう思う」(1.7%)と「ややそう思う」(16.4%)を合わせた『充実派』が 18.1%、「そう思わない」(5.0%)と「あまりそう思わない」(16.8%)を合わせた『不足派』は 21.8%となっている。全員対象の設問であったが、前問からの続きとみなされているためか 50 歳代までの無回答が多く、高齢者福祉サービスの該当者である 60 歳以上で回答されている。

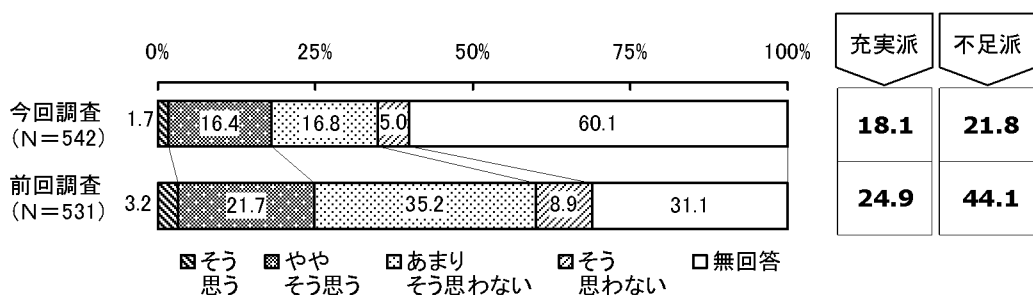
経年比較でみると、『充実派』『不足派』とも前回調査よりも減少している。

性別にみると、男性は『充実派』『不足派』ともに女性よりも高いが、『不足派』については 31.3%と女性(14.9%)よりも 16.4ポイントも高くなっている。

年代別にみると、60 歳代と 70 歳以上で『不足派』が『充実派』より高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では『不足派』が 41.7%と高いが、『充実派』も 30.6%と他の校区に比べて高くなっている。

問 15. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		542	1.7	16.4	16.8	5.0	60.1	18.1	21.8
性別	男性	227	1.8	18.9	25.6	5.7	48.0	20.7	31.3
	女性	315	1.6	14.6	10.5	4.4	68.9	16.2	14.9
年代別	20歳代	51	-	13.7	11.8	3.9	70.6	13.7	15.7
	30歳代	105	1.0	11.4	12.4	1.9	73.3	12.4	14.3
	40歳代	88	-	11.4	5.7	-	83.0	11.4	5.7
	50歳代	89	1.1	4.5	4.5	4.5	85.4	5.6	9.0
	60歳代	130	0.8	22.3	23.8	7.7	45.4	23.1	31.5
	70歳以上	78	7.7	33.3	41.0	11.5	6.4	41.0	52.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	1.6	20.6	15.9	7.9	54.0	22.2	23.8
	太宰府東小学校区	60	1.7	16.7	28.3	8.3	45.0	18.4	36.6
	太宰府南小学校区	36	2.8	27.8	30.6	11.1	27.8	30.6	41.7
	水城小学校区	98	5.1	16.3	9.2	2.0	67.3	21.4	11.2
	水城西小学校区	75	1.3	13.3	14.7	2.7	68.0	14.6	17.4
	太宰府西小学校区	77	-	13.0	20.8	2.6	63.6	13.0	23.4
	国分小学校区	83	-	18.1	10.8	6.0	65.1	18.1	16.8
	わからない	46	-	8.7	15.2	4.3	71.7	8.7	19.5
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0

4. 障がい者福祉の推進

(1) 障がい者福祉サービスの充実度（問16）

●障がい者福祉サービスについて『不足派』が『充実派』を10ポイント上回っている。

障がい者福祉サービスの充実度について「そう思う」(4.4%)と「ややそう思う」(31.5%)を合わせた『充実派』は35.9%である。「そう思わない」(6.6%)と「あまりそう思わない」(39.3%)を合わせた『不足派』は45.9%で『充実派』を10ポイント上回っている。

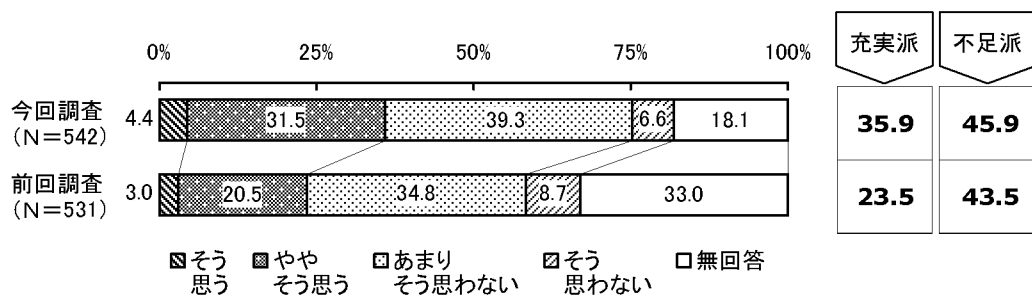
前回調査と比較すると、『充実派』は12.4ポイント増加し、『不足派』は同程度となっている。

性別でみると、高齢者福祉サービスと同様に男性は『充実派』『不足派』ともに女性よりも高く、『不足派』については50.2%と女性(42.8%)よりも7.4ポイントも高い。

年代別にみると、60歳以上では『充実派』が約4割となっているが、他の年代では3割台前半で全体よりも低い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府西小学校区では『不足派』が5割を超えて高い。

問16. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		542	24	171	213	36	98	195	249
		100.0	4.4	31.5	39.3	6.6	18.1	35.9	45.9
性別	男性	227	5.3	32.2	40.5	9.7	12.3	37.5	50.2
	女性	315	3.8	31.1	38.4	4.4	22.2	34.9	42.8
年代別	20歳代	51	3.9	29.4	39.2	9.8	17.6	33.3	49.0
	30歳代	105	2.9	29.5	41.0	6.7	20.0	32.4	47.7
	40歳代	88	1.1	33.0	38.6	4.5	22.7	34.1	43.1
	50歳代	89	4.5	25.8	42.7	5.6	21.3	30.3	48.3
	60歳代	130	5.4	36.2	36.2	7.7	14.6	41.6	43.9
	70歳以上	78	9.0	32.1	39.7	6.4	12.8	41.1	46.1
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	9.5	30.2	33.3	11.1	15.9	39.7	44.4
	太宰府東小学校区	60	-	31.7	43.3	10.0	15.0	31.7	53.3
	太宰府南小学校区	36	2.8	38.9	38.9	5.6	13.9	41.7	44.5
	水城小学校区	98	5.1	31.6	32.7	4.1	26.5	36.7	36.8
	水城西小学校区	75	1.3	29.3	46.7	2.7	20.0	30.6	49.4
	太宰府西小学校区	77	3.9	35.1	50.6	-	10.4	39.0	50.6
	国分小学校区	83	8.4	30.1	34.9	9.6	16.9	38.5	44.5
	わからない	46	2.2	23.9	34.8	15.2	23.9	26.1	50.0
無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0	

(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 17)

●公共施設の配慮について『肯定派』(45.6%)と『否定派』(46.9%)が拮抗。

公共施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(6.1%)と「ややそう思う」(39.5%)を合わせた『肯定派』は45.6%、「そう思わない」(7.0%)と「あまりそう思わない」(39.9%)を合わせた『否定派』は46.9%で公共施設の配慮については意見が拮抗している。

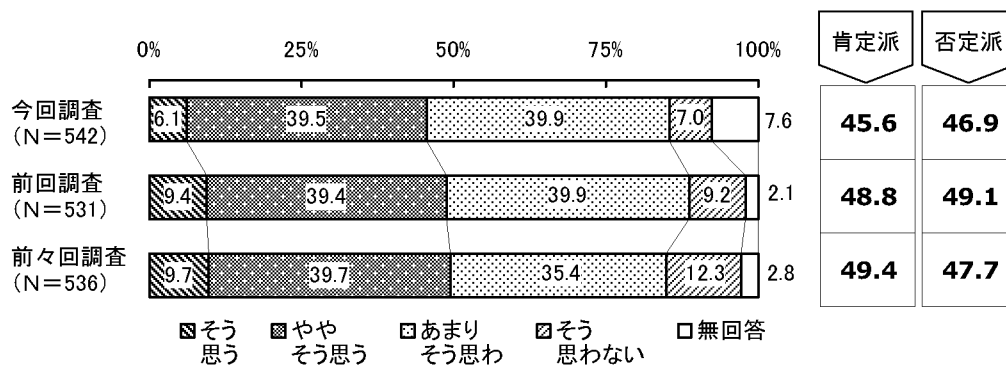
経年比較でみると『肯定派』は減少傾向にある。

性別にみると男性は『否定派』(49.8%)、女性は『肯定派』(47.6%)の方が高くなっている。

年代別にみると、50歳代で『否定派』が55.0%と最も高く、60歳以上に比べ50歳代以下で『否定派』が多くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と水城小学校区で『肯定派』が5割を超えている。一方で水城西小学校区と太宰府東小学校区、太宰府西小学校区では『否定派』が5割を超えて多い。

問 17. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		542	33	214	216	38	41	247	254
		100.0	6.1	39.5	39.9	7.0	7.6	45.6	46.9
性別	男性	227	6.2	36.6	41.9	7.9	7.5	42.8	49.8
	女性	315	6.0	41.6	38.4	6.3	7.6	47.6	44.7
年代別	20歳代	51	9.8	37.3	39.2	7.8	5.9	47.1	47.0
	30歳代	105	1.9	41.0	44.8	2.9	9.5	42.9	47.7
	40歳代	88	3.4	37.5	39.8	9.1	10.2	40.9	48.9
	50歳代	89	6.7	29.2	43.8	11.2	9.0	35.9	55.0
	60歳代	130	6.9	42.3	36.9	6.9	6.9	49.2	43.8
	70歳以上	78	10.3	47.4	34.6	5.1	2.6	57.7	39.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	11.1	44.4	30.2	7.9	6.3	55.5	38.1
	太宰府東小学校区	60	3.3	38.3	43.3	10.0	5.0	41.6	53.3
	太宰府南小学校区	36	8.3	38.9	41.7	2.8	8.3	47.2	44.5
	水城小学校区	98	13.3	40.8	34.7	4.1	7.1	54.1	38.8
	水城西小学校区	75	1.3	37.3	50.7	4.0	6.7	38.6	54.7
	太宰府西小学校区	77	2.6	36.4	44.2	9.1	7.8	39.0	53.3
	国分小学校区	83	4.8	43.4	33.7	12.0	6.0	48.2	45.7
	わからない	46	-	32.6	45.7	4.3	17.4	32.6	50.0
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 18)

●民間施設の配慮について『否定派』が『肯定派』を約24ポイント上回っている。

民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(3.5%)と「ややそう思う」(30.3%)を合わせた『肯定派』は33.8%、「そう思わない」(7.7%)と「あまりそう思わない」(50.4%)を合わせた『否定派』は58.1%で民間施設の配慮について『否定派』が『肯定派』を24.3ポイントも上回っている。

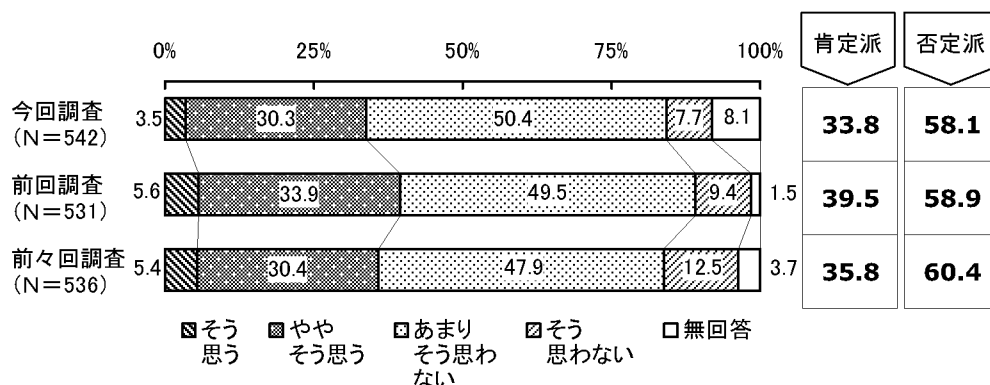
経年比較でみると、『否定派』は6割前後と大きな変化はないが、『肯定派』は前回調査までは3.7ポイント増加していたが、今回調査では5.7ポイント減少に転じている。

性別でみると、あまり大きな差はみられない。

年代別みると40歳代と50歳代では『否定派』が6割台と高い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区で『否定派』が66.6%と最も高く、太宰府西小学校区と国分小学校区、水城西小学校区でも約6割と高い。

問 18. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	3.5	30.3	50.4	7.7	8.1	33.8	58.1
性別	男性	227	2.6	30.8	49.8	9.3	7.5	33.4	59.1
	女性	315	4.1	29.8	50.8	6.7	8.6	33.9	57.5
年代別	20歳代	51	3.9	33.3	49.0	7.8	5.9	37.2	56.8
	30歳代	105	2.9	37.1	46.7	4.8	8.6	40.0	51.5
	40歳代	88	3.4	21.6	56.8	8.0	10.2	25.0	64.8
	50歳代	89	4.5	21.3	52.8	12.4	9.0	25.8	65.2
	60歳代	130	2.3	33.1	49.2	6.2	9.2	35.4	55.4
	70歳以上	78	5.1	33.3	48.7	9.0	3.8	38.4	57.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	3.2	38.1	41.3	11.1	6.3	41.3	52.4
	太宰府東小学校区	60	3.3	23.3	58.3	8.3	6.7	26.6	66.6
	太宰府南小学校区	36	11.1	25.0	52.8	2.8	8.3	36.1	55.6
	水城西小学校区	98	5.1	35.7	43.9	7.1	8.2	40.8	51.0
	水城西小学校区	75	2.7	32.0	56.0	4.0	5.3	34.7	60.0
	太宰府西小学校区	77	3.9	26.0	55.8	5.2	9.1	29.9	61.0
	国分小学校区	83	1.2	31.3	47.0	13.3	7.2	32.5	60.3
	わからない	46	-	26.1	52.2	4.3	17.4	26.1	56.5
無回答	4	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	

5. 地域福祉の推進（問19）

●地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』は約6割で、『肯定派』（34.7%）を約25ポイント上回っている。

地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて「そう思う」（4.8%）と「ややそう思う」（29.9%）を合わせた『肯定派』は34.7%、「そう思わない」（14.6%）と「あまりそう思わない」（44.8%）を合わせた『否定派』は59.4%と『否定派』が『肯定派』を24.7ポイント上回っている。

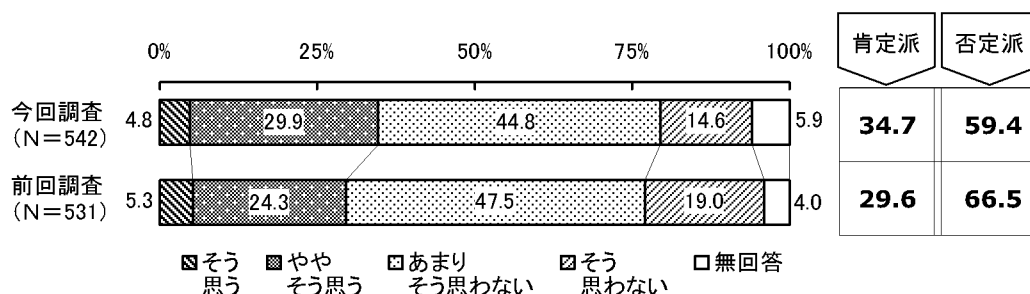
前回調査と比較すると「ややそう思う」が5.6ポイント増えており、『肯定派』が前回よりも増えている。

性別にみると、男性の方が『否定派』が4ポイント高い。

年代別にみると、40歳代と70歳以上で『肯定派』が4割近くと他の年代に比べて高い。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区と太宰府東小学校区で『肯定派』が4割台と他の小学校区に比べて多い。

問19. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	4.8	29.9	44.8	14.6	5.9	34.7	59.4
性別	男性	227	5.3	28.6	48.0	13.7	4.4	33.9	61.7
	女性	315	4.4	30.8	42.5	15.2	7.0	35.2	57.7
年代別	20歳代	51	2.0	33.3	47.1	11.8	5.9	35.3	58.9
	30歳代	105	3.8	28.6	51.4	12.4	3.8	32.4	63.8
	40歳代	88	4.5	33.0	44.3	9.1	9.1	37.5	53.4
	50歳代	89	4.5	27.0	46.1	19.1	3.4	31.5	65.2
	60歳代	130	4.6	28.5	41.5	18.5	6.9	33.1	60.0
	70歳以上	78	9.0	30.8	39.7	14.1	6.4	39.8	53.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	4.8	31.7	42.9	14.3	6.3	36.5	57.2
	太宰府東小学校区	60	5.0	40.0	35.0	16.7	3.3	45.0	51.7
	太宰府南小学校区	36	5.6	33.3	38.9	16.7	5.6	38.9	55.6
	水城小学校区	98	6.1	25.5	44.9	17.3	6.1	31.6	62.2
	水城西小学校区	75	1.3	21.3	65.3	6.7	5.3	22.6	72.0
	太宰府西小学校区	77	9.1	36.4	41.6	10.4	2.6	45.5	52.0
	国分小学校区	83	2.4	34.9	36.1	20.5	6.0	37.3	56.6
	わからない	46	4.3	17.4	52.2	10.9	15.2	21.7	63.1
	無回答	4	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0

6. 生涯健康づくりの推進

(1) 健康状態 (問 20)

●ここ数週間の健康状態は『健康』が約8割、『不調』が約2割。

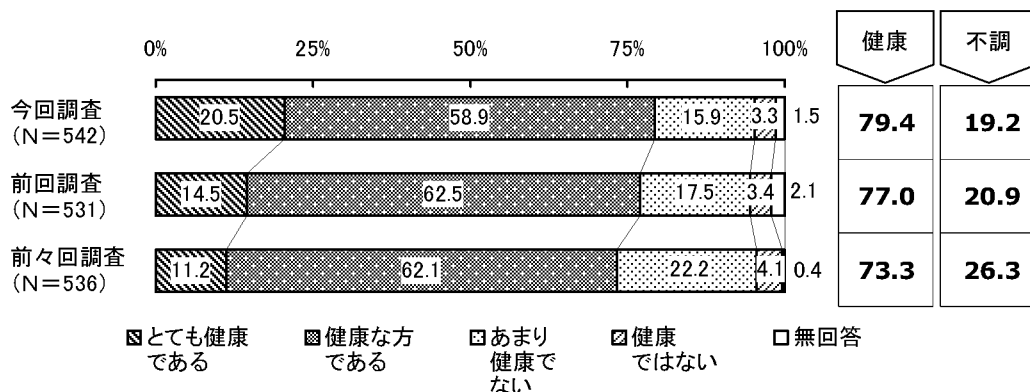
ここ数週間の健康状態は「とても健康である」が20.5%、「健康な方である」が58.9%で、これらを合わせた『健康』な人は79.4%となっている。「健康でない」(3.3%)と「あまり健康でない」(15.9%)を合わせた『不調』な人は19.2%である。

経年比較でみると「とても健康である」は毎回増加しており、『健康』と回答する人が増えてきている。

性別でみると、男女ともに約8割が『健康』と回答しており、差はみられない。

年代別でみると、高齢者層で『不調』の人が多く、『健康』な人は年齢が低い層が多い。

問 20. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康でない	健康でない	無回答	健康 (%)	不調 (%)
全体		542	111	319	86	18	8	79.4	19.2
性別	男性	227	22.0	57.3	14.5	3.5	2.6	79.3	18.0
	女性	315	19.4	60.0	16.8	3.2	0.6	79.4	20.0
年代別	20歳代	51	31.4	58.8	9.8	-	-	90.2	9.8
	30歳代	105	29.5	56.2	12.4	1.9	-	85.7	14.3
	40歳代	88	20.5	59.1	15.9	3.4	1.1	79.6	19.3
	50歳代	89	18.0	64.0	11.2	2.2	4.5	82.0	13.4
	60歳代	130	17.7	57.7	17.7	5.4	1.5	75.4	23.1
	70歳以上	78	9.0	57.7	26.9	5.1	1.3	66.7	32.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	23.8	52.4	14.3	7.9	1.6	76.2	22.2
	太宰府東小学校区	60	26.7	50.0	20.0	3.3	-	76.7	23.3
	太宰府南小学校区	36	11.1	61.1	22.2	-	5.6	72.2	22.2
	水城小学校区	98	32.7	51.0	11.2	5.1	-	83.7	16.3
	水城西小学校区	75	10.7	66.7	17.3	2.7	2.7	77.4	20.0
	太宰府西小学校区	77	19.5	62.3	16.9	1.3	-	81.8	18.2
	国分小学校区	83	13.3	72.3	12.0	2.4	-	85.6	14.4
	わからない	46	21.7	50.0	21.7	-	6.5	71.7	21.7
	無回答	4	-	75.0	-	25.0	-	75.0	25.0

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 21)

●健康増進のための取り組んでいるものが「ある」人は54.2%。健康状態が良好な人ほど「ある」人が多い。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」人は54.2%と過半数となっている。「ない」人は44.6%となっている。

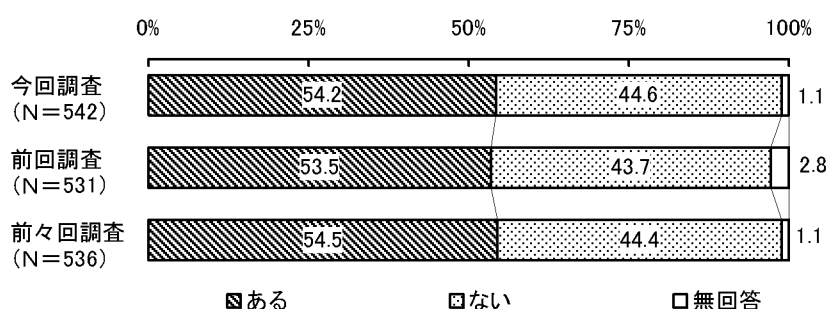
経年比較でみてもあまり大きな違いはみられない。

性別でみると、大きな違いはみられないが、男性の方が「ある」人がやや多い。

年代別にみると、60歳代で「ある」が最も高く76.2%、70歳以上でも67.9%と高く、50歳代以下の年代と比べて高いのがめだっている。

健康状態別にみると、健康状態が良好な人ほど健康増進のための取り組みが「ある」人が多くなっている。

問 21. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		542	54.2	44.6	1.1
性別	男性	227	55.1	43.2	1.8
	女性	315	53.7	45.7	0.6
年代別	20歳代	51	39.2	60.8	-
	30歳代	105	44.8	55.2	-
	40歳代	88	35.2	63.6	1.1
	50歳代	89	48.3	49.4	2.2
	60歳代	130	76.2	22.3	1.5
	70歳以上	78	67.9	30.8	1.3
	無回答	1	100.0	-	-
健康状態別	とても健康である	111	60.4	39.6	-
	健康な方である	319	56.7	43.3	-
	あまり健康でない	86	43.0	57.0	-
	健康ではない	18	38.9	61.1	-
	無回答	8	25.0	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	57.1	42.9	-
	太宰府東小学校区	60	61.7	38.3	-
	太宰府南小学校区	36	66.7	30.6	2.8
	水城小学校区	98	49.0	51.0	-
	水城西小学校区	75	48.0	49.3	2.7
	太宰府西小学校区	77	59.7	40.3	-
	国分小学校区	83	53.0	47.0	-
	わからない	46	45.7	47.8	6.5
無回答	4	50.0	50.0	-	

(3) 健康診査の受診状況 (問 22)

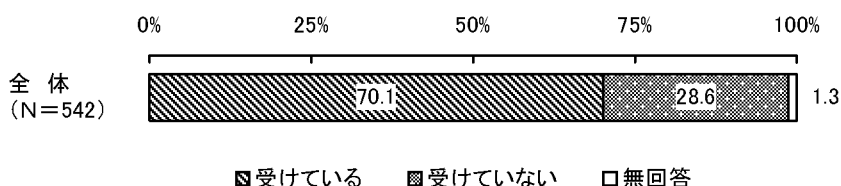
●この一年間の健康診査の受診率は約7割であるが、男性40歳代の受診率は約3割と低い。

この一年間の健康診査の受診状況は「受けている」が70.1%、「受けていない」は28.6%となっている。

性別・年代別にみると、受診率は男女ともに20歳代と30歳代で他の年代に比べて低い。健康状態別にみると、とても健康である人の受診率は64.9%と健康でない人の受診率(66.7%)と大差はなかった。

小学校区別でみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区で受診率は全体平均以下となっている。

問 22. あなたはこの一年間に、1回以上健康診査を受けましたか。(○は1つ)



		標本数	受けている (%)	受けていない (%)	無回答 (%)
全体		542	380	155	7
		100.0	70.1	28.6	1.3
性別・年代別	男性:20歳代	18	61.1	38.9	-
	男性:30歳代	38	68.4	31.6	-
	男性:40歳代	32	84.4	12.5	3.1
	男性:50歳代	36	75.0	22.2	2.8
	男性:60歳代	58	77.6	20.7	1.7
	男性:70歳代以上	45	77.8	20.0	2.2
	女性:20歳代	33	66.7	33.3	-
健康状態別	とても健康である	111	64.9	35.1	-
	健康な方である	319	73.4	26.6	-
	あまり健康でない	86	72.1	26.7	1.2
	健康ではない	18	66.7	33.3	-
	無回答	8	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	73.0	27.0	-
	太宰府東小学校区	60	75.0	25.0	-
	太宰府南小学校区	36	75.0	22.2	2.8
	水城西小学校区	98	63.3	36.7	-
	水城西小学校区	75	66.7	29.3	4.0
	太宰府西小学校区	77	70.1	29.9	-
	国分小学校区	83	73.5	26.5	-
	わからない	46	69.6	23.9	6.5
無回答	4	75.0	25.0	-	

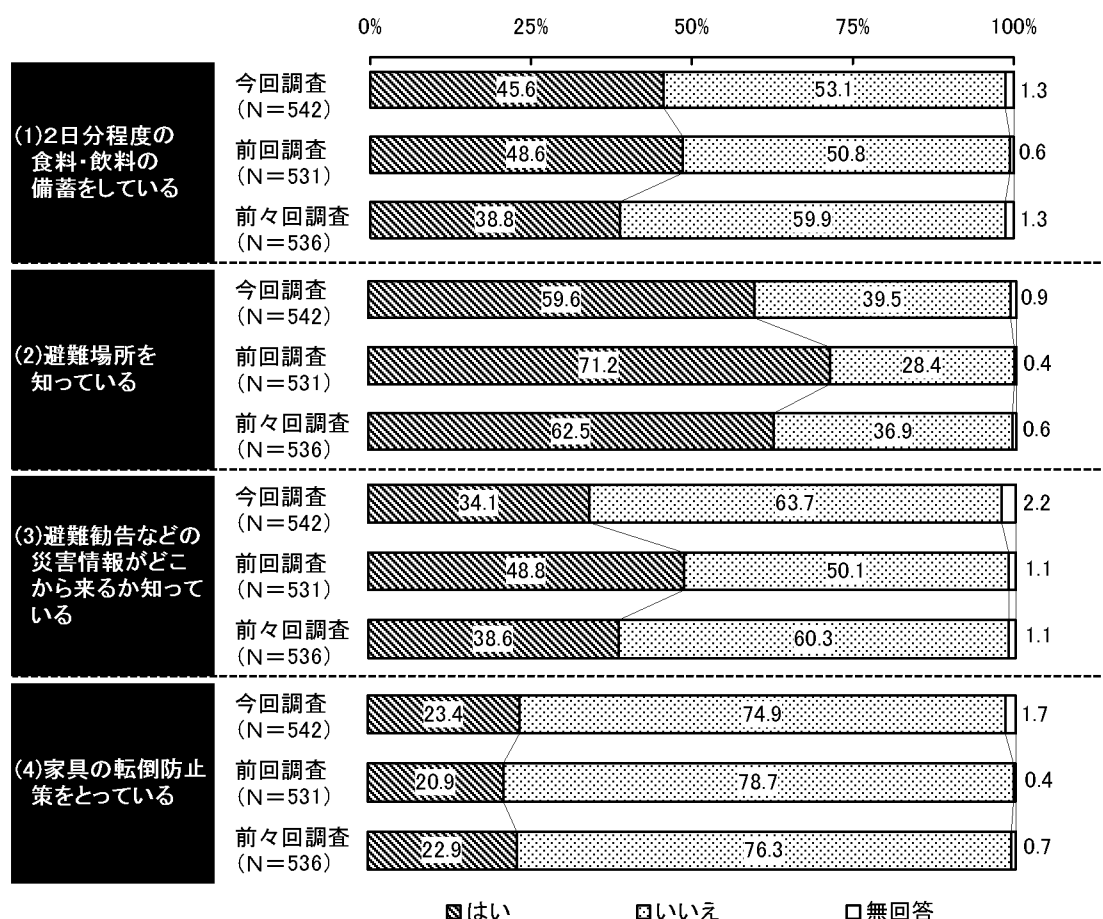
7. 防災・消防体制の整備充実（問 23）

● 「(1) 食料の備蓄」「(3) 災害情報源の認知」「(4) 家具転倒防止策の備え」などは5割以上が実施していない。

日頃の災害に対する備えについて、「(2) 避難場所の認知」(59.6%)、「(1) 食料の備蓄」(45.6%)、「(3) 災害情報源の認知」(34.1%)、「(4) 家具転倒防止策の備え」(23.4%)の順で実施率が高くなっているが、「(2) 避難場所の認知」以外は5割を下回っている。

経年比較でみると、「(4) 家具転倒防止策の備え」以外は前回調査よりも実施率が低くなっており、特に「(2) 避難場所の認知」は11.6ポイント、「(3) 災害情報源の認知」は14.7ポイント低くなっている。

問 23. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)



第2章 調査結果の分析

性別にみると、「(1) 食料の備蓄」や「(2) 避難場所の認知」は女性でやや高く、「(3) 災害情報源の認知」「(4) 家具転倒防止策の備え」については男性の方がやや高い。

年代別にみると、いずれの備えも年齢が高い層での実施率が高い。

小学校区別にみると、「(2) 避難場所の認知」は水城西小学校区で46.7%と他の小学校区に比べて低い。また校区がわからない人の認知率は21.7%と低い。

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			(4)家具の転倒防止策をとっている		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	542 100.0	247 45.6	288 53.1	7 1.3	323 59.6	214 39.5	5 0.9	185 34.1	345 63.7	12 2.2	127 23.4	406 74.9	9 1.7
性別													
男性	227	44.1	54.6	1.3	57.7	41.4	0.9	37.4	59.9	2.6	25.1	73.1	1.8
女性	315	46.7	52.1	1.3	61.0	38.1	1.0	31.7	66.3	1.9	22.2	76.2	1.6
年代別													
20歳代	51	45.1	54.9	-	37.3	62.7	-	15.7	84.3	-	15.7	84.3	-
30歳代	105	44.8	55.2	-	41.0	59.0	-	21.9	77.1	1.0	20.0	79.0	1.0
40歳代	88	31.8	65.9	2.3	56.8	40.9	2.3	22.7	73.9	3.4	26.1	72.7	1.1
50歳代	89	42.7	55.1	2.2	67.4	31.5	1.1	36.0	61.8	2.2	21.3	77.5	1.1
60歳代	130	50.8	48.5	0.8	72.3	26.9	0.8	50.0	49.2	0.8	25.4	72.3	2.3
70歳以上	78	56.4	41.0	2.6	71.8	26.9	1.3	47.4	47.4	5.1	28.2	67.9	3.8
無回答	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
小学校区別													
太宰府小学校区	63	52.4	47.6	-	61.9	38.1	-	36.5	61.9	1.6	17.5	81.0	1.6
太宰府東小学校区	60	45.0	53.3	1.7	70.0	28.3	1.7	35.0	61.7	3.3	23.3	76.7	-
太宰府南小学校区	36	50.0	50.0	-	63.9	33.3	2.8	38.9	58.3	2.8	30.6	69.4	-
水城小学校区	98	44.9	53.1	2.0	57.1	42.9	-	34.7	62.2	3.1	16.3	81.6	2.0
水城西小学校区	75	32.0	65.3	2.7	46.7	52.0	1.3	28.0	69.3	2.7	20.0	78.7	1.3
太宰府西小学校区	77	53.2	46.8	-	75.3	24.7	-	44.2	55.8	-	29.9	68.8	1.3
国分小学校区	83	48.2	51.8	-	67.5	32.5	-	37.3	61.4	1.2	30.1	68.7	1.2
わからない	46	39.1	56.5	4.3	21.7	73.9	4.3	10.9	84.8	4.3	21.7	71.7	6.5
無回答	4	50.0	50.0	-	100.0	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-

8. 防犯・暴力追放運動の推進

(1) 防犯面の安心度（問24）

●防犯面について『安心派』は約6割、『不安派』は約4割で、『安心派』は増加傾向にある。

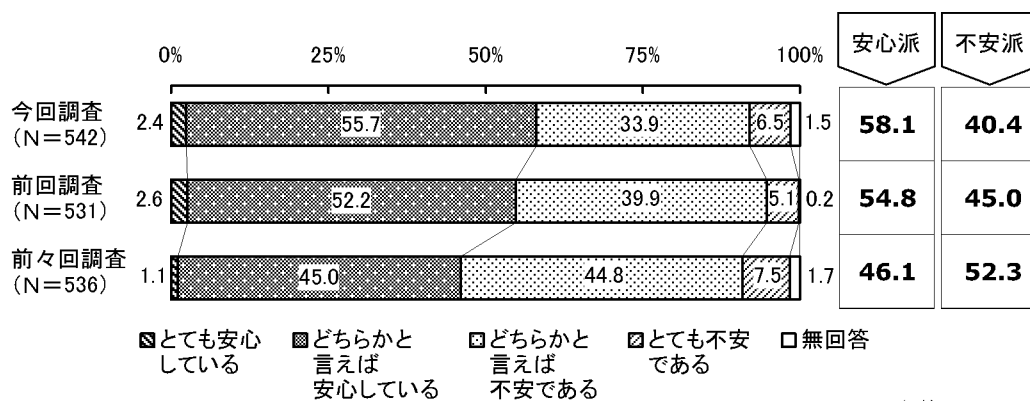
市内の防犯面について「とても安心している」が2.4%、「どちらかと言えば安心している」が55.7%でこれらを合わせた『安心派』は58.1%となっている。一方、「とても不安である」(6.5%)と「どちらかと言えば不安である」(33.9%)を合わせた『不安派』は40.4%で、『安心派』が17.7ポイント上回っている。

経年比較でみると、『安心派』は増加傾向にあり、前々回調査から12ポイント増加している。

性別でみると、『不安派』は女性が45.4%で、男性(33.4%)よりも12ポイント高い。年代別でみると、『不安派』は年齢が低い層で高く、20歳代では54.9%と『安心派』(45.1%)を上回っている。

小学校区別でみると、太宰府小学校区と太宰府南小学校区で『安心派』が約7割と高い。

問24. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している	いえるば安心か	えどらば不安か	とても不安である	無回答	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		542	2.4	55.7	33.9	6.5	1.5	58.1	40.4
性別	男性	227	2.2	61.2	28.6	4.8	3.1	63.4	33.4
	女性	315	2.5	51.7	37.8	7.6	0.3	54.2	45.4
年代別	20歳代	51	-	45.1	41.2	13.7	-	45.1	54.9
	30歳代	105	1.0	57.1	36.2	4.8	1.0	58.1	41.0
	40歳代	88	1.1	52.3	38.6	6.8	1.1	53.4	45.4
	50歳代	89	4.5	49.4	38.2	4.5	3.4	53.9	42.7
	60歳代	130	3.1	62.3	26.2	7.7	0.8	65.4	33.9
	70歳以上	78	3.8	60.3	29.5	3.8	2.6	64.1	33.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	6.3	63.5	23.8	4.8	1.6	69.8	28.6
	太宰府東小学校区	60	-	51.7	40.0	8.3	-	51.7	48.3
	太宰府南小学校区	36	-	69.4	25.0	2.8	2.8	69.4	27.8
	水城小学校区	98	2.0	63.3	27.6	6.1	1.0	65.3	33.7
	水城西小学校区	75	-	53.3	40.0	4.0	2.7	53.3	44.0
	太宰府西小学校区	77	5.2	51.9	33.8	9.1	-	57.1	42.9
	国分小学校区	83	2.4	50.6	38.6	7.2	1.2	53.0	45.8
	わからない	46	2.2	43.5	41.3	8.7	4.3	45.7	50.0
	無回答	4	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0

(2) 防犯上危険と思う場所 (問 24 付問 1)

太宰府	内山	男性	50歳代	内山区外灯が少ないように思う。
太宰府	三条台	女性	20歳代	五条駅周辺
太宰府	連歌屋	男性	20歳代	連歌屋1丁目全体的に街灯が少なく防犯上危険。街灯を増やして欲しい。
太宰府	連歌屋	女性	70歳代	となり近所(連歌屋)
太宰府	五条	男性	30歳代	五条駅から数十メートル離れた周辺全てにおいて暗く犯罪がおきやすいと思う。
太宰府	五条	男性	60歳代	屋外の駐車場のあたりはとても。
太宰府	五条	女性	20歳代	五条駅の駐輪場
太宰府	五条	女性	30歳代	五条駅の街灯が少ない(暗すぎる)。
太宰府	五条	女性	40歳代	夜になると公園に若い子が集まっている。
太宰府	五条西	女性	60歳代	35号線沿いより離れたところは全て夜間暗く危険、夜間灯の設置を望みます。
太宰府東	湯の谷西	女性	30歳代	街灯が基本的に暗い(←学園通りから上)
太宰府東	五条	女性	70歳代	学園通り
太宰府東	秋山	女性	20歳代	夜の五条商店街。
太宰府東	秋山	女性	30歳代	石坂学園通り、夕方あたりから人通りが少なく気味が悪い。ジョイント方面も同様。
太宰府東	五条台	女性	50歳代	外灯が暗く、少ない。
太宰府東	東ヶ丘	男性	50歳代	太宰府東小学校から太宰府東中学校への道路、東ヶ丘給水タンク、横山道。
太宰府東	東ヶ丘	女性	40歳代	太宰府東中の通学路(東小裏)不審者が出ているのに改善されていない。
太宰府東	東ヶ丘	女性	60歳代	東中学校の入口(坂の所)
太宰府東	東ヶ丘	女性	70歳代	太宰府東小学校入口右側手前のかいづかの木を除去してほしい。
太宰府東	星ヶ丘	女性	60歳代	地域内(星ヶ丘)の街灯が暗すぎる。
太宰府東	星ヶ丘	女性	60歳代	自宅の西側が一段高くなっていてそこにアパートが建ち、誰でもが通れる状態でそこから、自宅の庭に降りれるし、場合によっては1階の屋根に飛び降りることもできる。
太宰府南	梅香苑	男性	30歳代	外灯のない道路数カ所有り。
太宰府南	梅香苑	女性	20歳代	星ヶ丘保育園の前の坂。
水城	坂本	男性	50歳代	街灯が少ない。
水城	観世音寺	女性	20歳代	五条4丁目のファミリーマートから入った所の公園に学生がよくたまっている。草木をすっきりして、公園内がよく見えるようにした方がいいと思う。
水城	観世音寺	女性	30歳代	国分方面、変質者がよく出ているらしいです。
水城	桜町	女性	40歳代	えのき寺あたりは夕方からとても暗いので中学生の下校が心配(不良らしき若い子もたまっている)
水城	榎	女性	20歳代	となりの(榎)アパート(若者(学生)のマナーが悪い←夜間)
水城	榎寺	男性	60歳代	街灯が暗いので、夜道を歩くのが怖い。
水城	榎寺	女性	20歳代	朱雀の高架下や、西鉄ストア裏のトンネルなどが暗い印象で怖い。
水城	榎寺	女性	20歳代	目の前に通古賀近隣公園があるが、夜な夜な花火や爆竹を使う若者がいる。あと浮浪者が多すぎる。子供を遊ばせるのにためらう。
水城	通古賀	男性	40歳代	都府楼前(西鉄)ロータリー
水城	通古賀	女性	20歳代	駅周辺が暗い(街灯が少ない)、若者がたむろしていて怖い。
水城	通古賀	女性	30歳代	御笠川沿いの道が暗く、不安です。
水城	通古賀	女性	30歳代	自分の家の周り(通古賀)によく空き巣がでる。
水城	通古賀	女性	60歳代	◎自宅近くにパチンコ屋が多すぎる。◎路上駐車が多い。
水城	通古賀	女性	60歳代	外灯の数が非常に少なく町内全体うす暗い状態。
水城西	通古賀	男性	30歳代	河川敷の橋の下
水城西	都府楼	男性	20歳代	都府楼団地、夜暗い。
水城西	都府楼	女性	30歳代	都府楼の旧山小屋ラーメンのところから入った住宅街で、全裸の人が出たことがあります。すぐ警察に電話しましたが、夜は暗くてとても怖いです。外の街灯は暗い。増やしてほしいです。JR都府楼駅の周りも暗すぎる。
水城西	都府楼	女性	40歳代	JR都府楼駅から線路沿いの道路は暗すぎる。高校生も多く通るのが怖いと思う。
水城西	都府楼	女性	40歳代	JR都府楼南駅付近
水城西	向佐野	男性	60歳代	JR水城駅から向佐野に向う道路の街灯が少ないし暗く感じる。もっと増やして明るくして欲しい。
水城西	向佐野	女性	20歳代	近所で(向佐野)車上荒しが多い。
水城西	向佐野	女性	30歳代	賃貸住宅に住んでいるが、近所に暴力団関係と思われる人がいて、人の出入り(住人以外)がはげしい。小さな子どもや児童も多い地区なので、今のところ危害はないがあまりいい気持ちはしない。

水城西	吉松	男性	30歳代	筑紫保育園の少し先の高速下の交差点のところのトンネルが暗い。→全部暗い。通学路の途中のトンネルも。
水城西	吉松	男性	60歳代	公園の外灯が夜になると消える。
水城西	吉松	女性	30歳代	吉松の高速の高架下のトンネルを出て大佐野方面へ行く道。
水城西	吉松	女性	50歳代	吉松2丁目付近
太宰府西	大佐野	女性	40歳代	街灯が少ない。
太宰府西	大佐野	女性	60歳代	大佐野でメモリアルパークへ行く道、サンドラッグとザシューズの交差点から登って行く道、教会や宰府園大佐野ダムまでの道
太宰府西	向佐野	女性	30歳代	向佐野周辺（池、川）
太宰府西	向佐野	女性	60歳代	小学生登校中の小路に車が多い。街灯をつけて欲しい。
太宰府西	長浦台	男性	40歳代	佐野近隣公園によく不審車両が止まっている。
太宰府西	長浦台	男性	50歳代	大池公園沿いの暗い道路
太宰府西	長浦台	男性	70歳代	長浦台から青葉台への道路に信号を！
太宰府西	吉松	女性	20歳代	歴史スポーツ公園
太宰府西	吉松	女性	50歳代	道幅がせまく、歩道もせまいところが多い。
太宰府西	青葉台	男性	40歳代	歴史スポーツ公園周辺の街灯が少ない。
太宰府西	青葉台	男性	50歳代	カップ寿司裏にある貯水池付近、手入れがなされていないので、草が茂って不審者等が居そうで危ない。あと、その付近は、信号待ちを逃れるため、迂廻する車が多い。
太宰府西	青葉台	男性	60歳代	太宰府スポーツ公園は夜間暗い。
太宰府西	つつじヶ丘	女性	20歳代	J R線路下の歩行者道路。
太宰府西	つつじヶ丘	女性	40歳代	つつじヶ丘第3公園の前のがけetc. が暗く、死角になる（木など、多すぎ）
太宰府西	つつじヶ丘	女性	50歳代	遊歩道があるのですが、以前散歩出来たが危険が多い箇所多数。
太宰府西	つつじヶ丘	女性	60歳代	太宰府市と大野城市の間に溝があり、割合に深く、大雨、引きずりこまれたらわかりにくい！かくれやすい。どうにかして欲しい。両市で話し合い外灯も欲しい。
太宰府西	ひまわり台	男性	60歳代	街灯の明るさがたりない。少ない。
国分	内山4	男性	60歳代	高速道路近接のトンネル
国分	内山4	女性	40歳代	高速下の地下道の前後が暗くて怖い。
国分	水城台	男性	70歳代	公園がありますが東屋が一段低い所にありますので死角になり夏は不安に思います。
国分	国分	男性	20歳代	水城駅手前の高速高架下トンネル
国分	国分	男性	30歳代	自宅周辺（国分）は住みやすい反面静かなので、昼でも夜でも不安が有ります。
国分	国分	男性	30歳代	高速道路の下を通る道すべて暗い。
国分	国分	男性	60歳代	3号線ガード内
国分	国分	男性	70歳代	公衆トイレ
国分	国分	女性	30歳代	高速3号線の高架下
国分	国分	女性	60歳代	水城の交差点（三差路）の信号がポプラの道を水城に向かっていく所がとてもわかりにくい。
国分	国分	女性	60歳代	空室の多いアパートが多数あり。
わからない	五条	女性	50歳代	学園通りの道で「あなたは結婚しているのか」と声をかけられ家までつけられた事がある。
わからない	通古賀	男性	30歳代	近隣（通古賀）の街灯が少ない気がします。
わからない	通古賀	男性	30歳代	暗い場所が多いと思う。外灯をもっと増やして欲しい。
わからない	通古賀	男性	30歳代	通古賀の公園、駅から少し離れると夜間は暗い道。
わからない	通古賀	男性	50歳代	J R都府楼南駅周辺の街灯が暗く、女性の一人歩きは危険。
わからない	通古賀	女性	30歳代	西鉄都府楼前駅の周辺
わからない	通古賀	女性	40歳代	夜道が暗い。（駅から）住宅地の中に入った時。
わからない	吉松	男性	20歳代	街灯が無く人通りが少ない場所（例えば裏路地とか人気の無い暗い場所や地下道等）
わからない	吉松	女性	40歳代	夜の水城駅、周辺。
わからない	吉松	女性	50歳代	夜道に街灯が欲しい。
わからない	わからない	男性	40歳代	西鉄都府楼前駅から幸都方面への川沿いの道

9. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況（問 25）

●不当請求や不適正な取引行為の被害にあった人は 1.1%。被害はないが不安を感じた人は 13.1%。

この1年間に架空、不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」人は1.1%、「直接の被害はないが不安を感じた」人は13.1%である。「特になかった」は85.1%であった。

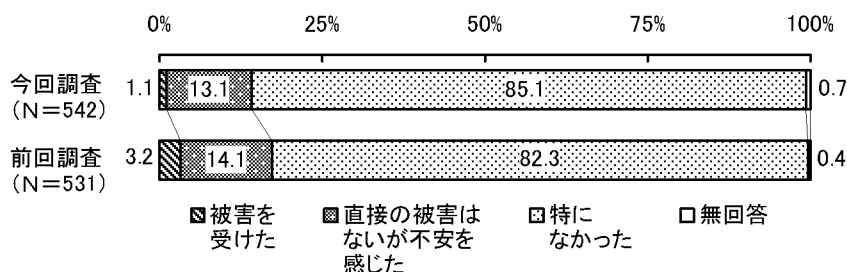
前回調査と比較すると、「被害を受けた」「直接の被害はないが不安を感じた」ともに少なくなっている。

性別でみると、「被害を受けた」は女性が1.6%で男性（0.4%）よりも多い。

性別・年代別でみると、「被害を受けた」のは男性では20歳代のみで、女性は20歳代、40歳代、70歳代以上でみられる。また「直接の被害はないが不安を感じた」は女性の60歳以上で22.2%と2割を超えている。

小学校区別でみると、太宰府西小学校区では「直接の被害はないが不安を感じた」が23.4%と他の小学校区に比べて高い。

問 25. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	被害を受けた	直接の被害はないが不安を感じた	特になかった	無回答
全体		542	6	71	461	4
		100.0	1.1	13.1	85.1	0.7
性別	男性	227	0.4	11.9	86.8	0.9
	女性	315	1.6	14.0	83.8	0.6
性別・年代別	男性:20歳代	18	5.6	11.1	83.3	-
	男性:30歳代	38	-	7.9	92.1	-
	男性:40歳代	32	-	18.8	78.1	3.1
	男性:50歳代	36	-	16.7	83.3	-
	男性:60歳代	58	-	8.6	89.7	1.7
	男性:70歳代以上	45	-	11.1	88.9	-
	女性:20歳代	33	3.0	12.1	84.8	-
	女性:30歳代	67	-	16.4	83.6	-
	女性:40歳代	56	3.6	14.3	82.1	-
	女性:50歳代	53	-	3.8	94.3	1.9
女性:60歳代	72	-	22.2	77.8	-	
女性:70歳代以上	33	6.1	9.1	84.8	-	
小学校区別	太宰府小学校区	63	-	14.3	85.7	-
	太宰府東小学校区	60	3.3	13.3	83.3	-
	太宰府南小学校区	36	2.8	11.1	86.1	-
	水城小学校区	98	2.0	9.2	88.8	-
	水城西小学校区	75	-	10.7	88.0	1.3
	太宰府西小学校区	77	-	23.4	76.6	-
	国分小学校区	83	1.2	13.3	84.3	1.2
	わからない	46	-	8.7	87.0	4.3
無回答	4	-	-	100.0	-	

(2) 不当請求や不適正な取引行為の具体的な被害 (問 25 付問 1)

●「点検商法、訪問販売」の被害や不安が最も高い。

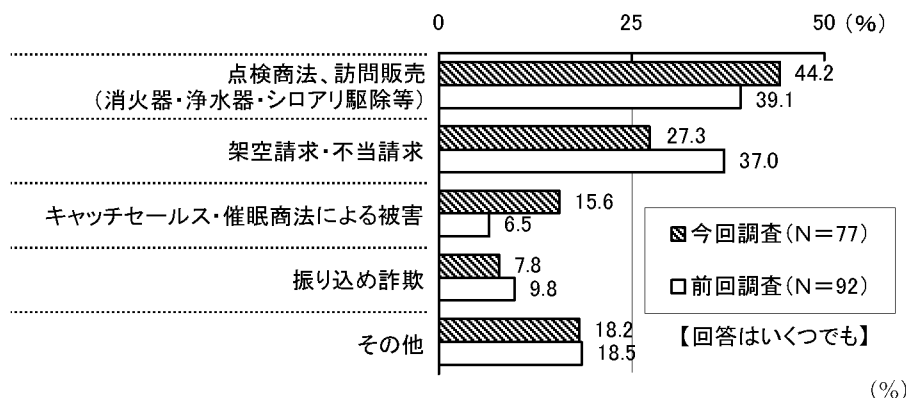
実際に被害を受けた、もしくは不安を感じた人 (77 人) のその内容は「点検商法、訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」が 44.2%で最も多い。次いで「架空請求・不当請求」が 27.3%、「キャッチセールス・催眠商法による被害」が 15.6%となっている。

前回調査に比べると、「架空請求・不当請求」は 9.7 ポイント減少しているが、「点検商法、訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」や「キャッチセールス・催眠商法による被害」「キャッチセールス・催眠商法による被害」は 5～9 ポイント増加している。

性別によると男性は「キャッチセールス・催眠商法による被害」の被害が女性よりも 9.2 ポイント多い。

年代別にみると、「点検商法、訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」は年齢が高い層で多い。「架空請求・不当請求」は 30 歳代と 60 歳代で多く、「キャッチセールス・催眠商法による被害」は 50 歳代以下、「振り込め詐欺」は 70 歳以上で多い。

問 25 付問 1【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



	標本数	被害や不安の種類 (%)						無回答
		架空請求・不当請求	シロアリ駆除等 (点検商法・訪問販売)	催眠商法による被害 (キャッチセールス)	振り込め詐欺	その他		
全体	77	21	34	12	6	14	2	
性別	100.0	27.3	44.2	15.6	7.8	18.2	2.6	
男性	28	25.0	42.9	21.4	7.1	21.4	3.6	
女性	49	28.6	44.9	12.2	8.2	16.3	2.0	
年代別								
20歳代	8	25.0	12.5	25.0	12.5	37.5	-	
30歳代	14	42.9	21.4	28.6	7.1	14.3	7.1	
40歳代	16	25.0	50.0	12.5	-	25.0	-	
50歳代	8	12.5	62.5	37.5	-	-	12.5	
60歳代	21	33.3	47.6	4.8	9.5	19.0	-	
70歳以上	10	10.0	70.0	-	20.0	10.0	-	
小学校区別								
太宰府小学校区	9	55.6	22.2	11.1	-	11.1	-	
太宰府東小学校区	10	30.0	40.0	20.0	20.0	-	10.0	
太宰府南小学校区	5	20.0	80.0	-	-	-	-	
水城小学校区	11	27.3	36.4	27.3	-	18.2	-	
水城西小学校区	8	-	25.0	12.5	-	50.0	12.5	
太宰府西小学校区	18	38.9	44.4	16.7	16.7	16.7	-	
国分小学校区	12	8.3	75.0	-	-	16.7	-	
わからない	4	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	-	

10. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験と内容 (問 26)

●人権を侵害されたことが「ある」人はわずかであるが、経験がある人の中では「性別（男女）に関する人権」の侵害が最も多い。

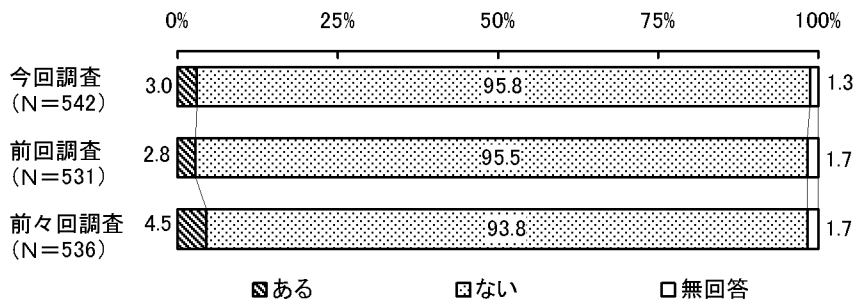
この1年間に人権を侵害されたことが「ある」が3.0%、「ない」が95.8%であり、大半が経験したことがないと回答している。

経年比較でみると、前々回調査から1.5ポイント減少しているが、前回調査に比べるとほぼ同率となっている。

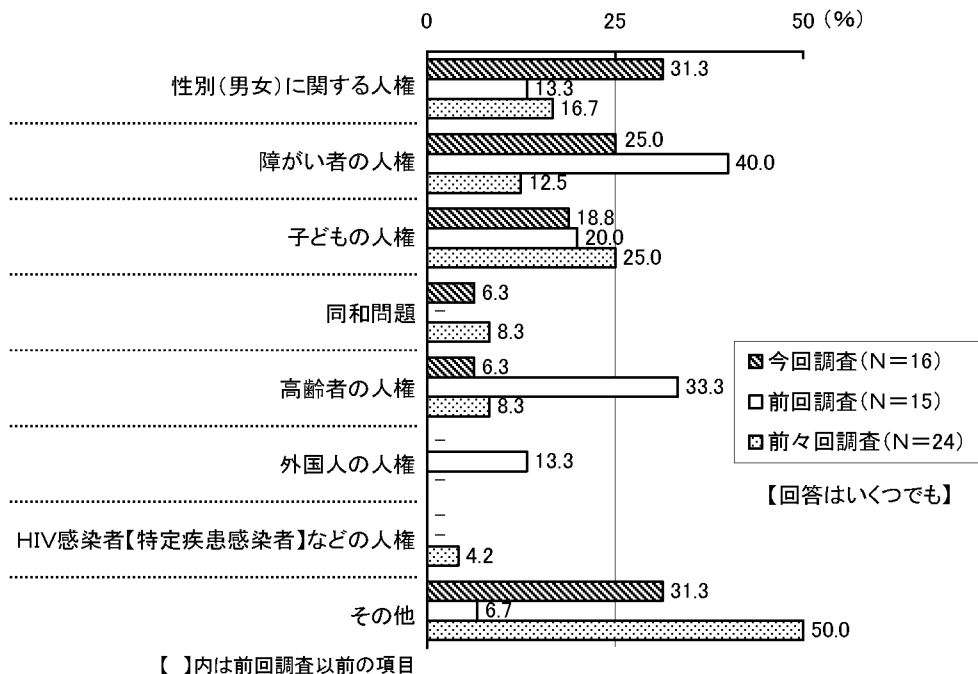
人権を侵害されたことが「ある」と回答した人(16人)の内容をみると、「性別(男女)に関する人権」が31.3%で最も多く、次いで「障がい者の人権」(25.0%)、「子どもの人権」(18.8%)となっている。

経年比較でみると、「性別(男女)に関する人権」は過去2回の調査と比べて最も高くなっている。

問 26. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問 26 付問 1 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



(2) 人権問題への認識 (問 27)

●人権が『尊重されている派』は 76.2%、『尊重されていない派』は 12.1%。前回調査より、人権は尊重されていないと思う人が 3.7 ポイント増加。

同和問題をはじめとするあらゆる人権が「尊重されている」と思う人は 12.7%で、「どちらかといえば尊重されている」(63.5%) を合わせた『尊重されている派』は 76.2%である。一方、「尊重されていない」(2.0%)と「どちらかといえば尊重されていない」(10.1%)を合わせた『尊重されていない派』は 12.1%となっている。

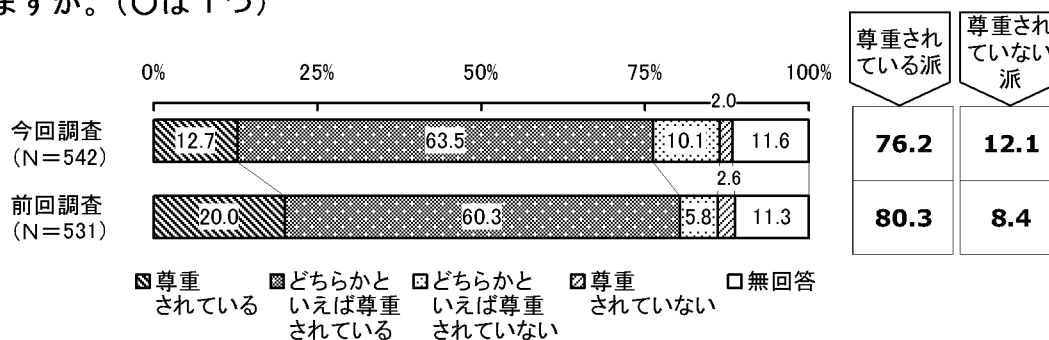
前回調査と比較すると、「どちらかといえば尊重されている」は 3.2 ポイント増加しているが、「尊重されている」は 7.3 ポイント減少し、『尊重されている派』は 4.1 ポイント減少している。

性別にみると、『尊重されている派』は男性 (81.0%) の方が女性 (72.7%) よりも 8.3 ポイントも多い。

年代別にみると、『尊重されていない派』は年代が低い層で高い傾向にある。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区、水城西小学校区で『尊重されている派』が約 8 割と高い。

問 27. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	る尊重されている	てえどいばちらん尊重されている	てえどいばちらん尊重されていない	な尊重されていない	無回答	る尊重されている派	な尊重されていない派
全体		542	69	344	55	11	63	413	66
		100.0	12.7	63.5	10.1	2.0	11.6	76.2	12.1
性別	男性	227	17.6	63.4	9.3	2.2	7.5	81.0	11.5
	女性	315	9.2	63.5	10.8	1.9	14.6	72.7	12.7
年代別	20歳代	51	5.9	68.6	17.6	3.9	3.9	74.5	21.5
	30歳代	105	11.4	68.6	10.5	1.9	7.6	80.0	12.4
	40歳代	88	12.5	67.0	10.2	-	10.2	79.5	10.2
	50歳代	89	14.6	56.2	11.2	5.6	12.4	70.8	16.8
	60歳代	130	12.3	62.3	8.5	0.8	16.2	74.6	9.3
	70歳以上	78	16.7	60.3	6.4	1.3	15.4	77.0	7.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	15.9	61.9	9.5	-	12.7	77.8	9.5
	太宰府東小学校区	60	11.7	63.3	13.3	3.3	8.3	75.0	16.6
	太宰府南小学校区	36	5.6	75.0	2.8	-	16.7	80.6	2.8
	水城西小学校区	98	16.3	60.2	9.2	2.0	12.2	76.5	11.2
	水城西小学校区	75	8.0	72.0	5.3	-	14.7	80.0	5.3
	太宰府西小学校区	77	18.2	62.3	6.5	3.9	9.1	80.5	10.4
	国分小学校区	83	8.4	62.7	15.7	3.6	9.6	71.1	19.3
	わからない	46	15.2	52.2	19.6	-	13.0	67.4	19.6
無回答	4	-	75.0	-	25.0	-	75.0	25.0	

(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 28)

●同和地区の差別の原因が「わからない」「同和地区自体のことを知らない」を合わせると36.2%で、「わからない」は増加傾向。

同和地区に対する差別の原因としてどれが正しいと思うか選んでもらったところ、「中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた」が39.1%で最も多かったが、次いで「わからない」が26.6%であげられている。「同和地区自体のことを知らない」は9.6%である。

経年比較でみると「中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた」は減少傾向にあり、反対に「わからない」は増加傾向となっている。

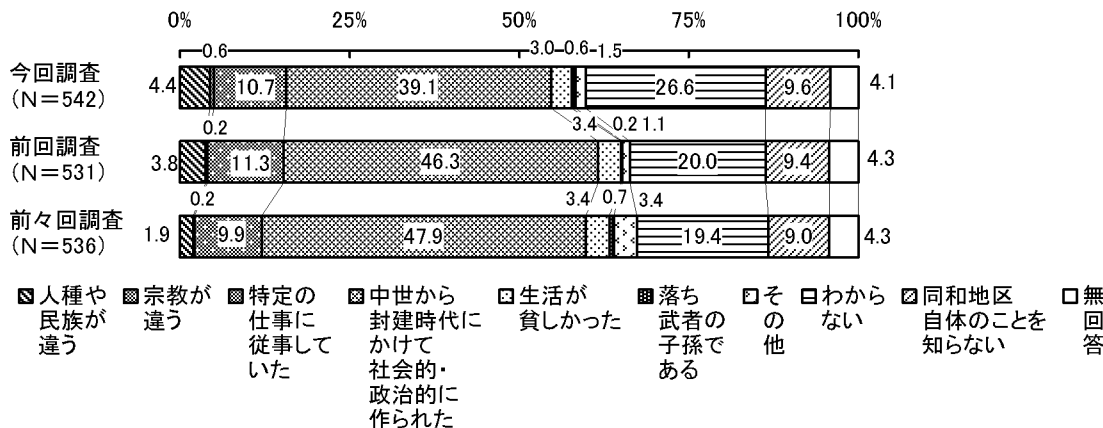
性別にみると「わからない」は女性が28.9%と男性(23.3%)よりも5.6ポイント多い。

年代別にみると、「わからない」は20歳代で35.3%と高く、年齢が低い層で割合が高い。

年齢が高い層では「同和地区自体のことを知らない」がやや多い。

小学校区別にみると、国分小学校では「わからない」や「同和地区自体のことを知らない」の割合が高い。

問 28. あなたは「同和地区」(被差別部落)と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思いますか。(○は1つ)



	標本数	違人種や民族が	宗教が違う	特定の仕事に従事していた	中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた	生活がかたが貧しかった	落ち武者の子孫である	その他	わからない	同和地区自体のことを知らない	無回答
全体	542	24	3	58	212	16	3	8	144	52	22
性別											
男性	227	6.2	-	12.8	41.0	1.8	0.4	0.9	23.3	8.4	5.3
女性	315	3.2	1.0	9.2	37.8	3.8	0.6	1.9	28.9	10.5	3.2
年代別											
20歳代	51	2.0	-	19.6	29.4	9.8	-	2.0	35.3	2.0	-
30歳代	105	4.8	-	7.6	40.0	4.8	1.0	1.0	31.4	3.8	5.7
40歳代	88	3.4	-	9.1	39.8	3.4	-	4.5	27.3	10.2	2.3
50歳代	89	9.0	1.1	13.5	34.8	1.1	-	-	25.8	13.5	1.1
60歳代	130	2.3	0.8	11.5	43.8	1.5	1.5	0.8	20.8	10.0	6.9
70歳以上	78	5.1	1.3	5.1	41.0	-	-	1.3	24.4	16.7	5.1
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別											
太宰府小学校区	63	3.2	3.2	9.5	41.3	1.6	-	1.6	25.4	6.3	7.9
太宰府東小学校区	60	1.7	-	18.3	36.7	1.7	-	3.3	25.0	10.0	3.3
太宰府南小学校区	36	2.8	-	5.6	50.0	2.8	-	-	16.7	16.7	5.6
水城小学校区	98	6.1	-	7.1	43.9	6.1	1.0	-	25.5	7.1	3.1
水城西小学校区	75	2.7	-	13.3	42.7	2.7	1.3	1.3	26.7	5.3	4.0
太宰府西小学校区	77	7.8	1.3	10.4	37.7	2.6	-	1.3	26.0	7.8	5.2
国分小学校区	83	2.4	-	12.0	34.9	2.4	-	2.4	30.1	14.5	1.2
わからない	46	6.5	-	8.7	26.1	2.2	-	2.2	34.8	15.2	4.3
無回答	4	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-

(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 29)

●結婚を決めるときの家柄や血筋を問題にすることについて「不合理だから、なくしていかねばならないと思う」が66.2%。

結婚を決めるときに家柄や血筋を問題にする風習について「不合理だから、なくしていかねばならないと思う」が66.2%で最も多い。「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は20.3%、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は8.1%となっている。

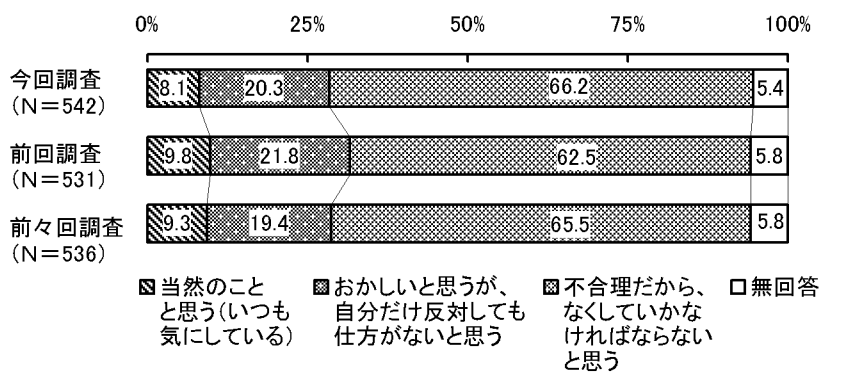
経年比較でみると、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は過去2回の調査と比べ最も低いが、あまり大きな差はみられない。

性別でみると、「不合理だから、なくしていかねばならないと思う」は男性(68.7%)の方が女性(64.4%)よりもやや高い。

年代別にみると、70歳以上では「不合理だから、なくしていかねばならないと思う」が56.4%と最も低くなっている。

小学校区別でみると、太宰府東小学校区と国分小学校区では「不合理だから、なくしていかねばならないと思う」が7割を超えて高い。

問 29. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	てつと いも思 る気う のこ しいと	思仕 う方 が対 な し い て 分 と も だ 思	うな いら ら か な な い け く だ し か 思 ば て	不 合 理 だ か ら 、 な く し て い か ね ば な ら な い と 思 う	無 回 答
全体		542	44	110	359	29	
性別	男性	227	7.9	19.8	68.7	3.5	
	女性	315	8.3	20.6	64.4	6.7	
年代別	20歳代	51	7.8	11.8	76.5	3.9	
	30歳代	105	5.7	28.6	63.8	1.9	
	40歳代	88	3.4	17.0	75.0	4.5	
	50歳代	89	11.2	21.3	65.2	2.2	
	60歳代	130	8.5	19.2	65.4	6.9	
	70歳以上	78	12.8	17.9	56.4	12.8	
	無回答	1	-	100.0	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	63	11.1	17.5	63.5	7.9	
	太宰府東小学校区	60	10.0	15.0	73.3	1.7	
	太宰府南小学校区	36	11.1	13.9	69.4	5.6	
	水城小学校区	98	8.2	22.4	66.3	3.1	
	水城西小学校区	75	6.7	25.3	61.3	6.7	
	太宰府西小学校区	77	9.1	23.4	58.4	9.1	
	国分小学校区	83	3.6	19.3	73.5	3.6	
	わからない	46	8.7	21.7	65.2	4.3	
無回答	4	-	-	75.0	25.0		

11. 男女共同参画の推進

(1) 固定的性別役割分担意識 (問 30)

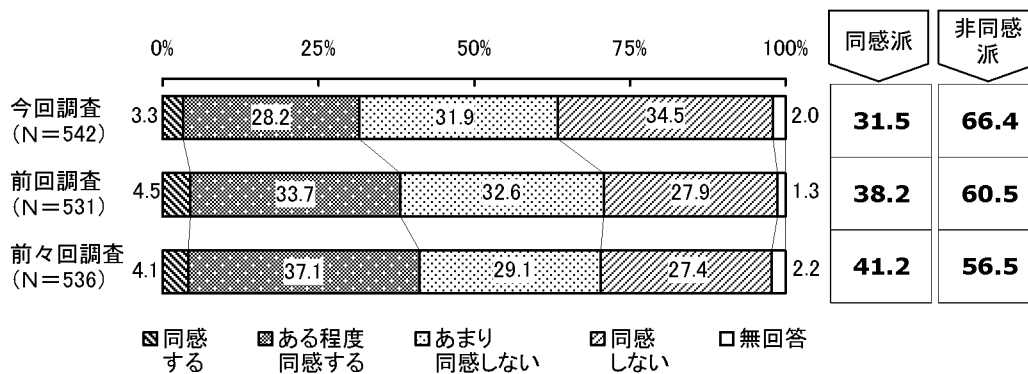
●固定的性別役割分担に『同感派』は31.5%、『非同感派』は66.4%。『非同感派』は増加傾向。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に「同感する」は3.3%、「ある程度同感する」は28.2%でこれらを合わせた『同感派』は31.5%である。一方、「同感しない」(34.5%)と「あまり同感しない」(31.9%)を合わせた『非同感派』は66.4%である。経年比較でみると『非同感派』は増加傾向にある。

性別・年代別でみると『非同感派』は男性40歳代の84.4%をピークにその前後は割合が減少し、20歳代では61.1%、70歳以上では55.5%となっている。女性の場合、『非同感派』は年齢が低い層で高い傾向にあるが、30歳代では67.1%と20歳代(87.9%)や40歳代(71.5%)と比べると低くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区で『非同感派』が73.4%と最も高い。

問 30. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	同感する程度	あまり同意しない	同意しない	無回答	同意派 (%)	非同感派 (%)
全体		542	18	153	173	187	11	171	360
		100.0	3.3	28.2	31.9	34.5	2.0	31.5	66.4
性別	男性	227	2.6	30.0	31.7	34.4	1.3	32.6	66.1
	女性	315	3.8	27.0	32.1	34.6	2.5	30.8	66.7
性別×年代別	男性:20歳代	18	5.6	33.3	16.7	44.4	-	38.9	61.1
	男性:30歳代	38	-	26.3	39.5	31.6	2.6	26.3	71.1
	男性:40歳代	32	-	15.6	43.8	40.6	-	15.6	84.4
	男性:50歳代	36	5.6	16.7	36.1	38.9	2.8	22.3	75.0
	男性:60歳代	58	3.4	39.7	29.3	27.6	-	43.1	56.9
	男性:70歳以上	45	2.2	40.0	22.2	33.3	2.2	42.2	55.5
	女性:20歳代	33	3.0	9.1	39.4	48.5	-	12.1	87.9
	女性:30歳代	67	1.5	28.4	31.3	35.8	3.0	29.9	67.1
	女性:40歳代	56	-	28.6	42.9	28.6	-	28.6	71.5
	女性:50歳代	53	3.8	20.8	32.1	43.4	-	24.6	75.5
女性:60歳代	72	6.9	30.6	27.8	30.6	4.2	37.5	58.4	
女性:70歳以上	33	6.1	42.4	18.2	24.2	9.1	48.5	42.4	
小学校区別	太宰府小学校区	63	6.3	23.8	28.6	36.5	4.8	30.1	65.1
	太宰府東小学校区	60	5.0	26.7	36.7	30.0	1.7	31.7	66.7
	太宰府南小学校区	36	2.8	38.9	19.4	36.1	2.8	41.7	55.5
	水城小学校区	98	2.0	22.4	36.7	36.7	2.0	24.4	73.4
	水城西小学校区	75	-	33.3	32.0	33.3	1.3	33.3	65.3
	太宰府西小学校区	77	3.9	33.8	29.9	29.9	2.6	37.7	59.8
	国分小学校区	83	3.6	31.3	32.5	31.3	1.2	34.9	63.8
	わからない	46	4.3	17.4	34.8	43.5	-	21.7	78.3
	無回答	4	-	25.0	-	75.0	-	25.0	75.0

(2) 男女間の地位の平等感 (問 31)

●男女の地位の平等感は「平等である」が34.1%で、『男性優位』が約5割を占める。

普段の生活の中での男女間の地位の平等について「平等である」は34.1%で、「女性の方が優位である」(0.6%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(8.7%)を合わせた『女性優位』は9.3%、「男性の方が優位である」(10.5%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(38.4%)を合わせた『男性優位』は48.9%にのぼる。

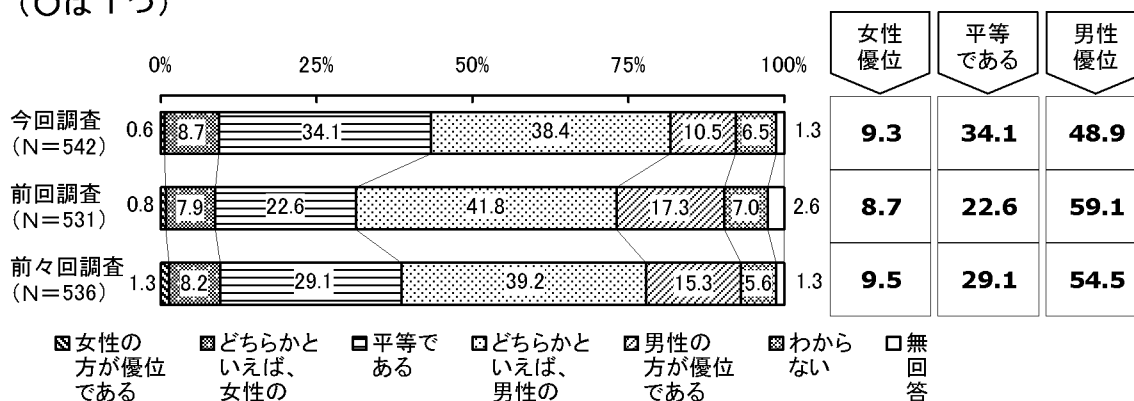
経年比較でみると、『男性優位』は前回調査より10.2ポイント減少し、「平等である」は過去2回の調査と比べ最も高くなっている。

性別・年代別にみると、男性の20歳代と60歳以上では「平等である」の割合が他の年代に比べて高くなっているが、その他の年代では『男性優位』の方が高くなっている。女性はいずれの年代も『男性優位』の割合が最も高い。また、男性の20歳代と40歳代では『女性優位』が2割を超え、高めとなっている。

小学校区別では、太宰府東小学校区で『男性優位』が5割を超えている。

問 31. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思いますか。

(○は1つ)



		標本数	女性優位 である が	どちらか といえば、 女性 の方が優位 である が	平等 である が	どちらか といえば、 男性 の方が優位 である が	男性の 方が優位 である が	わから ない	無 回答	女性 優位	男性 優位
全体		542 100.0	3 0.6	47 8.7	185 34.1	208 38.4	57 10.5	35 6.5	7 1.3	50 9.3	265 48.9
性別 × 年代別	男性:20歳代	18	-	22.2	50.0	16.7	-	11.1	-	22.2	16.7
	男性:30歳代	38	-	13.2	36.8	36.8	10.5	-	2.6	13.2	47.3
	男性:40歳代	32	3.1	21.9	31.3	28.1	6.3	9.4	-	25.0	34.4
	男性:50歳代	36	-	8.3	38.9	41.7	5.6	2.8	2.8	8.3	47.3
	男性:60歳代	58	-	12.1	48.3	27.6	10.3	1.7	-	12.1	37.9
	男性:70歳以上	45	2.2	6.7	62.2	22.2	2.2	2.2	2.2	8.9	24.4
	女性:20歳代	33	-	6.1	36.4	36.4	12.1	9.1	-	6.1	48.5
	女性:30歳代	67	1.5	6.0	25.4	44.8	9.0	11.9	1.5	7.5	53.8
	女性:40歳代	56	-	5.4	17.9	48.2	21.4	7.1	-	5.4	69.6
	女性:50歳代	53	-	5.7	28.3	37.7	13.2	15.1	-	5.7	50.9
女性:60歳代	72	-	4.2	23.6	52.8	12.5	4.2	2.8	4.2	65.3	
女性:70歳以上	33	-	9.1	30.3	42.4	12.1	3.0	3.0	9.1	54.5	
小学 校区 別	太宰府小学校区	63	-	6.3	38.1	36.5	9.5	6.3	3.2	6.3	46.0
	太宰府東小学校区	60	-	10.0	31.7	45.0	8.3	3.3	1.7	10.0	53.3
	太宰府南小学校区	36	-	11.1	38.9	36.1	5.6	5.6	2.8	11.1	41.7
	水城小学校区	98	1.0	6.1	34.7	35.7	12.2	10.2	-	7.1	47.9
	水城西小学校区	75	2.7	5.3	36.0	34.7	10.7	9.3	1.3	8.0	45.4
	太宰府西小学校区	77	-	14.3	29.9	40.3	9.1	5.2	1.3	14.3	49.4
	国分小学校区	83	-	8.4	38.6	36.1	13.3	2.4	1.2	8.4	49.4
	わからない 無回答	46 4	- -	10.9 -	19.6 75.0	50.0 -	10.9 25.0	8.7 -	- -	10.9 -	60.9 25.0

12. 生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の取り組み状況（問32）

●生涯学習の『週1回以上の実施率』は15.1%。

生涯学習活動の取り組みについて「ほとんど取り組んでいない」が64.0%で最も多い。「ほぼ毎日取り組んでいる」(8.1%)や「週に1回程度取り組んでいる」(7.0%)を合わせた『週1回以上の実施率』は15.1%である。

経年比較でみると、『週1回以上の実施率』は減少傾向にあり、「ほとんど取り組んでいない」が前回調査と同程度となっている。

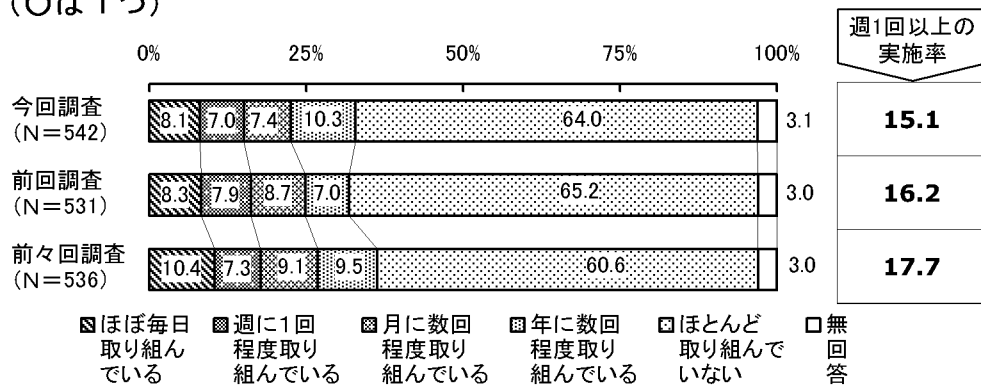
性別でみると、女性の方が「ほとんど取り組んでいない」が66.3%と男性(60.8%)よりも5.5ポイント高い。

年代別にみると『週1回以上の実施率』は年齢が高い層で高く、「ほとんど取り組んでいない」は年齢が低い層で高くなっている。

小学校区別でみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区では『週1回以上の実施率』が2割を超えて高い。

問32. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



		標 本 数	組 ほ ぼ 毎 日 取 り 組 んで い る	取 週 に 組 1 回 程 度 取 り 組 んで い る	取 月 に 組 数 回 程 度 取 り 組 んで い る	取 年 に 組 数 回 程 度 取 り 組 んで い る	組 ほ と ん ど 取 り 組 んで い ない	無 回 答	実 週 1 回 以 上 の 実 施 率 (%)
全体		542 100.0	44 8.1	38 7.0	40 7.4	56 10.3	347 64.0	17 3.1	82 15.1
性別	男性	227	11.9	4.4	9.7	10.1	60.8	3.1	16.3
	女性	315	5.4	8.9	5.7	10.5	66.3	3.2	14.3
年代別	20歳代	51	2.0	7.8	5.9	7.8	76.5	-	9.8
	30歳代	105	6.7	3.8	3.8	8.6	75.2	1.9	10.5
	40歳代	88	6.8	4.5	8.0	18.2	62.5	-	11.3
	50歳代	89	11.2	7.9	5.6	7.9	64.0	3.4	19.1
	60歳代	130	7.7	10.0	10.8	11.5	56.9	3.1	17.7
	70歳以上	78	12.8	6.4	9.0	6.4	55.1	10.3	19.2
無回答		1	-	100.0	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	4.8	6.3	7.9	9.5	65.1	6.3	11.1
	太宰府東小学校区	60	6.7	6.7	5.0	10.0	70.0	1.7	13.4
	太宰府南小学校区	36	8.3	13.9	5.6	2.8	66.7	2.8	22.2
	水城小学校区	98	6.1	9.2	11.2	13.3	57.1	3.1	15.3
	水城西小学校区	75	8.0	5.3	6.7	14.7	62.7	2.7	13.3
	太宰府西小学校区	77	13.0	9.1	5.2	10.4	59.7	2.6	22.1
	国分小学校区	83	12.0	4.8	9.6	7.2	63.9	2.4	16.8
	わからない	46	2.2	2.2	4.3	10.9	76.1	4.3	4.4
	無回答	4	25.0	-	-	-	75.0	-	25.0

(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 33)

●運動・スポーツの『週1回以上』の実施率は37.4%、60歳代以上で4割以上と高い。

運動・スポーツを行う頻度について「ほとんど行っていない」が41.9%で最も高い。次いで「ほぼ毎日行っている」が13.1%、「週に2回程度行っている」が12.7%で、『週に1回以上』の実施率は37.4%となっている。

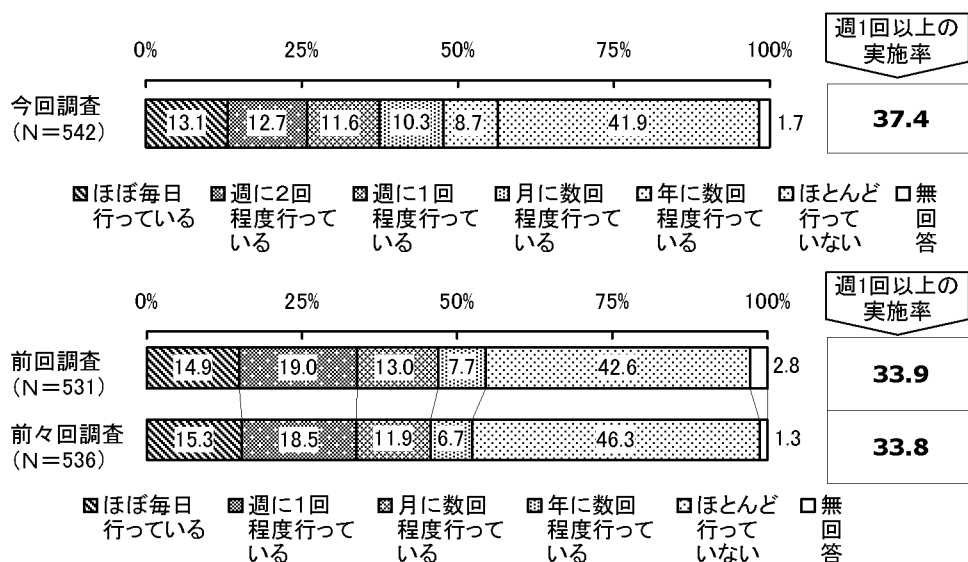
経年比較でみると、「ほとんど行っていない」は減少傾向にあり、『週に1回以上』は増加してきている。

性別でみると、女性は「ほとんど行っていない」が50.5%と男性(30.0%)を20.5ポイントも上回っている。男性は『週に1回以上』が46.7%となっている。

年代別みると、『週に1回以上』は60歳代で56.9%と年齢が高い層で高くなる傾向にある。「ほとんど行っていない」は50歳以下では4割台の後半から5割と高い。

小学校区別にみると、水城西小学校区と水城小学校区では「ほとんど行っていない」が5割近くと高い。

問 33. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に2回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	週1回以上の実施率
全体		542	13.1	12.7	11.6	10.3	8.7	41.9	1.7	37.4
性別	男性	227	18.5	12.8	15.4	12.3	8.8	30.0	2.2	46.7
	女性	315	9.2	12.7	8.9	8.9	8.6	50.5	1.3	30.8
年代別	20歳代	51	5.9	5.9	11.8	9.8	19.6	47.1	-	23.6
	30歳代	105	1.9	9.5	15.2	11.4	13.3	46.7	1.9	26.6
	40歳代	88	4.5	11.4	11.4	9.1	11.4	52.3	-	27.3
	50歳代	89	12.4	10.1	11.2	9.0	6.7	49.4	1.1	33.7
	60歳代	130	26.2	19.2	11.5	10.0	3.8	28.5	0.8	56.9
	70歳以上	78	21.8	15.4	6.4	12.8	2.6	34.6	6.4	43.6
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	23.8	6.3	7.9	7.9	11.1	39.7	3.2	38.0
	太宰府東小学校区	60	10.0	23.3	10.0	18.3	3.3	33.3	1.7	43.3
	太宰府南小学校区	36	16.7	19.4	8.3	13.9	-	41.7	-	44.4
	水城小学校区	98	5.1	9.2	16.3	9.2	8.2	49.0	3.1	30.6
	水城西小学校区	75	10.7	5.3	14.7	6.7	10.7	49.3	2.7	30.7
	太宰府西小学校区	77	16.9	19.5	9.1	11.7	7.8	33.8	1.3	45.5
	国分小学校区	83	12.0	13.3	15.7	8.4	12.0	38.6	-	41.0
	わからない	46	15.2	8.7	4.3	10.9	13.0	47.8	-	28.2
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	50.0

13. 文化芸術の振興（問 34）

●文化芸術活動について「年に数回程度」の実施が主である。

日頃から文化芸術活動をしているかどうかたずねたところ、「ほとんど行っていない」が48.2%で最も高い。実施程度としては「年に数回程度行っている」(33.8%)が主であるが、「ほぼ毎日行っている」「週に1回程度行っている」と「月に数回程度行っている」を合わせた『月1回以上の実施率』は16.4%となっている。

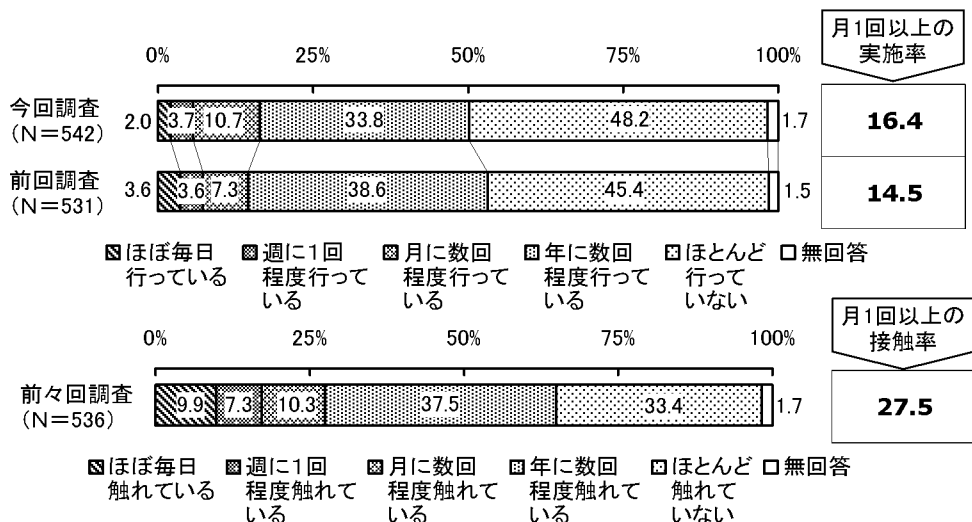
経年比較でみると「ほとんど行っていない」は増加してきており、『月に1回以上の実施率』は前回調査から増加傾向となっている。

性別にみると、男性は「ほとんど行っていない」が52.4%と女性(45.1%)を7.3ポイント上回っており、女性の方が文化芸術活動を行っている割合が高い。

年代別にみると、60歳以上で『月に1回以上の実施率』が23.2%と他の年代に比べて高いのが目立つ。50歳代以下では「ほとんど行っていない」が5割を超えている。

小学校区別にみると、水城小学校区では『月に1回以上の実施率』が25.0%と高い。

問 34. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上月の1回以上
全体		542	11	20	58	183	261	9	89
性別	男性	227	2.2	2.6	10.6	30.8	52.4	1.3	15.4
	女性	315	1.9	4.4	10.8	35.9	45.1	1.9	17.1
年代別	20歳代	51	3.9	3.9	9.8	25.5	56.9	-	17.6
	30歳代	105	1.9	1.9	7.6	29.5	58.1	1.0	11.4
	40歳代	88	1.1	3.4	8.0	37.5	50.0	-	12.5
	50歳代	89	2.2	3.4	7.9	29.2	57.3	-	13.5
	60歳代	130	0.8	6.2	16.2	41.5	33.1	2.3	23.2
	70歳以上	78	3.8	2.6	11.5	33.3	42.3	6.4	17.9
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	1.6	3.2	12.7	33.3	47.6	1.6	17.5
	太宰府東小学校区	60	1.7	1.7	16.7	40.0	38.3	1.7	20.1
	太宰府南小学校区	36	-	2.8	22.2	30.6	44.4	-	25.0
	水城小学校区	98	7.1	6.1	8.2	34.7	41.8	2.0	21.4
	水城西小学校区	75	1.3	4.0	8.0	29.3	54.7	2.7	13.3
	太宰府西小学校区	77	1.3	3.9	3.9	42.9	44.2	3.9	9.1
	国分小学校区	83	-	4.8	15.7	25.3	54.2	-	20.5
	わからない	46	-	-	4.3	32.6	63.0	-	4.3
無回答	4	-	-	-	50.0	50.0	-	-	

14. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 35)

●約8割の人が自宅周辺の衛生環境を肯定的にとらえている。

自宅周辺の環境が衛生的であるかどうかについて「そう思う」が 26.8%、「ややそう思う」が 51.1%とこれらを合わせた『肯定派』は 77.9%となっている。一方、「そう思わない」(4.6%)と「あまりそう思わない」(17.0%)を合わせた『否定派』は 21.6%である。

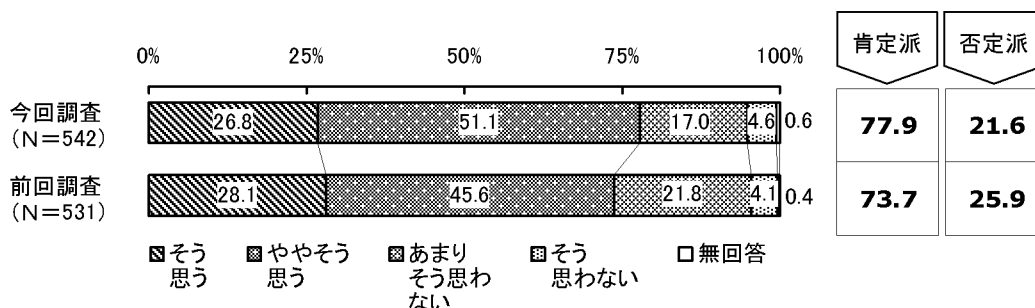
前回調査と比較すると、『肯定派』が 4.2 ポイント増加しており、生活環境は衛生的だと実感されてきているようだ。

性別でみると、男女ともに同様の結果となっている。

年代別にみると、20歳代で『肯定派』が 66.7%と最も低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では『肯定派』が 91.6%と最も高い。一方、太宰府小学校区では『否定派』が 30.2%と最も高くなっている。

問 35. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		542	145	277	92	25	3	77.9	21.6
性別	男性	227	28.2	49.8	19.4	2.6	-	78.0	22.0
	女性	315	25.7	52.1	15.2	6.0	1.0	77.8	21.2
年代別	20歳代	51	21.6	45.1	23.5	9.8	-	66.7	33.3
	30歳代	105	25.7	54.3	15.2	3.8	1.0	80.0	19.0
	40歳代	88	18.2	54.5	22.7	4.5	-	72.7	27.2
	50歳代	89	28.1	51.7	16.9	3.4	-	79.8	20.3
	60歳代	130	29.2	50.8	15.4	3.8	0.8	80.0	19.2
	70歳以上	78	34.6	47.4	11.5	5.1	1.3	82.0	16.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	25.4	42.9	25.4	4.8	1.6	68.3	30.2
	太宰府東小学校区	60	28.3	45.0	20.0	6.7	-	73.3	26.7
	太宰府南小学校区	36	58.3	33.3	5.6	-	2.8	91.6	5.6
	水城小学校区	98	29.6	52.0	11.2	7.1	-	81.6	18.3
	水城西小学校区	75	21.3	54.7	16.0	6.7	1.3	76.0	22.7
	太宰府西小学校区	77	27.3	57.1	15.6	-	-	84.4	15.6
	国分小学校区	83	19.3	57.8	18.1	4.8	-	77.1	22.9
	わからない	46	19.6	52.2	23.9	4.3	-	71.8	28.2
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(2) 環境マナーの順守 (問 36)

●地域の環境マナーは『守られている』と思う人は約7割。

地域での環境マナーについて「かなり守られている」が 12.4%、「ある程度守られている」が 56.1%とこれらを合わせた『守られている』と思っている人は 68.5%となっている。一方、「ほとんど守られていない」は 6.1%で「あまり守られていない」(25.3%)を合わせた『守られていない』と思っている人は 31.4%となっている。

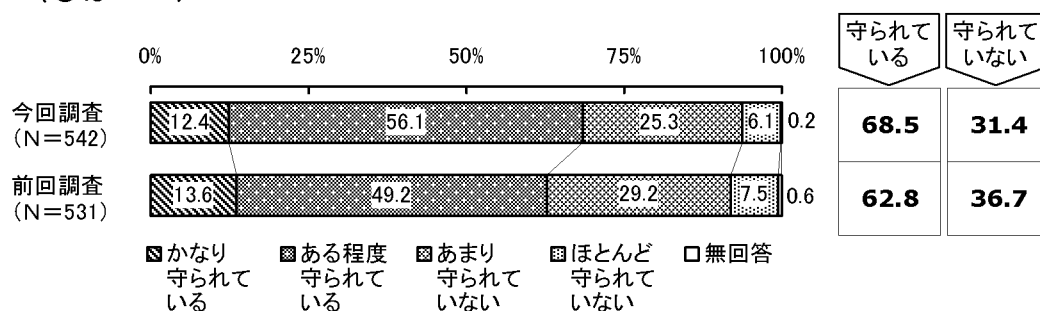
前回調査と比較すると、『守られている』と思っている人は 5.7 ポイント増加しており、生活環境と同様に、環境マナーもよくなっていると実感されているようだ。

性別にみると、男女による差はあまりみられない。

年代別にみると、30 歳代と 50 歳代で環境マナーが『守られている』と思う人が 7 割以上と多いが、その他の年代では『守られていない』が 3 割から 4 割近くで評価は厳しい。

小学校区別にみると、生活環境と同様に太宰府南小学校区で『守られている』が 80.6%と最も高い。一方、太宰府東小学校区では『守られていない』が 48.3%と最も高くなっている。

問 36. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	かなり守られている (%)	ある程度守られている (%)	あまり守られていない (%)	ほとんど守られていない (%)	無回答 (%)	守られている (%)	守られていない (%)
全体		542	12.4	56.1	25.3	6.1	0.2	68.5	31.4
性別	男性	227	13.2	55.5	25.1	6.2	-	68.7	31.3
	女性	315	11.7	56.5	25.4	6.0	0.3	68.2	31.4
年代別	20歳代	51	7.8	58.8	27.5	5.9	-	66.6	33.4
	30歳代	105	5.7	75.2	10.5	7.6	1.0	80.9	18.1
	40歳代	88	10.2	53.4	29.5	6.8	-	63.6	36.3
	50歳代	89	20.2	53.9	22.5	3.4	-	74.1	25.9
	60歳代	130	9.2	53.1	30.0	7.7	-	62.3	37.7
	70歳以上	78	23.1	38.5	34.6	3.8	-	61.6	38.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	12.7	55.6	23.8	7.9	-	68.3	31.7
	太宰府東小学校区	60	10.0	41.7	38.3	10.0	-	51.7	48.3
	太宰府南小学校区	36	25.0	55.6	16.7	-	2.8	80.6	16.7
	水城小学校区	98	14.3	54.1	25.5	6.1	-	68.4	31.6
	水城西小学校区	75	5.3	70.7	16.0	8.0	-	76.0	24.0
	太宰府西小学校区	77	20.8	50.6	24.7	3.9	-	71.4	28.6
	国分小学校区	83	8.4	54.2	31.3	6.0	-	62.6	37.3
	わからない	46	6.5	67.4	21.7	4.3	-	73.9	26.0
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(3) 美化活動への参加状況 (問 37)

●地域の清掃活動に「いつも参加している」は約5割。年齢が上がるほど参加が多い。

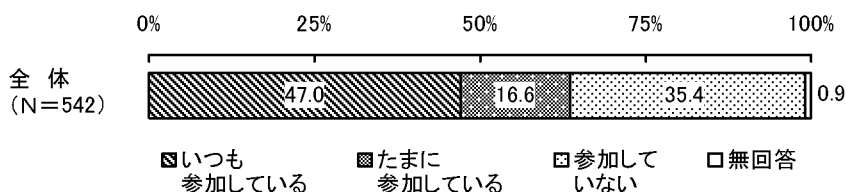
地域一斉の清掃活動への参加について「いつも参加している」が47.0%で最も高い。次いで「参加していない」が35.4%、「たまに参加している」が16.6%となっている。

性別で見ると、男女ともに同様の傾向を示している。

年代別みると、「いつも参加している」は70歳以上では70.5%と年齢が上がるほど高くなっている。反対に「参加していない」は20歳代で76.5%と年齢が低い層で高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校と太宰府東小学校では「いつも参加している」が6割台と高い。水城小学校区と水城西小学校区では「参加していない」が約4割と他の小学校区に比べて高くなっている。

問 37. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	いつも参加している (%)	たまに参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		542	47.0	16.6	35.4	0.9
性別	男性	227	48.0	15.9	35.2	0.9
	女性	315	46.3	17.1	35.6	1.0
年代別	20歳代	51	11.8	11.8	76.5	-
	30歳代	105	22.9	22.9	53.3	1.0
	40歳代	88	44.3	23.9	31.8	-
	50歳代	89	46.1	19.1	34.8	-
	60歳代	130	68.5	11.5	18.5	1.5
	70歳以上	78	70.5	9.0	17.9	2.6
	無回答	1	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	47.6	15.9	36.5	-
	太宰府東小学校区	60	60.0	16.7	23.3	-
	太宰府南小学校区	36	63.9	13.9	19.4	2.8
	水城小学校区	98	42.9	13.3	40.8	3.1
	水城西小学校区	75	40.0	20.0	40.0	-
	太宰府西小学校区	77	50.6	23.4	26.0	-
	国分小学校区	83	55.4	16.9	26.5	1.2
	わからない	46	15.2	8.7	76.1	-
無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	

15. 自然共生社会の構築（問 38）

●約9割の人が太宰府市の自然は豊かであると感じている。

太宰府市の自然は豊かであるかどうかについて「そう思う」は 47.0%で最も多く、「ややそう思う」(42.4%)を合わせた『肯定派』は 89.4%と約9割を占める。「そう思わない」(1.5%)と「あまりそう思わない」(8.5%)を合わせた『否定派』は 10.0%である。

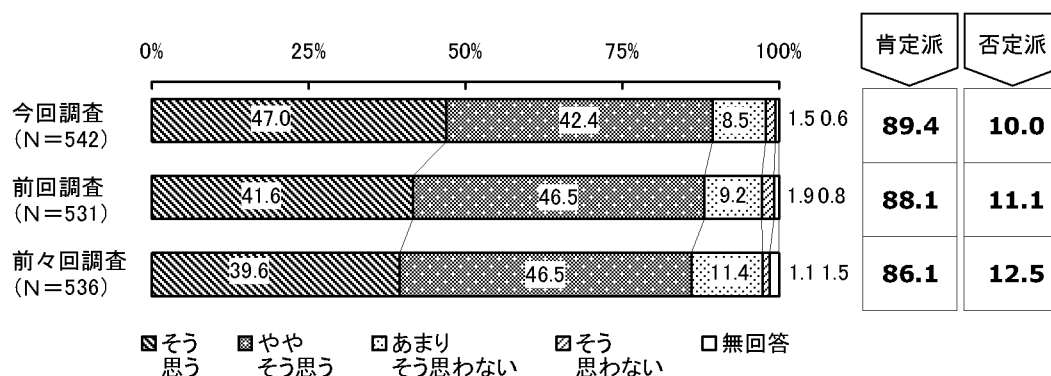
経年比較でみると、『肯定派』は増加傾向にある。

性別でみると、男女ともに同様の傾向を示している。

年代別にみると、30歳代と40歳代では『肯定派』が9割を超えて高い。

小学校区別にみると、水城小学校区では『肯定派』が96.9%と最も高く、反対に、太宰府東小学校区では83.3%と最も低い。

問 38. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	47.0	42.4	8.5	1.5	0.6	89.4	10.0
性別	男性	227	50.2	40.5	7.9	1.3	-	90.7	9.2
	女性	315	44.8	43.8	8.9	1.6	1.0	88.6	10.5
年代別	20歳代	51	31.4	56.9	11.8	-	-	88.3	11.8
	30歳代	105	43.8	47.6	6.7	1.0	1.0	91.4	7.7
	40歳代	88	45.5	48.9	4.5	1.1	-	94.4	5.6
	50歳代	89	52.8	33.7	9.0	3.4	1.1	86.5	12.4
	60歳代	130	51.5	36.2	11.5	-	0.8	87.7	11.5
	70歳以上	78	48.7	39.7	7.7	3.8	-	88.4	11.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	58.7	31.7	6.3	3.2	-	90.4	9.5
	太宰府東小学校区	60	50.0	33.3	13.3	3.3	-	83.3	16.6
	太宰府南小学校区	36	38.9	50.0	5.6	2.8	2.8	88.9	8.4
	水城小学校区	98	60.2	36.7	2.0	-	1.0	96.9	2.0
	水城西小学校区	75	28.0	57.3	10.7	2.7	1.3	85.3	13.4
	太宰府西小学校区	77	41.6	45.5	11.7	1.3	-	87.1	13.0
	国分小学校区	83	48.2	43.4	8.4	-	-	91.6	8.4
	わからない	46	45.7	43.5	10.9	-	-	89.2	10.9
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0

16. 低炭素社会の構築

(1) 省エネルギー・省資源の活動について（問 39）

●省エネルギー・資源活動を行っている人は約9割。

節電や節水、エコバックや簡易包装に日頃から行っているかどうかについて「行っている」は36.2%、「ある程度行っている」が50.9%でこれらを合わせた『実践派』は87.1%と約9割を占めている。「ほとんど行っていない」は3.7%とわずかで「あまり行っていない」(8.9%)を合わせた『非実践派』は12.6%である。

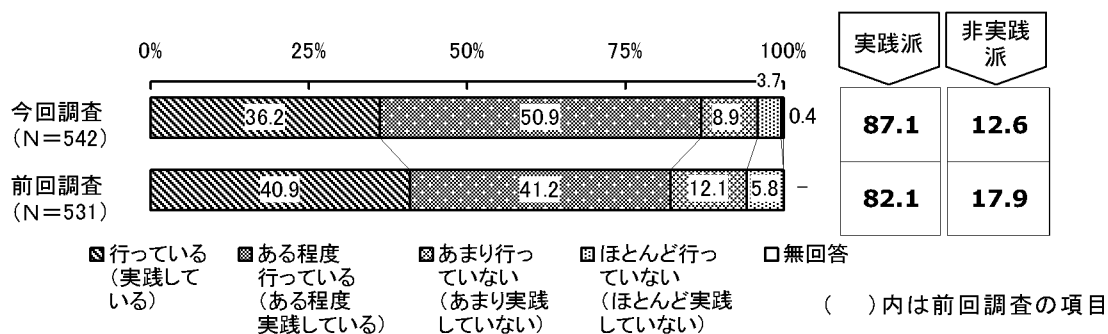
前回調査と比較すると、「行っている」は4.7ポイント減少しているが、『実践派』で見ると5ポイント増加している。

性別で見ると、『実践派』の割合は男女とも変わらないが、「行っている」は女性が39.0%と男性(32.2%)よりも6.8ポイント高い。

年代別で見ると、『実践派』は年齢が上がるほど増えており、70歳以上では94.8%である。

小学校区別で見ると、あまり大きな差はみられない。

問 39. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



		標本数	行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派	非実践派
全体		542	196	276	48	20	2	472	68
性別	男性	227	32.2	55.1	9.7	3.1	-	87.3	12.8
	女性	315	39.0	47.9	8.3	4.1	0.6	86.9	12.4
年代別	20歳代	51	23.5	51.0	13.7	11.8	-	74.5	25.5
	30歳代	105	28.6	50.5	15.2	4.8	1.0	79.1	20.0
	40歳代	88	39.8	47.7	9.1	3.4	-	87.5	12.5
	50歳代	89	36.0	52.8	6.7	3.4	1.1	88.8	10.1
	60歳代	130	42.3	50.0	6.9	0.8	-	92.3	7.7
	70歳以上	78	39.7	55.1	2.6	2.6	-	94.8	5.2
無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	63	36.5	49.2	7.9	6.3	-	85.7	14.2
	太宰府東小学校区	60	36.7	51.7	8.3	3.3	-	88.4	11.6
	太宰府南小学校区	36	41.7	47.2	5.6	2.8	2.8	88.9	8.4
	水城小学校区	98	42.9	44.9	9.2	3.1	-	87.8	12.3
	水城西小学校区	75	29.3	57.3	9.3	4.0	-	86.6	13.3
	太宰府西小学校区	77	39.0	50.6	10.4	-	-	89.6	10.4
	国分小学校区	83	33.7	55.4	9.6	1.2	-	89.1	10.8
	わからない	46	30.4	45.7	8.7	13.0	2.2	76.1	21.7
無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-	

(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 40)

●二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は約5割である。

アイドリングストップや節電など二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は 42.6%と最も多い。「週に1回程度行っている」(9.2%)を合わせた『週1回以上』の実施率は 51.8%である。「ほとんど行っていない」は 30.1%と全体の4分の1以上を占めている。

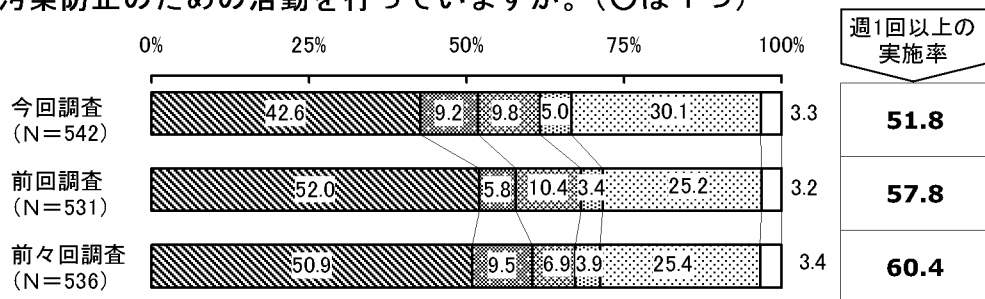
経年比較でみると、「ほぼ毎日行っている」は前回調査まで増加していたが、今回調査では 9.4ポイント減少に転じている。

性別でみると、男女による差はあまりみられない。

年代別にみると、「ほぼ毎日行っている」は60歳代の49.2%が最も高く、年齢が高い層で実践者が多い。『週1回以上』の実施率では40歳代が63.7%と最も高い。

小学校区別でみると、「ほぼ毎日行っている」は太宰府南小学校区で50.0%と最も高い。

問 40. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。(○は1つ)



ほぼ毎日行っている (実践している)
 週に1回程度行っている (実践している)
 月に数回程度行っている (実践している)
 年に数回程度行っている (実践している)
 ほとんど行っていない (実践していない)
 無回答

()内は前回調査以前の項目 (%)

	標本数	ほぼ毎日行っている (実践している)	週に1回程度行っている (実践している)	月に数回程度行っている (実践している)	年に数回程度行っている (実践している)	ほとんど行っていない (実践していない)	無回答	週1回以上の実施率 (%)
全体	542	231	50	53	27	163	18	281
性別								
男性	227	43.2	9.7	11.0	4.0	30.4	1.8	52.9
女性	315	42.2	8.9	8.9	5.7	29.8	4.4	51.1
年代別								
20歳代	51	35.3	11.8	3.9	5.9	43.1	-	47.1
30歳代	105	31.4	8.6	13.3	7.6	37.1	1.9	40.0
40歳代	88	43.2	20.5	10.2	1.1	25.0	-	63.7
50歳代	89	48.3	9.0	7.9	6.7	25.8	2.2	57.3
60歳代	130	49.2	3.8	10.8	4.6	28.5	3.1	53.0
70歳以上	78	44.9	5.1	9.0	3.8	25.6	11.5	50.0
無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別								
太宰府小学校区	63	46.0	3.2	6.3	6.3	34.9	3.2	49.2
太宰府東小学校区	60	46.7	11.7	6.7	3.3	30.0	1.7	58.4
太宰府南小学校区	36	50.0	2.8	13.9	2.8	22.2	8.3	52.8
水城小学校区	98	41.8	10.2	6.1	6.1	32.7	3.1	52.0
水城西小学校区	75	38.7	12.0	20.0	6.7	18.7	4.0	50.7
太宰府西小学校区	77	42.9	9.1	10.4	7.8	26.0	3.9	52.0
国分小学校区	83	41.0	12.0	8.4	1.2	34.9	2.4	53.0
わからない	46	39.1	8.7	8.7	2.2	41.3	-	47.8
無回答	4	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0

17. 環境教育・学習の推進（問 41）

●環境に関する学習会や講習会へ参加したことがある人は1割強。

環境に関する学習会や講習会への参加状況について「参加したことはない」が85.4%で最も多い。「年に1回程度は参加している」（10.7%）や「年に2回以上は参加している」（2.8%）を合わせた『参加率』は13.5%である。

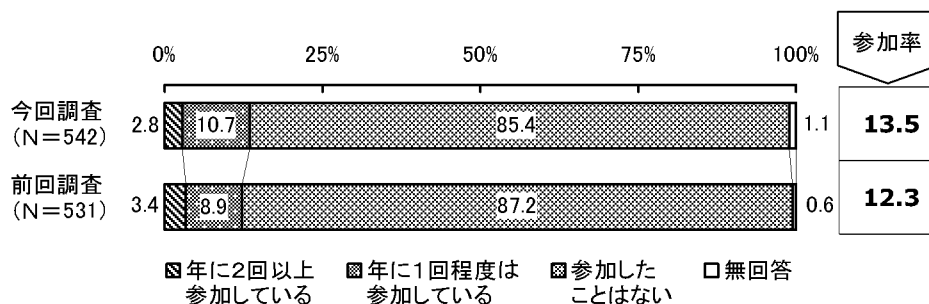
前回調査と比較してもあまり大きな差はみられない。

性別でみると、女性の「参加したことはない」は87.6%で男性（82.4%）よりも5.2ポイント高い。

年代別にみると、『参加率』は60歳代で19.2%と年齢が高い層で高くなっている。

小学校区別でみると国分小学校では『参加率』が22.9%と他の小学校区に比べて高い。

問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	い上年 る参に 加2 し回 て以	て度年 いはに る参1 加回 し程	と参 は加 ない たこ	無 回 答	参 加 率
全体		542	15	58	463	6	73
		100.0	2.8	10.7	85.4	1.1	13.5
性別	男性	227	4.0	13.2	82.4	0.4	17.2
	女性	315	1.9	8.9	87.6	1.6	10.8
年代別	20歳代	51	-	7.8	92.2	-	7.8
	30歳代	105	1.0	6.7	91.4	1.0	7.7
	40歳代	88	4.5	10.2	85.2	-	14.7
	50歳代	89	3.4	12.4	84.3	-	15.8
	60歳代	130	3.8	15.4	80.0	0.8	19.2
	70歳以上	78	2.6	9.0	84.6	3.8	11.6
	無回答	1	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	3.2	12.7	84.1	-	15.9
	太宰府東小学校区	60	3.3	10.0	86.7	-	13.3
	太宰府南小学校区	36	2.8	5.6	88.9	2.8	8.4
	水城小学校区	98	1.0	13.3	84.7	1.0	14.3
	水城西小学校区	75	1.3	6.7	89.3	2.7	8.0
	太宰府西小学校区	77	3.9	9.1	85.7	1.3	13.0
	国分小学校区	83	6.0	16.9	75.9	1.2	22.9
	わからない	46	-	6.5	93.5	-	6.5
	無回答	4	-	-	100.0	-	-

18. 未来に伝える景観づくり

(1) 美しい自然に対する意識 (問 42)

●市内の自然が美しいと感じている人は約85%。

市内の自然は美しいと思うかどうかについて「そう思う」が24.7%、「どちらかと言えばそう思う」が60.5%で、これらを合わせた『肯定派』は85.2%である。「そう思わない」(4.1%)と「どちらかと言えばそう思わない」(9.8%)を合わせた『否定派』は13.9%である。

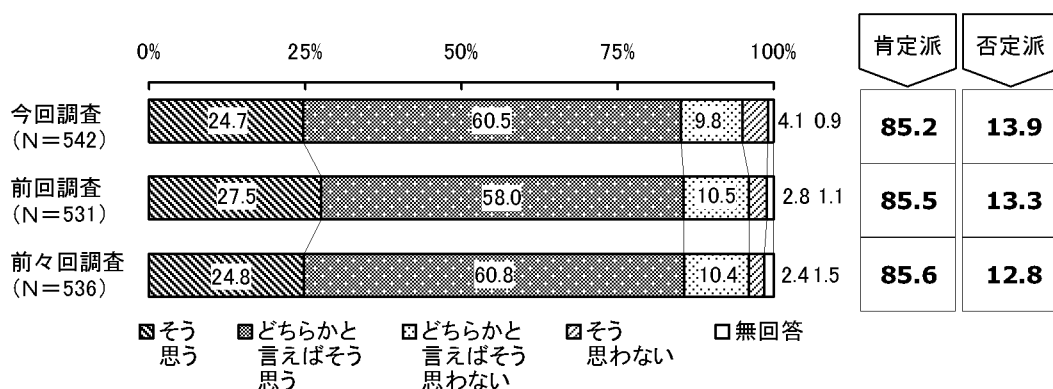
経年比較でも『肯定派』は85%台で推移しており、大きな変化はみられない。

性別でみると、男女ともに『肯定派』は同程度となっている。

年代別にみると、40歳代で『肯定派』が90.9%と9割を超えて高い。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と水城小学校区で『肯定派』が9割を超えている。

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	134	328	53	22	5	462	75
性別	男性	227	23.8	60.8	11.5	4.0	-	84.6	15.5
	女性	315	25.4	60.3	8.6	4.1	1.6	85.7	12.7
年代別	20歳代	51	7.8	66.7	17.6	7.8	-	74.5	25.4
	30歳代	105	28.6	58.1	9.5	2.9	1.0	86.7	12.4
	40歳代	88	23.9	67.0	5.7	3.4	-	90.9	9.1
	50歳代	89	27.0	59.6	10.1	3.4	-	86.6	13.5
	60歳代	130	24.6	56.9	13.1	3.1	2.3	81.5	16.2
	70歳以上	78	29.5	59.0	3.8	6.4	1.3	88.5	10.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	23.8	69.8	3.2	3.2	-	93.6	6.4
	太宰府東小学校区	60	28.3	55.0	8.3	8.3	-	83.3	16.6
	太宰府南小学校区	36	33.3	50.0	11.1	2.8	2.8	83.3	13.9
	水城小学校区	98	37.8	55.1	7.1	-	-	92.9	7.1
	水城西小学校区	75	13.3	70.7	9.3	4.0	2.7	84.0	13.3
	太宰府西小学校区	77	16.9	64.9	14.3	2.6	1.3	81.8	16.9
	国分小学校区	83	22.9	57.8	13.3	4.8	1.2	80.7	18.1
	わからない	46	21.7	56.5	10.9	10.9	-	78.2	21.8
無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0	

(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 43)

●歴史的な景観が美しいと感じている人は約9割。

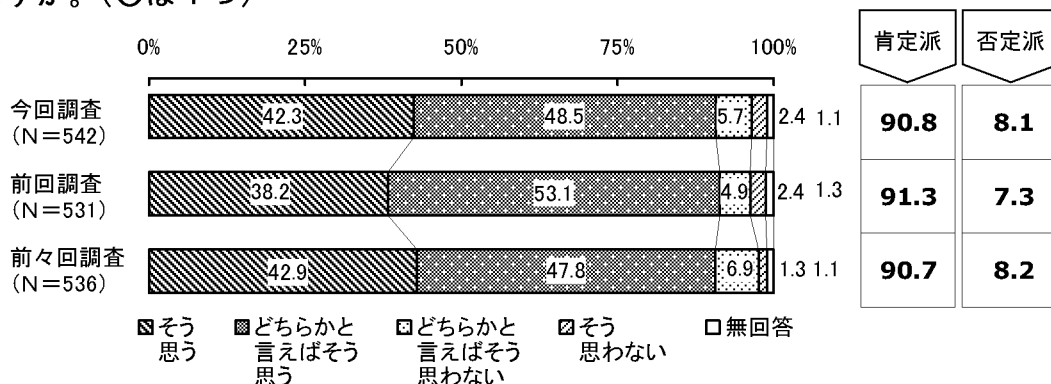
市内の歴史的な景観が美しいと思うかどうかについて「そう思う」が42.3%、「どちらかと言えばそう思う」が48.5%で、これらを合わせた『肯定派』は90.8%と約9割を占めている。「そう思わない」は2.4%とわずかで、「どちらかと言えばそう思わない」(5.7%)を合わせた『否定派』は8.1%と1割にも満たない。

経年比較でみると、『肯定派』に変化はみられないが、「そう思う」という強い意識が前回調査よりも4.1ポイント増えている。

性別でみると、『肯定派』は男性の方が女性に比べて2.9ポイント高い。

年代別にみると、30歳代で『肯定派』が94.3%と最も高く、「そう思う」も49.5%と5割近くとなっている。20歳代と50歳代では『肯定派』が9割を下回って低くなっている。小学校区別にみると、水城小学校区で『肯定派』が95.9%と最も高い。

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	229	263	31	13	6	492	44
		100.0	42.3	48.5	5.7	2.4	1.1	90.8	8.1
性別	男性	227	43.6	48.9	5.3	2.2	-	92.5	7.5
	女性	315	41.3	48.3	6.0	2.5	1.9	89.6	8.5
年代別	20歳代	51	33.3	52.9	9.8	3.9	-	86.2	13.7
	30歳代	105	49.5	44.8	2.9	1.9	1.0	94.3	4.8
	40歳代	88	45.5	47.7	2.3	4.5	-	93.2	6.8
	50歳代	89	34.8	51.7	10.1	2.2	1.1	86.5	12.3
	60歳代	130	41.5	49.2	6.2	0.8	2.3	90.7	7.0
	70歳以上	78	44.9	46.2	5.1	2.6	1.3	91.1	7.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	39.7	49.2	4.8	6.3	-	88.9	11.1
	太宰府東小学校区	60	35.0	51.7	8.3	5.0	-	86.7	13.3
	太宰府南小学校区	36	41.7	44.4	8.3	2.8	2.8	86.1	11.1
	水城小学校区	98	56.1	39.8	4.1	-	-	95.9	4.1
	水城西小学校区	75	28.0	65.3	2.7	1.3	2.7	93.3	4.0
	太宰府西小学校区	77	46.8	44.2	6.5	-	2.6	91.0	6.5
	国分小学校区	83	38.6	53.0	6.0	2.4	-	91.6	8.4
	わからない	46	47.8	37.0	8.7	4.3	2.2	84.8	13.0
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-

(3) 良好なまちなみに対する意識 (問 44)

●住んでいる地区のまちなみは良好だと思う人は約8割。

住んでいる地区のまちなみが良好だと思うかどうかについて、「そう思う」が24.4%、「どちらかと言えばそう思う」が55.7%でこれらを合わせた『肯定派』は80.1%である。「そう思わない」は3.9%とわずかで、「どちらかと言えばそう思わない」(15.3%)を合わせた『否定派』は19.2%となっている。

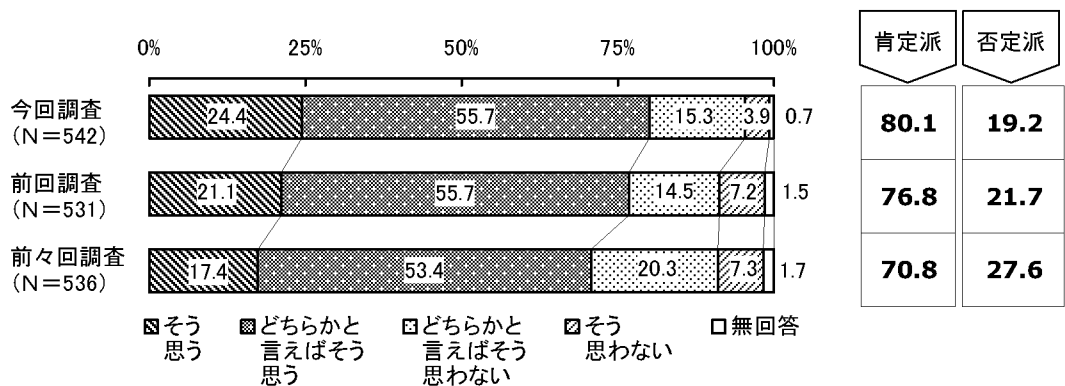
経年比較でみると、『肯定派』は増加傾向にある。

性別でみると、女性の「そう思う」は26.3%で男性の21.6%を4.7ポイント上回っている。

年代別にみると、40歳代と50歳代を除く年代で『肯定派』は8割を超えているが、特に30歳代と70歳以上では「そう思う」という強い意識も3割台と他の年代に比べて高い。

小学校区別にみると水城小学校区で『肯定派』が85.7%と最も高い。

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		542	132	302	83	21	4	80.1	19.2
性別	男性	227	21.6	56.8	16.7	4.8	-	78.4	21.5
	女性	315	26.3	54.9	14.3	3.2	1.3	81.2	17.5
年代別	20歳代	51	17.6	64.7	13.7	3.9	-	82.3	17.6
	30歳代	105	31.4	53.3	13.3	1.0	1.0	84.7	14.3
	40歳代	88	25.0	52.3	17.0	5.7	-	77.3	22.7
	50歳代	89	21.3	52.8	18.0	7.9	-	74.1	25.9
	60歳代	130	18.5	61.5	16.2	1.5	2.3	80.0	17.7
	70歳以上	78	30.8	51.3	12.8	5.1	-	82.1	17.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	25.4	54.0	14.3	4.8	1.6	79.4	19.1
	太宰府東小学校区	60	20.0	61.7	11.7	6.7	-	81.7	18.4
	太宰府南小学校区	36	38.9	38.9	13.9	5.6	2.8	77.8	19.5
	水城小学校区	98	28.6	57.1	11.2	3.1	-	85.7	14.3
	水城西小学校区	75	21.3	56.0	18.7	4.0	-	77.3	22.7
	太宰府西小学校区	77	29.9	51.9	16.9	1.3	-	81.8	18.2
	国分小学校区	83	18.1	57.8	19.3	3.6	1.2	75.9	22.9
	わからない	46	15.2	63.0	15.2	4.3	2.2	78.2	19.5
無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0	

19. 計画的なまちづくりの推進

(1) 住環境の快適さについての認識 (問 45)

●都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は約7割。

住まい周辺の道路や公園などの都市基盤が整備され快適な住環境であるかどうかについて、「そう思う」が16.2%、「どちらかと言えばそう思う」が53.1%で、これらを合わせた『肯定派』は69.3%となっている。一方、「そう思わない」(8.1%)と「どちらかと言えばそう思わない」(21.6%)を合わせた『否定派』は29.7%となっている。

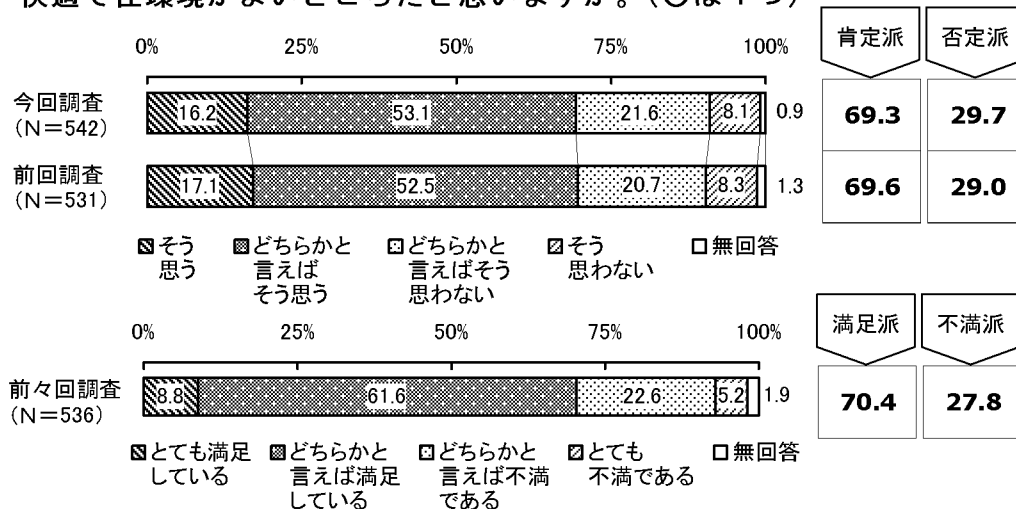
前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、女性の方が「そう思う」という強い意識が19.0%と男性(12.3%)よりも6.7ポイント高い。

年代別にみると、『否定派』は20歳代と40歳代、50歳代で3割以上と高くなっている。

小学校区別でみると、太宰府西小学校区では『肯定派』が80.5%と最も高い。国分小学校区と太宰府小学校区では『否定派』が4割台と他の小学校区に比べて高い。

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えば思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		542	88	288	117	44	5	69.3	29.7
性別	男性	227	12.3	55.5	23.8	8.4	-	67.8	32.2
	女性	315	19.0	51.4	20.0	7.9	1.6	70.4	27.9
年代別	20歳代	51	15.7	49.0	29.4	5.9	-	64.7	35.3
	30歳代	105	16.2	53.3	21.0	8.6	1.0	69.5	29.6
	40歳代	88	10.2	54.5	25.0	10.2	-	64.7	35.2
	50歳代	89	16.9	47.2	23.6	12.4	-	64.1	36.0
	60歳代	130	16.9	56.2	19.2	6.2	1.5	73.1	25.4
	70歳以上	78	21.8	55.1	15.4	5.1	2.6	76.9	20.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	12.7	44.4	34.9	6.3	1.6	57.1	41.2
	太宰府東小学校区	60	10.0	61.7	18.3	10.0	-	71.7	28.3
	太宰府南小学校区	36	16.7	55.6	13.9	11.1	2.8	72.3	25.0
	水城小学校区	98	26.5	51.0	16.3	6.1	-	77.5	22.4
	水城西小学校区	75	14.7	56.0	20.0	8.0	1.3	70.7	28.0
	太宰府西小学校区	77	24.7	55.8	14.3	5.2	-	80.5	19.5
	国分小学校区	83	9.6	47.0	30.1	12.0	1.2	56.6	42.1
	わからない	46	8.7	58.7	21.7	8.7	2.2	67.4	30.4
無回答	4	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	

(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 46)

- 商業施設等が周辺にあり、利便性を感じている人は約7割。
- 小学校区によって利便性に差がみられる。

商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思うかについて、「そう思う」が26.0%、「どちらかと言えばそう思う」が44.8%でこれらを合わせた『肯定派』は70.8%である。「そう思わない」(10.0%)と「どちらかと言えばそう思わない」(18.8%)を合わせた『否定派』は28.8%である。

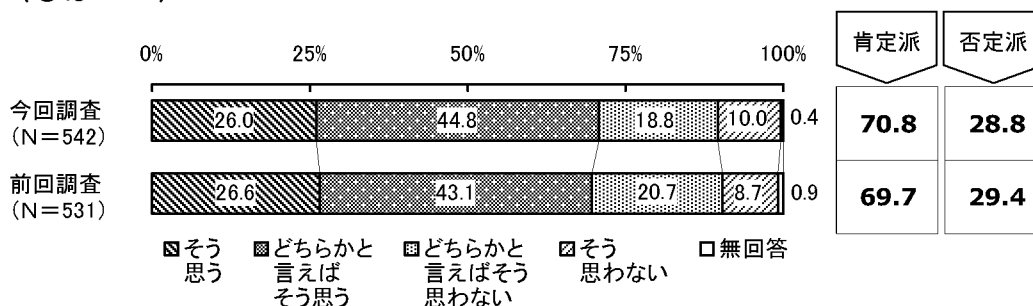
前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、女性の方が「そう思う」という強い意識が27.6%と男性(23.8%)よりやや高い。

年代別でみると、年齢が低い層で『肯定派』は高い傾向にあり、特に30歳代では77.1%と最も高い。

小学校区別でみると、水城小学校区と太宰府西小学校区では『肯定派』が8割を超えているが、太宰府小学校区では5割台と小学校区によって差がみられる。

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	141	243	102	54	2	384	156
性別	男性	227	23.8	45.4	21.1	9.3	0.4	69.2	30.4
	女性	315	27.6	44.4	17.1	10.5	0.3	72.0	27.6
年代別	20歳代	51	25.5	45.1	15.7	13.7	-	70.6	29.4
	30歳代	105	31.4	45.7	16.2	6.7	-	77.1	22.9
	40歳代	88	20.5	54.5	18.2	5.7	1.1	75.0	23.9
	50歳代	89	27.0	39.3	22.5	11.2	-	66.3	33.7
	60歳代	130	23.1	45.4	20.0	10.8	0.8	68.5	30.8
	70歳以上	78	28.2	38.5	19.2	14.1	-	66.7	33.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	19.0	34.9	23.8	22.2	-	53.9	46.0
	太宰府東小学校区	60	18.3	45.0	28.3	8.3	-	63.3	36.6
	太宰府南小学校区	36	22.2	41.7	30.6	5.6	-	63.9	36.2
	水城小学校区	98	37.8	43.9	10.2	8.2	-	81.7	18.4
	水城西小学校区	75	26.7	46.7	22.7	4.0	-	73.4	26.7
	太宰府西小学校区	77	39.0	42.9	15.6	2.6	-	81.9	18.2
	国分小学校区	83	13.3	50.6	19.3	15.7	1.2	63.9	35.0
	わからない	46	23.9	52.2	8.7	13.0	2.2	76.1	21.7
無回答	4	25.0	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0	

20. 地域交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する意識 (問 47)

●バスの利便性について『肯定派』(35.2%)、『否定派』(33.0%)の意見は拮抗。

市内のバス便が便利かどうかについて「バス便を利用しないのでわからない」が31.0%と最も多い。利用者の中では「そう思う」が11.6%、「どちらかと言えばそう思う」が23.6%でこれらを合わせた『肯定派』は35.2%、一方、「そう思わない」(18.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(14.2%)を合わせた『否定派』は33.0%と利用者の中ではバスの利便性については意見が拮抗している。

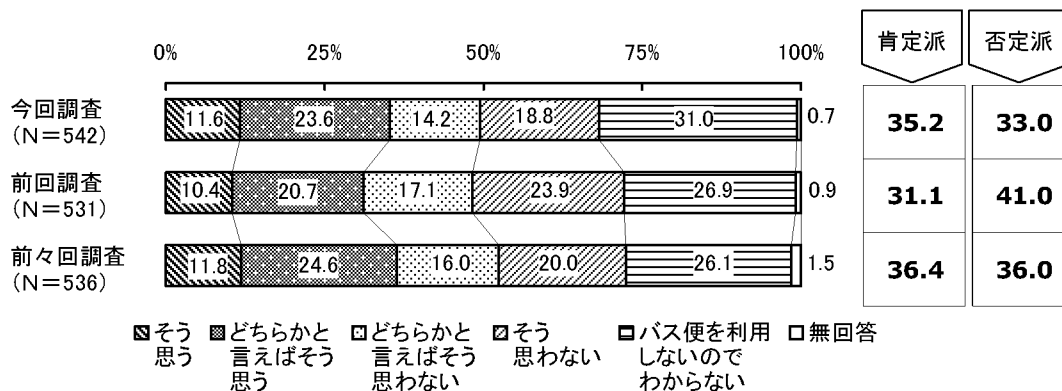
経年比較でみると、前回調査では『否定派』は増加していたが、今回調査では減少に転じている。「バス便を利用しないのでわからない」は増加傾向にある。

性別でみると、女性の『否定派』は35.5%と男性(29.5%)よりも6ポイント高い。

年代別でみると、「バス便を利用しないのでわからない」は60歳以上では3割を下回り、『肯定派』の割合が他の年代に比べて高い。

小学校区別みると、太宰府南小学校区では『肯定派』が61.1%と最も高いが、水城西小学校区では16.0%と最も低いなど、小学校区によって違いがみられる。

問 47. あなたは市内のバス便は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か と う 言	な えど い ばち そ う か と 言	そう 思 わ な い	か し バ ス 便 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		542	63	128	77	102	168	4	191	179
性別	男性	227	13.2	24.2	13.2	16.3	32.2	0.9	37.4	29.5
	女性	315	10.5	23.2	14.9	20.6	30.2	0.6	33.7	35.5
年代別	20歳代	51	11.8	19.6	13.7	19.6	35.3	-	31.4	33.3
	30歳代	105	7.6	15.2	16.2	22.9	37.1	1.0	22.8	39.1
	40歳代	88	5.7	20.5	15.9	22.7	34.1	1.1	26.2	38.6
	50歳代	89	12.4	21.3	18.0	12.4	36.0	-	33.7	30.4
	60歳代	130	10.8	28.5	11.5	20.0	27.7	1.5	39.3	31.5
	70歳以上	78	23.1	35.9	10.3	14.1	16.7	-	59.0	24.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	9.5	22.2	11.1	27.0	28.6	1.6	31.7	38.1
	太宰府東小学校区	60	16.7	28.3	13.3	23.3	18.3	-	45.0	36.6
	太宰府南小学校区	36	22.2	38.9	8.3	19.4	11.1	-	61.1	27.7
	水城西小学校区	98	15.3	20.4	11.2	12.2	40.8	-	35.7	23.4
	水城西小学校区	75	1.3	14.7	18.7	17.3	48.0	-	16.0	36.0
	太宰府西小学校区	77	14.3	31.2	23.4	19.5	11.7	-	45.5	42.9
	国分小学校区	83	6.0	22.9	15.7	20.5	33.7	1.2	28.9	36.2
	わからない	46	13.0	15.2	6.5	15.2	45.7	4.3	28.2	21.7
	無回答	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	75.0	-

(2) 鉄道の利便性についての意識 (問 48)

●鉄道の利便性について『肯定派』は6割を超えており、バスよりも利便性は高い。

市内の鉄道が便利かどうかについて「そう思う」が 26.2%、「どちらかと言えばそう思う」が 40.0%とこれらを合わせた『肯定派』が 66.2%となっている。一方、「そう思わない」(10.9%)と「どちらかと言えばそう思わない」(13.1%)を合わせた『否定派』は 24.0%となっている。「鉄道を利用しないのでわからない」は 9.0%である。

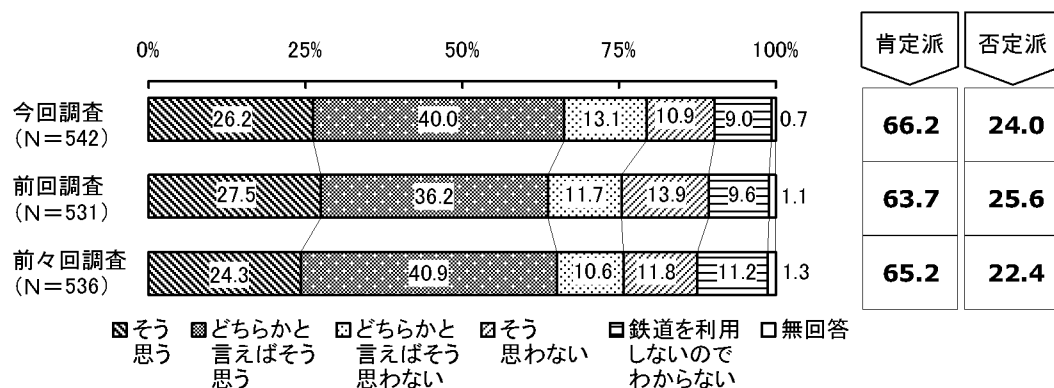
経年比較でみると、『肯定派』は前回調査で若干減少していたが、今回調査ではやや増加に転じており、前々回調査とほぼ同程度となっている。

性別でみると、『肯定派』は男女で同程度となっている。

年代別にみると、40歳代と50歳代で『肯定派』は7割台と評価が高い。

小学校区別にみると、水城小学校区と太宰府東小学校区で『肯定派』は8割台と高く、太宰府西小学校区では 41.6%と最も低いなど小学校区によって違いがみられる。

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 言 う	な えど ばち そ う か 思 わ な い	そ う 思 わ な い	ら な 鉄 道 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		542	142	217	71	59	49	4	359	130
		100.0	26.2	40.0	13.1	10.9	9.0	0.7	66.2	24.0
性別	男性	227	25.6	40.5	12.8	9.7	10.6	0.9	66.1	22.5
	女性	315	26.7	39.7	13.3	11.7	7.9	0.6	66.4	25.0
年代別	20歳代	51	27.5	37.3	11.8	17.6	3.9	2.0	64.8	29.4
	30歳代	105	27.6	36.2	15.2	11.4	9.5	-	63.8	26.6
	40歳代	88	26.1	44.3	9.1	12.5	6.8	1.1	70.4	21.6
	50歳代	89	27.0	46.1	10.1	4.5	12.4	-	73.1	14.6
	60歳代	130	20.8	45.4	13.8	10.0	8.5	1.5	66.2	23.8
	70歳以上	78	30.8	26.9	17.9	12.8	11.5	-	57.7	30.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	20.6	41.3	12.7	15.9	9.5	-	61.9	28.6
	太宰府東小学校区	60	26.7	53.3	10.0	5.0	5.0	-	80.0	15.0
	太宰府南小学校区	36	19.4	41.7	13.9	13.9	11.1	-	61.1	27.8
	水城小学校区	98	44.9	39.8	3.1	7.1	5.1	-	84.7	10.2
	水城西小学校区	75	26.7	37.3	12.0	14.7	9.3	-	64.0	26.7
	太宰府西小学校区	77	14.3	27.3	29.9	19.5	7.8	1.3	41.6	49.4
	国分小学校区	83	14.5	47.0	19.3	6.0	12.0	1.2	61.5	25.3
	わからない	46	39.1	30.4	2.2	6.5	17.4	4.3	69.5	8.7
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	-	100.0	-

(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 49)

●道路の円滑性について『否定派』が全体の約4分の3を占めている。

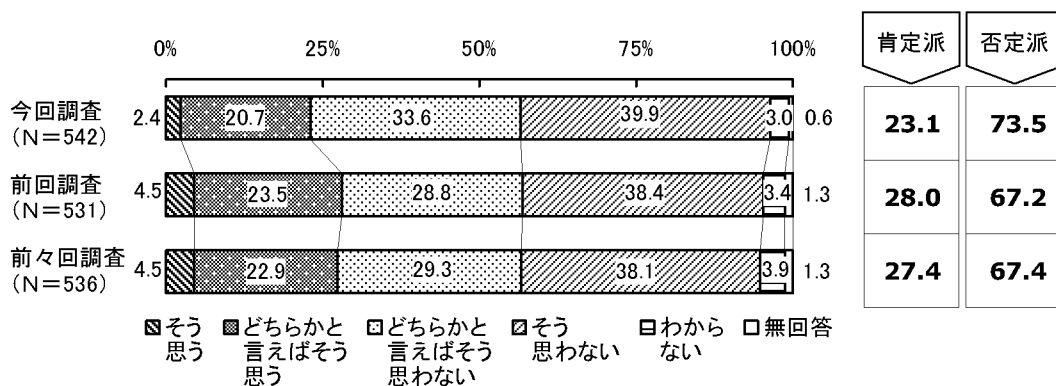
市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、「そう思う」が2.4%とわずかで、これに「どちらかと言えばそう思う」(20.7%)を合わせた『肯定派』は23.1%である。一方、「そう思わない」は39.9%と最も高く、「どちらかと言えばそう思わない」も33.6%と3割を超え、これらを合わせた『否定派』は73.5%と全体の約4分の3を占めている。経年比較でみると『否定派』は増加傾向である。

性別でみると、『肯定派』の割合は男女で大きな差はみられない。

年代別でみると、20歳代で『否定派』は80.4%と他の年代比べて高くなっているが、50歳代以下の年齢層で評価が低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区では『否定派』は92.0%と最も高い。太宰府東小学校区と太宰府南小学校区では『否定派』は約66%と他の小学校区に比べてやや低くなっている。

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	(%)					肯定派	否定派	
			そう思う	えど ば ち ら か と 言 う	な え ど ち ら か と 言 わ ない	そ う 思 わ ない	わ か ら な い	無 回 答		
全 体		542 100.0	13 2.4	112 20.7	182 33.6	216 39.9	16 3.0	3 0.6	125 23.1	398 73.5
性 別	男 性	227	2.6	21.6	33.0	41.0	0.9	0.9	24.2	74.0
	女 性	315	2.2	20.0	34.0	39.0	4.4	0.3	22.2	73.0
年 代 別	20歳代	51	3.9	11.8	35.3	45.1	3.9	-	15.7	80.4
	30歳代	105	1.9	20.0	37.1	39.0	1.9	-	21.9	76.1
	40歳代	88	1.1	17.0	37.5	42.0	1.1	1.1	18.1	79.5
	50歳代	89	2.2	15.7	37.1	40.4	4.5	-	17.9	77.5
	60歳代	130	1.5	23.1	31.5	39.2	3.1	1.5	24.6	70.7
	70歳以上	78	5.1	32.1	23.1	35.9	3.8	-	37.2	59.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	63	1.6	4.8	33.3	58.7	1.6	-	6.4	92.0
	太宰府東小学校区	60	1.7	26.7	23.3	43.3	5.0	-	28.4	66.6
	太宰府南小学校区	36	-	33.3	36.1	30.6	-	-	33.3	66.7
	水城小学校区	98	4.1	22.4	25.5	43.9	3.1	1.0	26.5	69.4
	水城西小学校区	75	2.7	24.0	36.0	34.7	2.7	-	26.7	70.7
	太宰府西小学校区	77	1.3	24.7	48.1	26.0	-	-	26.0	74.1
	国分小学校区	83	3.6	19.3	36.1	37.3	2.4	1.2	22.9	73.4
	わからない	46	-	10.9	30.4	45.7	10.9	2.2	10.9	76.1
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	50.0

(4) 買い物時の交通手段 (問 50)

- 買い物に行く手段は「自家用車」が最も多く約7割。
- 国分小学校区は「自家用車」、水城小学校区、水城西小学校区は「徒歩」「自転車」の利用が比較的高い。

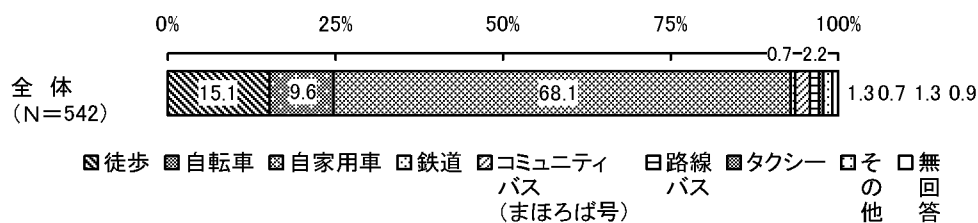
日頃買い物に行くときの手段は、「自家用車」が最も多く68.1%、続いて「徒歩」15.1%、「自転車」9.6%、「コミュニティバス」2.2%、「路線バス」1.3%などとなっている。

性別でみると、「自家用車」は男性77.5%、女性61.3%で男性の方が16.2ポイント高く、「徒歩」は男性10.1%、女性18.1%で女性が8ポイント高くなっている。

年代別でみると、「自家用車」は30歳代で78.1%と高く、20歳代、40歳代でも7割を超えているが、70歳以上では53.8%と低くなっている。「自転車」は50歳代で18.0%、「コミュニティバス」は70歳以上で9.0%とそれぞれ他の年代に比べ高くなっている。

小学校区別にみると、「自家用車」は国分小学校区で77.1%と高率であるが、水城小学校区では57.1%と20ポイント低くなっている。水城小学校区と水城西小学校区は「徒歩」や「自転車」が他の校区に比べてやや高い。国分小学校区は「徒歩」が6.0%と低くなっている。太宰府小学校区は「コミュニティバス」の利用率が、太宰府南小学校区は「路線バス」の利用率がやや高い。

問 50. あなたは日頃、どのようにして買い物に行きますか。(○は1つ)



	標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス (まぼろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体	542 100.0	82 15.1	52 9.6	369 68.1	4 0.7	12 2.2	7 1.3	4 0.7	7 1.3	5 0.9
性別										
男性	227	10.1	8.4	77.5	-	0.9	0.9	-	1.3	0.9
女性	315	18.7	10.5	61.3	1.3	3.2	1.6	1.3	1.3	1.0
年代別										
20歳代	51	13.7	7.8	72.5	2.0	-	2.0	-	-	2.0
30歳代	105	13.3	6.7	78.1	1.0	-	-	-	1.0	-
40歳代	88	15.9	10.2	70.5	1.1	-	-	-	-	2.3
50歳代	89	14.6	18.0	64.0	1.1	2.2	-	-	-	-
60歳代	130	15.4	9.2	68.5	-	1.5	-	1.5	3.1	0.8
70歳以上	78	17.9	5.1	53.8	-	9.0	7.7	2.6	2.6	1.3
無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
小学校区別										
太宰府小学校区	63	12.7	4.8	69.8	1.6	7.9	-	-	3.2	-
太宰府東小学校区	60	16.7	8.3	68.3	-	-	5.0	1.7	-	-
太宰府南小学校区	36	13.9	8.3	63.9	-	-	8.3	-	5.6	-
水城小学校区	98	19.4	15.3	57.1	1.0	3.1	-	-	1.0	3.1
水城西小学校区	75	17.3	13.3	68.0	-	1.3	-	-	-	-
太宰府西小学校区	77	15.6	7.8	71.4	-	1.3	-	2.6	1.3	-
国分小学校区	83	6.0	7.2	77.1	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2
わからない	46	19.6	8.7	69.6	-	-	-	-	-	2.2
無回答	4	25.0	-	75.0	-	-	-	-	-	-

21. 産業の振興（問 51）

- 日頃買い物する場所は「太宰府市」が7割以上。
- 太宰府南小学校区は3分の1以上が「筑紫野市」で主に買い物。

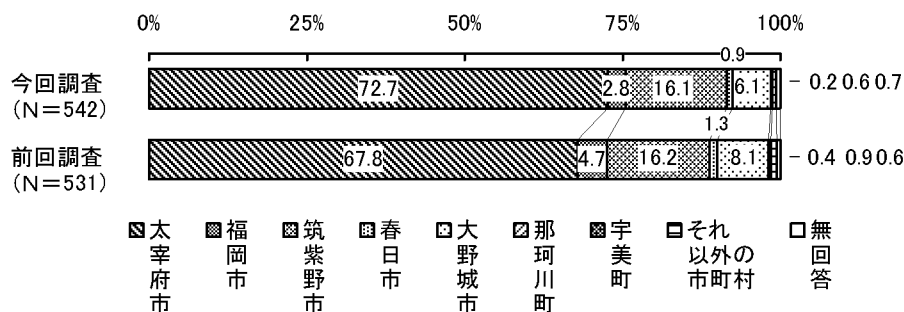
日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」が72.7%で、4分の3近くを占めている。他に「筑紫野市」が16.1%、「大野城市」6.1%となっており、「福岡市」(2.8%)、「春日市」(0.9%)、「宇美町」(0.2%)などはわずかである。

経年比較でみると、前回調査より「太宰府市」が4.9ポイント増加している。

年代別でみると、70歳以上は「太宰府市」が多く84.6%に上る。20歳代と40歳代は「太宰府市」が6割台半ばとやや低く、「筑紫野市」が2割前後と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「太宰府市」が85.0%と高い。太宰府南小学校区は「太宰府市」が55.6%と比較的低く、「筑紫野市」が36.1%と目立って高くなっている。

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	のそ市れ町以村外	無回答
全体		542	394	15	87	5	33	-	1	3	4
		100.0	72.7	2.8	16.1	0.9	6.1	-	0.2	0.6	0.7
性別	男性	227	74.9	2.2	15.0	-	6.6	-	0.4	-	0.9
	女性	315	71.1	3.2	16.8	1.6	5.7	-	-	1.0	0.6
年代別	20歳代	51	62.7	3.9	19.6	3.9	7.8	-	-	2.0	-
	30歳代	105	73.3	3.8	16.2	1.0	4.8	-	1.0	-	-
	40歳代	88	64.8	3.4	21.6	2.3	6.8	-	-	-	1.1
	50歳代	89	70.8	4.5	15.7	-	7.9	-	-	-	1.1
	60歳代	130	75.4	1.5	13.8	-	6.9	-	-	1.5	0.8
	70歳以上	78	84.6	-	11.5	-	2.6	-	-	-	1.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	79.4	1.6	14.3	-	1.6	-	1.6	1.6	-
	太宰府東小学校区	60	85.0	-	15.0	-	-	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	36	55.6	2.8	36.1	-	5.6	-	-	-	-
	水城小学校区	98	70.4	3.1	23.5	-	1.0	-	-	1.0	1.0
	水城西小学校区	75	72.0	2.7	13.3	1.3	8.0	-	-	1.3	1.3
	太宰府西小学校区	77	75.3	1.3	7.8	1.3	14.3	-	-	-	-
	国分小学校区	83	68.7	7.2	12.0	1.2	9.6	-	-	-	1.2
	わからない	46	69.6	2.2	13.0	4.3	8.7	-	-	-	2.2
	無回答	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-

22. 文化遺産の保存と活用（問 52）

●約 9 割が市の歴史文化遺産を誇りに思っている。
 ●20 歳代は他の年代に比べて『肯定派』がやや少ない。

市の歴史文化遺産を誇りに思うかについては、「そう思う」が 57.9%、「どちらかと言えばそう思う」が 33.2%で、『肯定派』は 91.1%と約 9 割を占めている。「そう思わない」は 3.0%、「どちらかと言えばそう思わない」は 4.4%である。

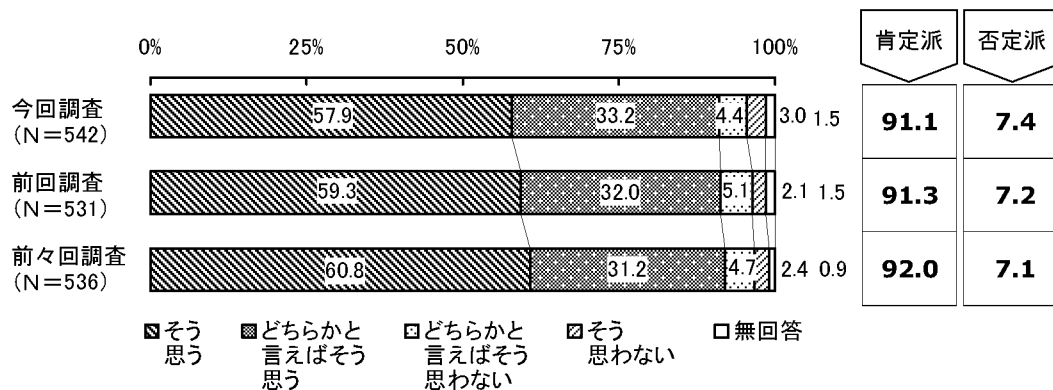
経年比較でみると、『肯定派』は 9 割を超えて推移しており大きな変化はみられない。

性別でみると、女性の方が『肯定派』が 2.2 ポイント多い。

年代別では、「そう思う」と積極的に肯定する意見がほとんどの年代で 6 割前後を占めるが、20 歳代では 45.1%と他の年代より低く、また、『否定派』の割合も 13.7%と比較的高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では「そう思う」と積極的に肯定する意見が 70.4%に上っているが、国分小学校区と太宰府東小学校区では 5 割程度にとどまる。

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わない	そう 思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		542	314	180	24	16	8	494	40
		100.0	57.9	33.2	4.4	3.0	1.5	91.1	7.4
性別	男性	227	57.3	32.6	6.2	2.6	1.3	89.9	8.8
	女性	315	58.4	33.7	3.2	3.2	1.6	92.1	6.4
年代別	20歳代	51	45.1	41.2	5.9	7.8	-	86.3	13.7
	30歳代	105	59.0	29.5	5.7	2.9	2.9	88.5	8.6
	40歳代	88	62.5	31.8	2.3	1.1	2.3	94.3	3.4
	50歳代	89	52.8	38.2	4.5	3.4	1.1	91.0	7.9
	60歳代	130	62.3	30.0	4.6	2.3	0.8	92.3	6.9
	70歳以上	78	57.7	34.6	3.8	2.6	1.3	92.3	6.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	54.0	30.2	4.8	6.3	4.8	84.2	11.1
	太宰府東小学校区	60	51.7	40.0	6.7	1.7	-	91.7	8.4
	太宰府南小学校区	36	55.6	33.3	8.3	2.8	-	88.9	11.1
	水城小学校区	98	70.4	25.5	3.1	-	1.0	95.9	3.1
	水城西小学校区	75	56.0	40.0	2.7	1.3	-	96.0	4.0
	太宰府西小学校区	77	62.3	32.5	1.3	2.6	1.3	94.8	3.9
	国分小学校区	83	50.6	39.8	3.6	3.6	2.4	90.4	7.2
	わからない	46	54.3	26.1	8.7	8.7	2.2	80.4	17.4
	無回答	4	75.0	-	25.0	-	-	75.0	25.0

23. 観光基盤の整備充実（問 53）

- 九州国立博物館に行ったことがある人は約4分の3。
- 60歳代以上は行ったことがある割合、行った回数ともに多い。

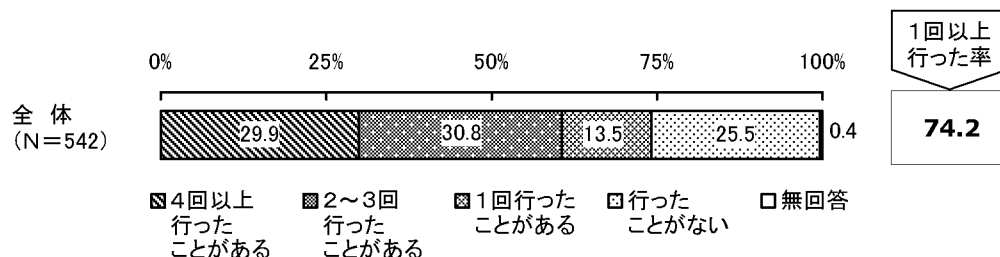
九州国立博物館に「4回以上行ったことがある」が29.9%、「2～3回行ったことがある」が30.8%、「1回行ったことがある」が13.5%で、行ったことがある人が約4分の3を占めている。「行ったことがない」は25.5%である。

性別でみると、女性の方が『1回以上行ったことがある』人が多い。

年代別では、年齢が高い層で行ったことがある割合や行った回数が多く、60歳代以上では「4回以上行ったことがある」では4割を超え、「行ったことがない」は1割台にとどまる。30歳代以下では「4回以上行ったことがある」は2割前後、「行ったことがない」が約3分の1を占めている。また、50歳代は「行ったことがない」が39.3%と最も多くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府南小学校区は「4回以上行ったことがある」が4割前後と高いが、水城西小学校区、国分小学校区は2割強にとどまる。また、「行ったことがない」が多いのは、国分小学校区、水城西小学校区、太宰府東小学校区で3割前後に上る。

問 53. あなたは九州国立博物館に行ったことがありますか。（○は1つ）



		標本数	と行4 がつ回 あた以 るこ上	と行2 がつ あた3 るこ回	あた1 るこ回 と行 がつ	と行 がつ ないこ	無回 答	行1 つ回 た以 率上
全体		542	162	167	73	138	2	402
		100.0	29.9	30.8	13.5	25.5	0.4	74.2
性別	男性	227	29.1	30.4	12.8	27.3	0.4	72.3
	女性	315	30.5	31.1	14.0	24.1	0.3	75.6
年代別	20歳代	51	17.6	39.2	9.8	33.3	-	66.6
	30歳代	105	21.9	26.7	18.1	33.3	-	66.7
	40歳代	88	22.7	33.0	19.3	23.9	1.1	75.0
	50歳代	89	23.6	23.6	13.5	39.3	-	60.7
	60歳代	130	43.1	31.5	9.2	15.4	0.8	83.8
	70歳以上	78	41.0	35.9	10.3	12.8	-	87.2
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	39.7	28.6	9.5	22.2	-	77.8
	太宰府東小学校区	60	33.3	30.0	8.3	28.3	-	71.6
	太宰府南小学校区	36	44.4	30.6	5.6	19.4	-	80.6
	水城西小学校区	98	32.7	32.7	16.3	18.4	-	81.7
	水城西小学校区	75	22.7	33.3	13.3	30.7	-	69.3
	太宰府西小学校区	77	28.6	33.8	18.2	19.5	-	80.6
	国分小学校区	83	24.1	26.5	15.7	32.5	1.2	66.3
	わからない	46	17.4	30.4	13.0	37.0	2.2	60.8
無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	100.0	

24. 国際交流・友好都市交流の推進

(1) 外国人との交流頻度（問54）

●市内在住の外国人との交流は約95%が「ほとんどしていない」。

市内在住の外国人との交流は、「ほぼ毎日交流している」0.6%、「週に1回程度交流している」0.7%、「月に数回程度交流している」1.1%、「年に数回程度交流している」2.2%となっており、「ほとんど交流していない」が94.6%と大半を占めている。

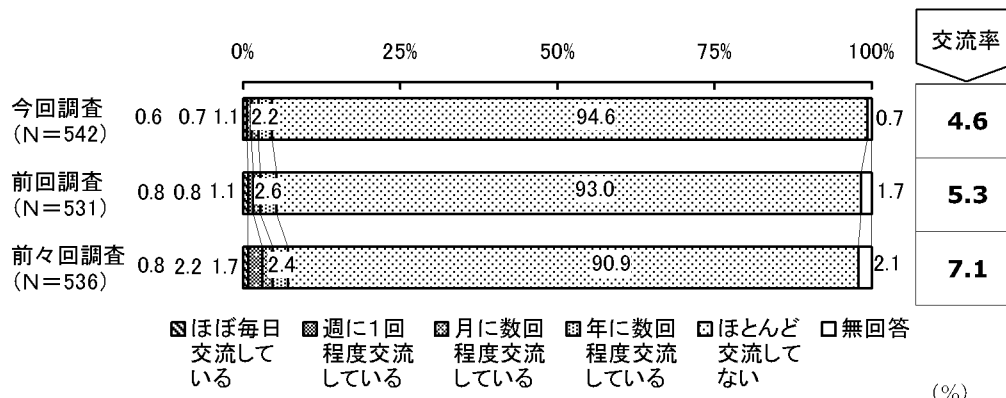
経年比較でみると、数値の差はわずかではあるが、前々回調査、前回調査と比較して交流している人の割合は減少傾向にある。

性別でみると、頻度に関わらず「交流している」と回答した人は、男性2.6%、女性6.1%で、女性の方がやや高くなっている。

年代別でみると、どの年代も「ほとんど交流していない」が9割を超えて多い。20歳代と30歳代で交流率は6%を超えている。

小学校区別にみると、どの校区も交流率は1割に満たないが、水城小学校区と太宰府西小学校区は交流率がやや高く、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、水城西小学校区では低くなっている。

問54. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率
全体		542	0.6	0.7	1.1	2.2	94.6	0.7	4.6
性別	男性	227	0.4	0.4	0.9	0.9	96.9	0.4	2.6
	女性	315	0.6	1.0	1.3	3.2	93.0	1.0	6.1
年代別	20歳代	51	2.0	2.0	2.0	-	94.1	-	6.0
	30歳代	105	1.0	-	1.0	4.8	93.3	-	6.8
	40歳代	88	-	1.1	1.1	-	96.6	1.1	2.2
	50歳代	89	-	1.1	-	1.1	97.8	-	2.2
	60歳代	130	-	0.8	1.5	3.1	93.1	1.5	5.4
	70歳以上	78	1.3	-	1.3	2.6	93.6	1.3	5.2
無回答		1	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	-	3.2	1.6	1.6	93.7	-	6.4
	太宰府東小学校区	60	1.7	-	-	-	98.3	-	1.7
	太宰府南小学校区	36	-	-	-	-	100.0	-	-
	水城小学校区	98	-	-	2.0	6.1	90.8	1.0	8.1
	水城西小学校区	75	-	-	1.3	-	98.7	-	1.3
	太宰府西小学校区	77	1.3	2.6	1.3	2.6	90.9	1.3	7.8
	国分小学校区	83	-	-	1.2	3.6	94.0	1.2	4.8
	わからない	46	2.2	-	-	-	95.7	2.2	2.2
無回答		4	-	-	-	-	100.0	-	-

(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 55)

●太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約 4 分の 3 が「どれも知らなかった」。

太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知については、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」が 15.3%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」が 11.6%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が 7.7%となっている。「どれも知らなかった」が 74.7%でほぼ 4 分の 3 を占めている。

経年比較でみると、いずれの都市についても認知度が 5 ポイント低下しており、「どれも知らなかった」は 7.7 ポイント増加している。

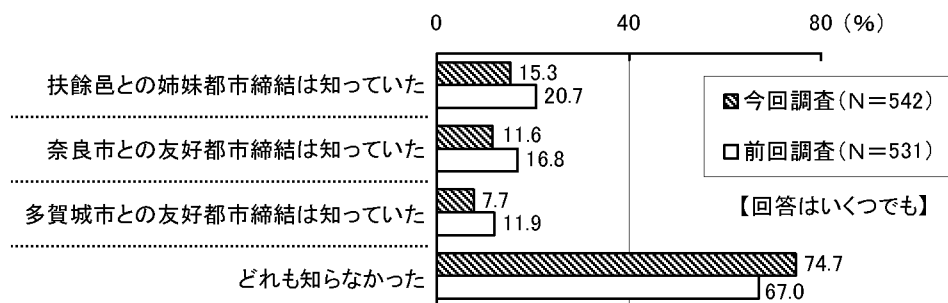
性別でみると、「どれも知らなかった」は女性 (71.7%) より男性 (78.9%) で高く、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」は女性の方が男性より 4.3 ポイント高い。

年代別にみると、いずれの都市についても 60 歳以上で認知度が高い傾向がみられ、50 歳代以下では「どれも知らなかった」が 8 割前後に上るが、60 歳代以上では 6 割台半ばと相対的に低くなっている。

小学校区別にみると、「どれも知らなかった」が太宰府西小学校区と太宰府東小学校区で他の校区に比べて低く、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」が高くなっている。

問 56. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘邑と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存知でしたか。

(○はいくつでも)



		標本数	扶餘邑との姉妹都市締結を知っていた (%)	奈良市との友好都市締結を知っていた (%)	多賀城市との友好都市締結を知っていた (%)	どれも知らなかった (%)	無回答 (%)
全体		542	15.3	11.6	7.7	74.7	0.7
性別	男性	227	12.8	9.7	7.0	78.9	0.4
	女性	315	17.1	13.0	8.3	71.7	1.0
年代別	20歳代	51	13.7	9.8	5.9	84.3	-
	30歳代	105	14.3	6.7	2.9	80.0	-
	40歳代	88	10.2	11.4	1.1	80.7	1.1
	50歳代	89	13.5	10.1	9.0	78.7	-
	60歳代	130	19.2	13.8	11.5	66.2	1.5
	70歳以上	78	19.2	17.9	15.4	64.1	1.3
	無回答	1	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	12.7	9.5	12.7	73.0	-
	太宰府東小学校区	60	20.0	18.3	15.0	68.3	-
	太宰府南小学校区	36	16.7	16.7	2.8	80.6	-
	水城小学校区	98	13.3	10.2	6.1	74.5	1.0
	水城西小学校区	75	13.3	10.7	6.7	78.7	-
	太宰府西小学校区	77	28.6	16.9	10.4	59.7	1.3
	国分小学校区	83	14.5	9.6	6.0	75.9	1.2
	わからない	46	-	2.2	-	95.7	2.2
	無回答	4	-	-	-	100.0	-

(3) 姉妹・友好都市の人たちとの交流頻度 (問 56)

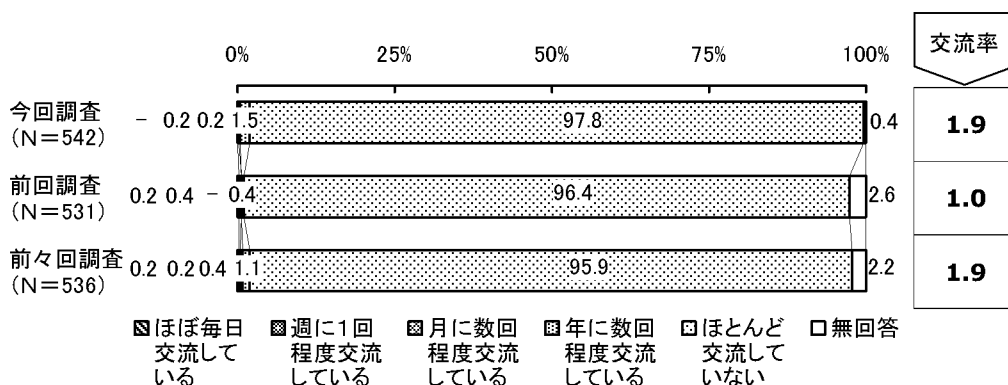
●姉妹・友好都市の人と交流している人は約 2%であり交流はなされていない。

太宰府市の姉妹都市・友好都市の人との交流については、「ほとんど交流していない」が 97.8%で大半を占めている。「年に数回交流している」は 1.5%、「月に数回程度交流している」0.2%、「週に 1 回程度交流している」0.2%となっている。

性別でみると、男女で交流率に差はみられないが、「月に数回程度」「週に 1 回程度」と頻度が高いのはいずれも女性である。

年代別にみると、交流している人は各年代にみられるが、20 歳代では「ほとんど交流していない」が 100%を占めている。

問 56. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘邑や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は 1 つ)



		標本数	い交ほ る流ぼ し毎 て日	し程週 て度 に い交1 る流回	し程月 て度 に い交数 る流回	し程年 て度 に い交数 る流回	い交ほ な流と いしん てど	無 回 答	交 流 率
全体		542	-	1	1	8	530	2	10
		100.0	-	0.2	0.2	1.5	97.8	0.4	1.9
性別	男性	227	-	-	-	1.8	97.8	0.4	1.8
	女性	315	-	0.3	0.3	1.3	97.8	0.3	1.9
年代別	20歳代	51	-	-	-	-	100.0	-	-
	30歳代	105	-	-	-	1.9	98.1	-	1.9
	40歳代	88	-	-	1.1	1.1	97.7	-	2.2
	50歳代	89	-	-	-	1.1	98.9	-	1.1
	60歳代	130	-	0.8	-	1.5	96.9	0.8	2.3
	70歳以上	78	-	-	-	2.6	96.2	1.3	2.6
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	-	-	-	3.2	96.8	-	3.2
	太宰府東小学校区	60	-	-	-	-	100.0	-	-
	太宰府南小学校区	36	-	-	-	-	100.0	-	-
	水城小学校区	98	-	-	-	2.0	96.9	1.0	2.0
	水城西小学校区	75	-	-	-	-	100.0	-	-
	太宰府西小学校区	77	-	-	-	1.3	97.4	1.3	1.3
	国分小学校区	83	-	-	1.2	3.6	95.2	-	4.8
	わからない	46	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	4	-	25.0	-	-	75.0	-	25.0

(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 57)

●外国人や留学生としたい交流は「語学講座」。続いて「意見交換会」「スポーツ交流」

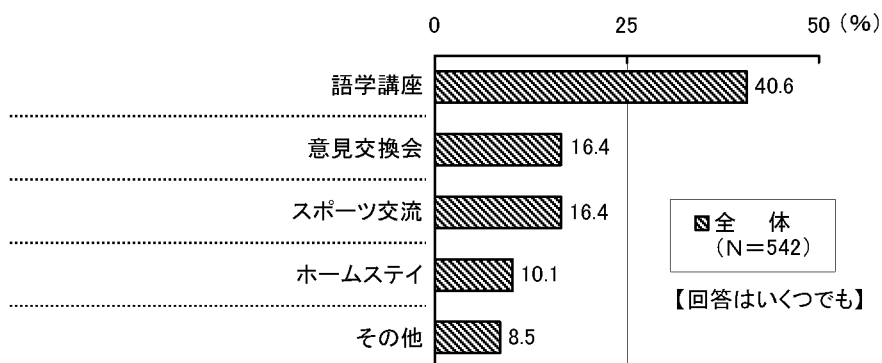
外国人や留学生としてみたい交流の内容については、「語学講座」が40.6%で最も多い。続いて「意見交換会」「スポーツ交流」がそれぞれ16.4%、「ホームステイ」が10.1%、「その他」8.5%となっている。

性別でみると、女性は「語学講座」が46.7%と男性(32.2%)に比べて高くなっている。

年代別では、20歳代、30歳代で「語学講座」が5割代後半、「スポーツ交流」が3割前後と高くなっている。

小学校区別にみると、どの校区でも「語学講座」が高くなっている。

問 57. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	意見交換	スポーツ交流	語学講座	ホームステイ	その他	無回答
全体		542	89	89	220	55	46	162
		100.0	16.4	16.4	40.6	10.1	8.5	29.9
性別	男性	227	17.2	18.1	32.2	8.4	10.1	33.5
	女性	315	15.9	15.2	46.7	11.4	7.3	27.3
年代別	20歳代	51	27.5	31.4	56.9	9.8	3.9	13.7
	30歳代	105	12.4	26.7	56.2	18.1	6.7	13.3
	40歳代	88	14.8	18.2	40.9	10.2	9.1	26.1
	50歳代	89	24.7	10.1	39.3	6.7	10.1	29.2
	60歳代	130	17.7	13.1	37.7	10.0	8.5	32.3
	70歳以上	78	5.1	3.8	15.4	3.8	11.5	62.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	63	20.6	9.5	41.3	4.8	3.2	38.1
	太宰府東小学校区	60	18.3	20.0	36.7	5.0	8.3	33.3
	太宰府南小学校区	36	16.7	19.4	41.7	8.3	8.3	30.6
	水城小学校区	98	12.2	16.3	42.9	12.2	10.2	25.5
	水城西小学校区	75	14.7	9.3	42.7	12.0	8.0	32.0
	太宰府西小学校区	77	15.6	19.5	33.8	14.3	9.1	33.8
	国分小学校区	83	16.9	20.5	42.2	9.6	9.6	26.5
	わからない	46	21.7	19.6	43.5	10.9	6.5	21.7
	無回答	4	-	-	50.0	25.0	50.0	-

25. 市民参画の推進

(1) 自治会活動への参加 (問 58)

- 自治会活動に参加しているのは約3割。
- 20歳代、30歳代は他の年代に比べて参加率が低い。

自治会活動について、「積極的に参加している」は6.6%、「どちらかと言えば参加している」は24.7%で、『参加派』は31.3%である。「参加していない」は48.9%、「どちらかと言えば参加していない」は19.2%で、『不参加派』は68.1%となっている。

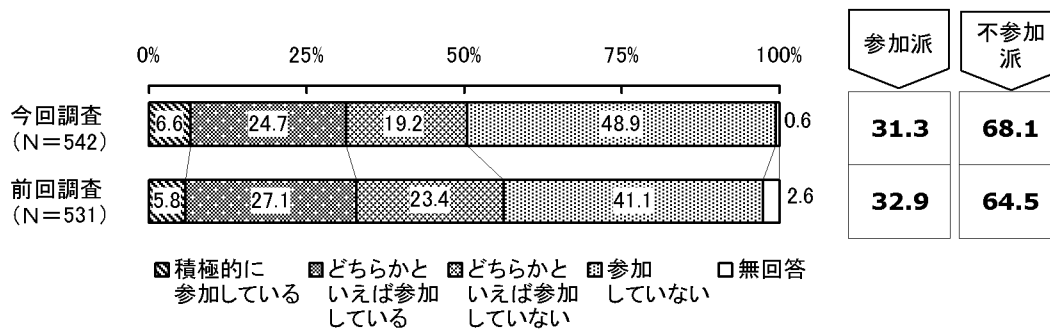
前回調査からは大きな変化はみられない。

性別にみると、『参加派』は男女で同程度となっている。

年代別にみると、60歳代で『参加派』の割合が46.1%と最も高く、40歳代では39.8%、70歳以上では37.2%となっている。年齢の低い層では『参加派』の割合は低く、30歳代では15.3%、20歳代では5.9%にとどまっている。

小学校区別では、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区で『参加派』が約4割と高く、一方水城小学校区と水城西小学校区では2割代後半と比較的低い。

問 58. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している (%)	いえどどちらかと言えば参加している (%)	いえどどちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		542	6.6	24.7	19.2	48.9	0.6	31.3	68.1
性別	男性	227	8.8	22.9	22.0	46.3	-	31.7	68.3
	女性	315	5.1	26.0	17.1	50.8	1.0	31.1	67.9
年代別	20歳代	51	-	5.9	15.7	78.4	-	5.9	94.1
	30歳代	105	4.8	10.5	12.4	72.4	-	15.3	84.8
	40歳代	88	6.8	33.0	19.3	40.9	-	39.8	60.2
	50歳代	89	6.7	22.5	23.6	47.2	-	29.2	70.8
	60歳代	130	9.2	36.9	20.0	32.3	1.5	46.1	52.3
	70歳以上	78	9.0	28.2	24.4	37.2	1.3	37.2	61.6
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	6.3	30.2	14.3	49.2	-	36.5	63.5
	太宰府東小学校区	60	3.3	33.3	28.3	35.0	-	36.6	63.3
	太宰府南小学校区	36	8.3	33.3	19.4	38.9	-	41.6	58.3
	水城小学校区	98	6.1	19.4	16.3	57.1	1.0	25.5	73.4
	水城西小学校区	75	5.3	22.7	16.0	56.0	-	28.0	72.0
	太宰府西小学校区	77	13.0	27.3	22.1	36.4	1.3	40.3	58.5
	国分小学校区	83	8.4	26.5	19.3	44.6	1.2	34.9	63.9
	わからない	46	-	6.5	21.7	71.7	-	6.5	93.4
無回答	4	-	25.0	-	75.0	-	25.0	75.0	

(2) ボランティア活動への参加 (問 59)

- ボランティア活動に参加しているのは 13.8%。『不参加派』が 85% を占める。
- 60 歳代以上では 2 割弱がボランティア活動に参加。

ボランティア活動に「積極的に参加している」は 4.8%、「どちらかと言えば参加している」は 9.0% で、『参加派』は 13.8%、「参加していない」は 72.7%、「どちらかと言えば参加していない」は 12.5% で、『不参加派』は 85.2% である。

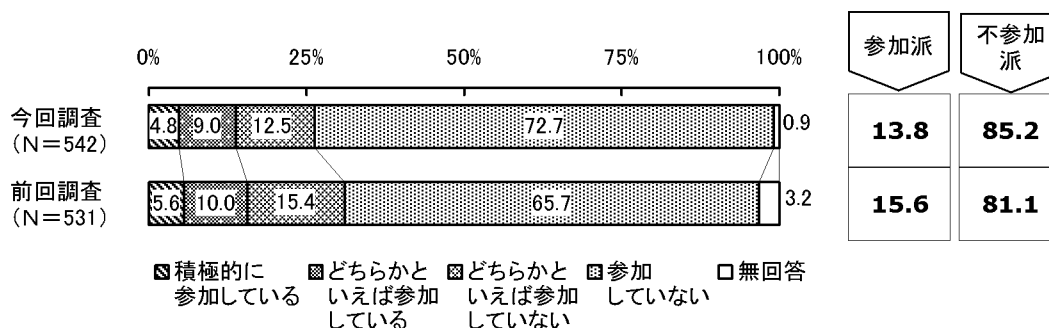
前回調査と比較すると、『不参加派』が 4.1 ポイント増加している。

性別でみると、男性は『参加派』が 16.7% で、女性 (11.7%) に比べて 5 ポイント高い。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』の割合が高く、60 歳以上では 2 割近くが参加している。一方、20 歳代、30 歳代は『参加派』の割合がそれぞれ 5.9%、7.6% と低くなっている。

小学校区別では、水城小学校区と国分小学校区で『参加派』の割合が比較的高くなっている。

問 59. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は 1 つ)



		標本数	積極的に参加している (%)	どちらかと言えば参加している (%)	どちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		542	4.8	9.0	12.5	72.7	0.9	13.8	85.2
性別	男性	227	5.7	11.0	15.9	67.0	0.4	16.7	82.9
	女性	315	4.1	7.6	10.2	76.8	1.3	11.7	87.0
年代別	20歳代	51	3.9	2.0	3.9	90.2	-	5.9	94.1
	30歳代	105	3.8	3.8	5.7	84.8	1.9	7.6	90.5
	40歳代	88	5.7	10.2	11.4	72.7	-	15.9	84.1
	50歳代	89	1.1	10.1	15.7	73.0	-	11.2	88.7
	60歳代	130	7.7	10.8	20.0	60.0	1.5	18.5	80.0
	70歳以上	78	5.1	14.1	12.8	66.7	1.3	19.2	79.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	7.9	6.3	12.7	73.0	-	14.2	85.7
	太宰府東小学校区	60	1.7	11.7	13.3	73.3	-	13.4	86.6
	太宰府南小学校区	36	2.8	11.1	13.9	72.2	-	13.9	86.1
	水城小学校区	98	9.2	8.2	9.2	72.4	1.0	17.4	81.6
	水城西小学校区	75	2.7	8.0	9.3	80.0	-	10.7	89.3
	太宰府西小学校区	77	3.9	11.7	24.7	57.1	2.6	15.6	81.8
	国分小学校区	83	6.0	13.3	10.8	67.5	2.4	19.3	78.3
	わからない	46	-	-	6.5	93.5	-	-	100.0
無回答	4	-	-	-	100.0	-	-	100.0	

第4節 行政サービスについて

1. 情報の共有化と活用

(1) 市民と行政の情報の共有（問 60）

●市民と行政の情報の共有ができていないかについて約3分の2は否定的。
 ●前回調査より『否定派』の割合が増加。

市民と行政の情報の共有ができていないかについては、「そう思う」が5.0%、「どちらかと言えばそう思う」が25.6%で、『肯定派』は30.6%である。一方、「そう思わない」は24.7%、「どちらかと言えばそう思わない」は40.8%で、『否定派』が65.5%に上る。

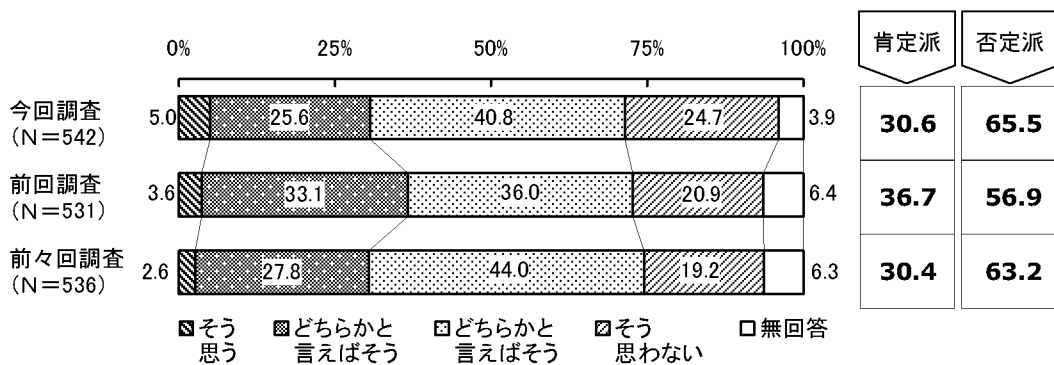
経年比較でみると、前回調査より『否定派』が8.6ポイント増加している。

性別では、女性は『肯定派』の割合が男性より4.9ポイント低い。

年代別にみると、60歳以上では『肯定派』が3割台半ばで比較的高いが、20歳代では約2割と低くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区と太宰府小学校区は『肯定派』が約4割で比較的高く、一方国分小学校区と水城西小学校区は約2割と低い。

問 60. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	思言ど うえち らばそ うかと	思言ど わえち らばそ うかと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		542	5.0	25.6	40.8	24.7	3.9	30.6	65.5
性別	男性	227	7.5	26.0	40.5	22.9	3.1	33.5	63.4
	女性	315	3.2	25.4	41.0	26.0	4.4	28.6	67.0
年代別	20歳代	51	5.9	15.7	47.1	27.5	3.9	21.6	74.6
	30歳代	105	2.9	23.8	38.1	31.4	3.8	26.7	69.5
	40歳代	88	-	31.8	46.6	17.0	4.5	31.8	63.6
	50歳代	89	9.0	18.0	44.9	27.0	1.1	27.0	71.9
	60歳代	130	3.8	32.3	33.8	26.2	3.8	36.1	60.0
	70歳以上	78	10.3	25.6	41.0	17.9	5.1	35.9	58.9
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	6.3	33.3	33.3	20.6	6.3	39.6	53.9
	太宰府東小学校区	60	5.0	23.3	43.3	26.7	1.7	28.3	70.0
	太宰府南小学校区	36	8.3	27.8	38.9	19.4	5.6	36.1	58.3
	水城小学校区	98	9.2	30.6	37.8	19.4	3.1	39.8	57.2
	水城西小学校区	75	2.7	20.0	44.0	28.0	5.3	22.7	72.0
	太宰府西小学校区	77	6.5	26.0	40.3	23.4	3.9	32.5	63.7
	国分小学校区	83	-	21.7	44.6	28.9	4.8	21.7	73.5
	わからない	46	2.2	23.9	43.5	30.4	-	26.1	73.9
無回答	4	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	

(2) 広報広聴機能の充実 (問 61)

「広報だざいふ」

- 「広報だざいふ」の閲読率は9割近くに上る。
- 20歳代の閲読率が目立って低い。

「広報だざいふ」について、「いつも読んでいる」が57.0%、「たまに読んでいる」が30.8%で、これらを合わせた『閲読率』は87.8%と9割近くに上っている。「ほとんど読まない」は3.7%、「読まない」は7.6%である。

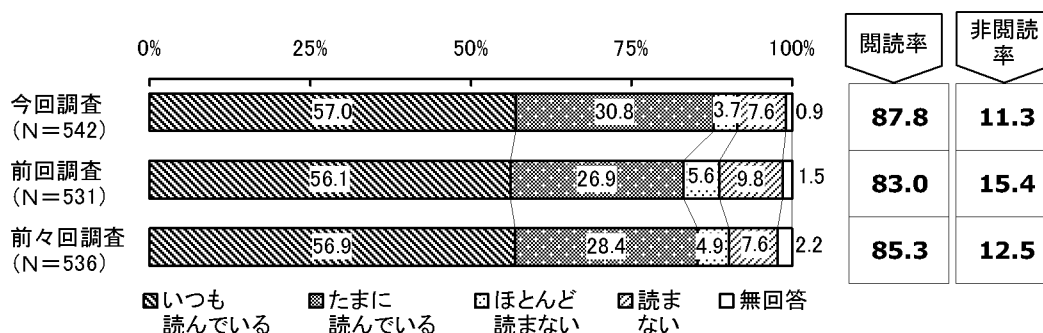
経年比較でみると、前回調査に比べて『閲読率』が4.8ポイント増加している。

性別でみると、女性は「いつも読んでいる」が62.2%で、男性の49.8%を大幅に上回っている。しかし、「たまに読んでいる」を合わせた『閲読率』は女性89.5%、男性85.5%に上る。

年代別にみると、『閲読率』は30歳代以上ではいずれも9割前後に上っているが、40歳代、50歳代は「いつも読んでいる」の割合がそれぞれ45.5%、50.6%と比較的低くなっている。また、20歳代は『閲読率』が約7割、「いつも読んでいる」も35.3%と、他の年代に比べて目立って低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校は『閲読率』が76.2%と低くなっている。

問 61. あなたは「広報だざいふ」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		542	309	167	20	41	5	476	61
		100.0	57.0	30.8	3.7	7.6	0.9	87.8	11.3
性別	男性	227	49.8	35.7	4.4	9.3	0.9	85.5	13.7
	女性	315	62.2	27.3	3.2	6.3	1.0	89.5	9.5
年代別	20歳代	51	35.3	35.3	7.8	19.6	2.0	70.6	27.4
	30歳代	105	61.0	30.5	1.9	6.7	-	91.5	8.6
	40歳代	88	45.5	42.0	2.3	9.1	1.1	87.5	11.4
	50歳代	89	50.6	37.1	4.5	7.9	-	87.7	12.4
	60歳代	130	69.2	20.8	4.6	3.8	1.5	90.0	8.4
	70歳以上	78	65.4	25.6	2.6	5.1	1.3	91.0	7.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	50.8	25.4	7.9	14.3	1.6	76.2	22.2
	太宰府東小学校区	60	60.0	28.3	1.7	10.0	-	88.3	11.7
	太宰府南小学校区	36	52.8	33.3	5.6	8.3	-	86.1	13.9
	水城小学校区	98	64.3	26.5	3.1	4.1	2.0	90.8	7.2
	水城西小学校区	75	58.7	32.0	1.3	8.0	-	90.7	9.3
	太宰府西小学校区	77	57.1	33.8	3.9	2.6	2.6	90.9	6.5
	国分小学校区	83	57.8	33.7	3.6	4.8	-	91.5	8.4
	わからない	46	41.3	39.1	4.3	15.2	-	80.4	19.5
	無回答	4	100.0	-	-	-	-	100.0	-

「議会だより」

- 「議会だより」の閲読率は6割弱。
- 20歳代で読んでいる人は約4人に1人とどまる。

「議会だより」については、「いつも読んでいる」は21.0%、「たまに読んでいる」は37.6%で、『閲読率』は58.6%である。「ほとんど読まない」は18.6%、「読まない」は19.7%である。

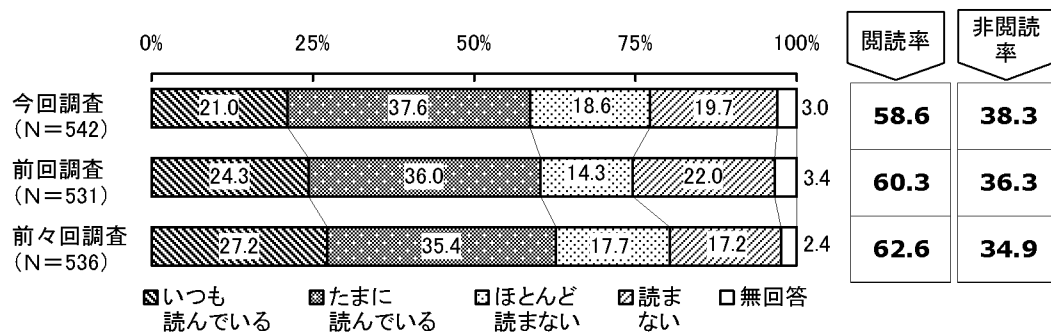
経年比較でみると、『閲読率』は減少傾向となっており、「いつも読んでいる」割合が前々回、前回から今回調査と毎回減少している。

性別でみると、全体の『閲読率』では男女で大きな差はないが、「いつも読んでいる」は男性が女性より3.9ポイント高くなっている。

年代別では、50歳以上は「いつも読んでいる」が3割近くを占めているが、30歳代、40歳代では1割台、20歳代は3.9%と、年齢が低い層ではあまり読まれていない。「たまに読んでいる」を合わせた『閲読率』でみても、50歳以上は6割台前半から7割に上るが、30歳代は約5割、20歳代は2割台半ばと特に20歳代で低くなっている。

小学校区別では、太宰府小学校区、水城西小学校区、太宰府南小学校区で他の校区に比べて『閲読率』がやや低い。

問 61. あなたは「太宰府市議会だより」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		542	114	204	101	107	16	58.6	38.3
性別	男性	227	23.3	36.1	15.0	23.3	2.2	59.4	38.3
	女性	315	19.4	38.7	21.3	17.1	3.5	58.1	38.4
年代別	20歳代	51	3.9	21.6	19.6	52.9	2.0	25.5	72.5
	30歳代	105	14.3	35.2	23.8	26.7	-	49.5	50.5
	40歳代	88	13.6	43.2	21.6	19.3	2.3	56.8	40.9
	50歳代	89	29.2	34.8	14.6	19.1	2.2	64.0	33.7
	60歳代	130	28.5	41.5	17.7	8.5	3.8	70.0	26.2
	70歳以上	78	28.2	41.0	14.1	9.0	7.7	69.2	23.1
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	23.8	28.6	20.6	23.8	3.2	52.4	44.4
	太宰府東小学校区	60	30.0	38.3	8.3	23.3	-	68.3	31.6
	太宰府南小学校区	36	22.2	36.1	22.2	19.4	-	58.3	41.6
	水城小学校区	98	17.3	45.9	17.3	14.3	5.1	63.2	31.6
	水城西小学校区	75	16.0	37.3	24.0	18.7	4.0	53.3	42.7
	太宰府西小学校区	77	20.8	44.2	19.5	10.4	5.2	65.0	29.9
	国分小学校区	83	20.5	39.8	21.7	16.9	1.2	60.3	38.6
	わからない	46	21.7	21.7	10.9	45.7	-	43.4	56.6
	無回答	4	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0	50.0

「太宰府市ホームページ」

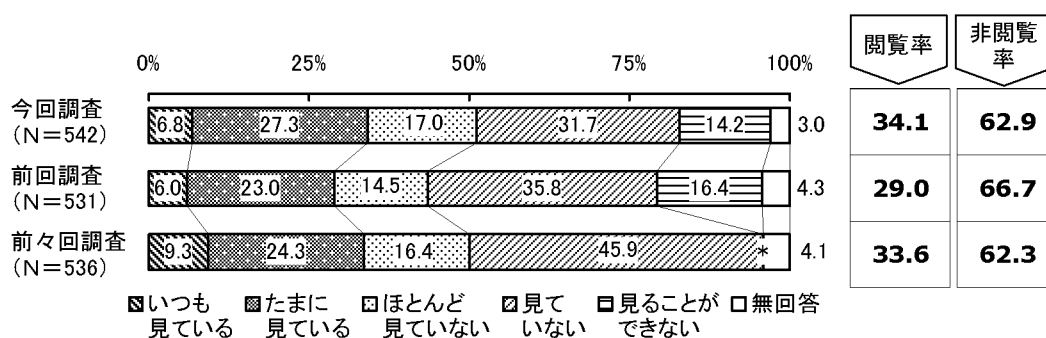
- 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は34.1%。
- 紙媒体に比べると、年代による閲覧率の差は小さい。

「太宰府市ホームページ」については、「いつも見ている」は6.8%、「たまに見ている」は27.3%で、閲覧しているのは約3人に1人で、紙媒体に比べると閲覧率は低くなっている。「ほとんど見ていない」は17.0%、「見ていない」は31.7%、「見るのができない」は14.2%である。

経年比較でみると、前回調査より『閲覧率』が5.1ポイント上昇している。

年代別では、60歳以上の閲覧率が比較的高くなっているが、他の年代も3割前後であり、紙媒体に比べると年代による閲覧率の差は小さい。また、60歳以上では「見るのができない」が約2割で、他の年代に比べてやや高くなっている。

問 61. あなたは「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○は1つ)



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	見るのができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		542	37	148	92	172	77	16	185	341
性別	男性	227	7.0	25.1	18.5	33.0	13.7	2.6	32.1	65.2
	女性	315	6.7	28.9	15.9	30.8	14.6	3.2	35.6	61.3
年代別	20歳代	51	2.0	27.5	15.7	43.1	11.8	-	29.5	70.6
	30歳代	105	3.8	28.6	21.9	37.1	8.6	-	32.4	67.6
	40歳代	88	2.3	30.7	20.5	36.4	9.1	1.1	33.0	66.0
	50歳代	89	5.6	24.7	21.3	30.3	15.7	2.2	30.3	67.3
	60歳代	130	9.2	27.7	12.3	28.5	18.5	3.8	36.9	59.3
	70歳以上	78	15.4	24.4	10.3	19.2	20.5	10.3	39.8	50.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	11.1	19.0	20.6	28.6	17.5	3.2	30.1	66.7
	太宰府東小学校区	60	8.3	26.7	13.3	35.0	16.7	-	35.0	65.0
	太宰府南小学校区	36	8.3	27.8	19.4	30.6	11.1	2.8	36.1	61.1
	水城小学校区	98	5.1	34.7	16.3	30.6	8.2	5.1	39.8	55.1
	水城西小学校区	75	5.3	26.7	20.0	33.3	10.7	4.0	32.0	64.0
	太宰府西小学校区	77	3.9	32.5	19.5	24.7	15.6	3.9	36.4	59.8
	国分小学校区	83	7.2	28.9	12.0	33.7	16.9	1.2	36.1	62.6
	わからない	46	6.5	13.0	17.4	41.3	21.7	-	19.5	80.4
無回答	4	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	50.0	25.0	

(3) 情報公開・提供に対する意識 (問 62)

●約6割が市の情報公開について肯定的に評価。
 ●男性は女性に比べて『肯定派』の割合が低い。

市が積極的に情報公開をしているかという質問に対しては、「そう思う」7.0%、「どちらかと言えばそう思う」53.1%で、これらを合わせた『肯定派』が60.1%に上る。「そう思わない」は11.6%、「どちらかと言えばそう思わない」は23.8%で、これらを合わせた『否定派』は35.4%である。

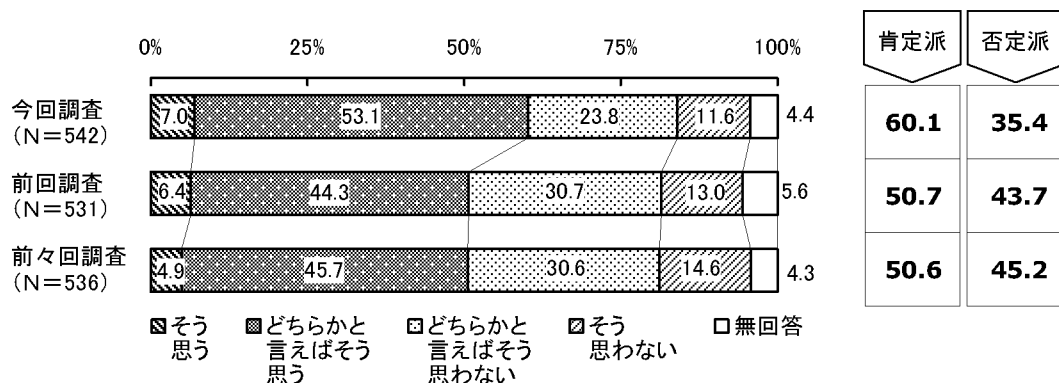
経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が9.4ポイント増加しており、情報公開に対する評価が向上していることがうかがえる。

性別でみると、『肯定派』は男性54.2%、女性64.4%、一方『否定派』は男性43.1%、女性29.8%となっており、男性の方が厳しい評価となっている。

年代別にみると、40歳以下の年齢層では『肯定派』が6割台を占めるが、50歳以上では5割台となっており、年齢の低い層の方がやや肯定的な見方をしている。

小学校区別では、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区で『肯定派』がやや低い。

問 62. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		542	38	288	129	63	24	326	192
		100.0	7.0	53.1	23.8	11.6	4.4	60.1	35.4
性別	男性	227	5.7	48.5	30.8	12.3	2.6	54.2	43.1
	女性	315	7.9	56.5	18.7	11.1	5.7	64.4	29.8
年代別	20歳代	51	11.8	51.0	23.5	7.8	5.9	62.8	31.3
	30歳代	105	4.8	60.0	18.1	14.3	2.9	64.8	32.4
	40歳代	88	6.8	58.0	23.9	8.0	3.4	64.8	31.9
	50歳代	89	9.0	49.4	24.7	16.9	-	58.4	41.6
	60歳代	130	5.4	50.0	27.7	10.8	6.2	55.4	38.5
	70歳以上	78	7.7	50.0	24.4	10.3	7.7	57.7	34.7
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	7.9	58.7	15.9	9.5	7.9	66.6	25.4
	太宰府東小学校区	60	1.7	43.3	36.7	16.7	1.7	45.0	53.4
	太宰府南小学校区	36	13.9	36.1	27.8	13.9	8.3	50.0	41.7
	水城小学校区	98	13.3	54.1	21.4	6.1	5.1	67.4	27.5
	水城西小学校区	75	5.3	53.3	26.7	12.0	2.7	58.6	38.7
	太宰府西小学校区	77	5.2	62.3	15.6	11.7	5.2	67.5	27.3
	国分小学校区	83	1.2	60.2	21.7	12.0	4.8	61.4	33.7
	わからない	46	8.7	41.3	32.6	17.4	-	50.0	50.0
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(4) パソコンの有無 (問 63)

- パソコンの本人または家族の所有率は約8割に上る。
- 年齢が高いほど所有率が低くなる傾向にあり、70歳以上は5割弱が「持っていない」。

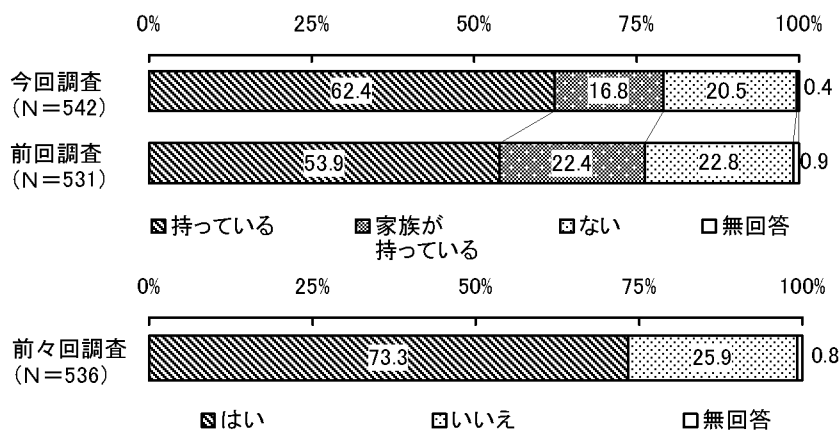
パソコンの所有については、「持っている」が62.4%、「家族が持っている」が16.8%で、本人または家族がパソコンを所有している人が約8割に上る。「ない」は20.5%である。

経年比較でみると、前回調査より「持っている」が8.5ポイント増加している。一方で、「家族が持っている」が5.6ポイント低下しており、全体の所有率の増加はわずかである。

性別にみると、「持っている」は男性72.7%、女性54.9%で、性別による所有率の差が大きい。また、「家族が持っている」は男性7.9%に対し、女性23.2%となっている。

年代別にみると、30歳代、40歳代は8割以上が「持っている」と回答しているが、50歳以上では年齢が高くなるほど所有率が低下する。60歳代では「家族が持っている」が27.7%と高くなっており、本人または家族による所有の合計は約4分3に上るが、70歳以上では「ない」が46.2%と高くなっている。

問 63. あなたはパソコンを持っていますか。(〇は1つ)



		標本数	持っている	家族が持っている	ない	無回答
全体		542	338	91	111	2
性別	男性	227	72.7	7.9	18.9	0.4
	女性	315	54.9	23.2	21.6	0.3
年代別	20歳代	51	74.5	15.7	9.8	-
	30歳代	105	80.0	9.5	10.5	-
	40歳代	88	83.0	8.0	9.1	-
	50歳代	89	66.3	14.6	19.1	-
	60歳代	130	46.2	27.7	25.4	0.8
	70歳以上	78	30.8	21.8	46.2	1.3
	無回答	1	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	60.3	17.5	22.2	-
	太宰府東小学校区	60	60.0	23.3	16.7	-
	太宰府南小学校区	36	47.2	22.2	30.6	-
	水城小学校区	98	69.4	14.3	15.3	1.0
	水城西小学校区	75	60.0	14.7	25.3	-
	太宰府西小学校区	77	63.6	20.8	15.6	-
	国分小学校区	83	62.7	12.0	25.3	-
	わからない	46	69.6	10.9	19.6	-
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0

(5) パソコンのインターネット利用の有無 (問 63 付問 1)

●パソコンでのインターネット利用率は8割以上で前回調査からほとんど変化なし。
 ●年齢が高くなるほど利用率が低下する。

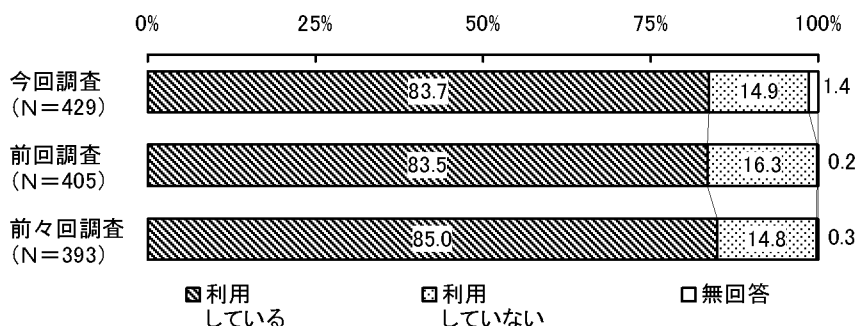
パソコンでのインターネットは、「利用している」が83.7%、「利用していない」が14.9%で、8割以上が利用している。

経年比較でみると、前回調査からほとんど変化はみられない。

性別でみると、男性は「利用している」(86.9%)が女性(81.3%)より5.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、40歳代以下では利用率は9割以上に上るが、50歳代では83.3%、60歳代では75.0%、70歳以上では43.9%となっており、年齢が高くなるほど利用率は低下する傾向にある。

問 63 付問 1【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		429	83.7	14.9	1.4
性別	男性	183	86.9	12.6	0.5
	女性	246	81.3	16.7	2.0
年代別	20歳代	46	91.3	8.7	-
	30歳代	94	96.8	2.1	1.1
	40歳代	80	95.0	5.0	-
	50歳代	72	83.3	15.3	1.4
	60歳代	96	75.0	22.9	2.1
	70歳以上	41	43.9	51.2	4.9
	小学校区別	太宰府小学校区	49	89.8	8.2
太宰府東小学校区		50	84.0	16.0	-
太宰府南小学校区		25	60.0	40.0	-
水城小学校区		82	80.5	14.6	4.9
水城西小学校区		56	91.1	8.9	-
太宰府西小学校区		65	75.4	24.6	-
国分小学校区		62	90.3	8.1	1.6
わからない		37	89.2	10.8	-
無回答		3	100.0	-	-

(6) 携帯電話の有無 (問 64)

- 約9割が携帯電話を所有している。
- 40歳代以下ではほぼ100%が所有。

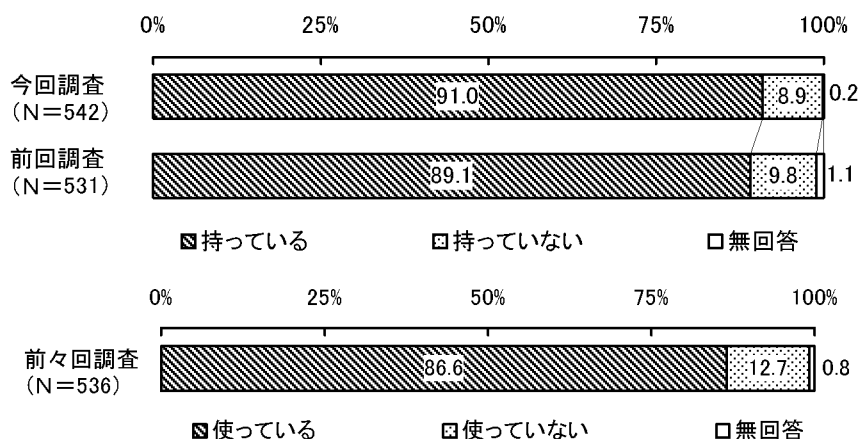
携帯電話を「持っている」は91.0%、「持っていない」は8.9%で、9割以上が携帯電話を所有している。

経年比較でみると、前回調査から大きな変化はみられない。

性別では、男女ともに約9割が携帯電話を所有しており差はみられない。

年代別でみると、30歳代、40歳代は100%、20歳代も98.0%とほぼ全員が携帯電話を持っている。50歳代、60歳代でも9割弱から9割台半ばが持っているが、70歳以上では「持っている」は64.1%と他の年代に比べて低くなっている。

問 64. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)



		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		542	91.0	8.9	0.2
性別	男性	227	91.6	8.4	-
	女性	315	90.5	9.2	0.3
年代別	20歳代	51	98.0	2.0	-
	30歳代	105	100.0	-	-
	40歳代	88	100.0	-	-
	50歳代	89	94.4	5.6	-
	60歳代	130	89.2	10.8	-
	70歳以上	78	64.1	34.6	1.3
	無回答	1	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	87.3	12.7	-
	太宰府東小学校区	60	86.7	13.3	-
	太宰府南小学校区	36	72.2	27.8	-
	水城小学校区	98	95.9	3.1	1.0
	水城西小学校区	75	94.7	5.3	-
	太宰府西小学校区	77	92.2	7.8	-
	国分小学校区	83	92.8	7.2	-
	わからない	46	95.7	4.3	-
	無回答	4	75.0	25.0	-

(7) 携帯のインターネット利用の有無 (問 64 付問 1)

- 携帯電話でのインターネットを「利用している」は約 4 割。
- 20 歳代では 8 割以上、30 歳代では 6 割以上が利用している。

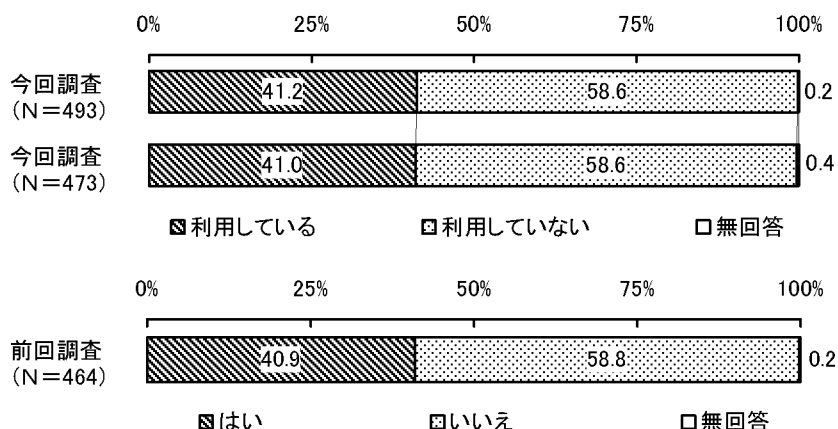
携帯電話でのインターネットの利用については、「利用している」が 41.2%、「利用していない」が 58.6%で、パソコンでの利用に比べると、利用率は低い。

経年比較でみると、前回調査から利用率にほとんど変化はみられない。

性別では、男女同程度の利用率である。

年代別にみると、年齢が低くなるほど利用率が高くなる傾向が顕著にみられ、20 歳代では 82.0%、30 歳代では 63.8%、40 歳代でも 54.5%が利用しているが、50 歳代以上では利用率が大幅に低下し、2 割台から 1 割台になる。

問 64 付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は 1 つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		493	41.2	58.6	0.2
性別	男性	208	41.8	57.7	0.5
	女性	285	40.7	59.3	-
年代別	20歳代	50	82.0	18.0	-
	30歳代	105	63.8	36.2	-
	40歳代	88	54.5	45.5	-
	50歳代	84	23.8	76.2	-
	60歳代	116	18.1	81.9	-
	70歳以上	50	12.0	86.0	2.0
	小学校区別	太宰府小学校区	55	47.3	52.7
太宰府東小学校区		52	40.4	59.6	-
太宰府南小学校区		26	15.4	84.6	-
水城小学校区		94	43.6	55.3	1.1
水城西小学校区		71	47.9	52.1	-
太宰府西小学校区		71	36.6	63.4	-
国分小学校区		77	37.7	62.3	-
わからない		44	45.5	54.5	-
無回答		3	66.7	33.3	-

2. 市民のための行政運営

(1) 行財政改革 (問 65)

●効果的な行政運営については『肯定派』(48.5%)と『否定派』(45.6%)が拮抗。

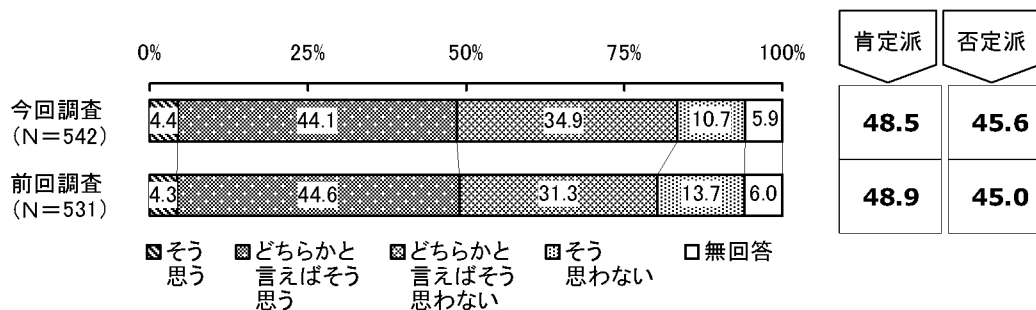
太宰府市が効果的に行政運営を行っているかについては、「そう思う」が4.4%、「どちらかと言えばそう思う」が44.1%で、これらを合わせた『肯定派』が48.5%、「そう思わない」が10.7%、「どちらかと言えばそう思わない」が34.9%で、これらを合わせた『否定派』が45.6%であり、『肯定派』がわずかに上回っている。

性別でみると、『肯定派』の割合には男女で大きな差はないが、『否定派』は男性(50.2%)が女性(42.2%)よりも8ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代と50歳代で『肯定派』の割合が低くなっており、4割前後にとどまっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では『肯定派』が33.3%と目立って低くなっている。一方、水城小学校区では『肯定派』が6割を超えている。

問 65. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		542 100.0	24 4.4	239 44.1	189 34.9	58 10.7	32 5.9	263 48.5	247 45.6
性別	男性	227	4.4	43.2	37.0	13.2	2.2	47.6	50.2
	女性	315	4.4	44.8	33.3	8.9	8.6	49.2	42.2
年代別	20歳代	51	3.9	35.3	47.1	7.8	5.9	39.2	54.9
	30歳代	105	2.9	49.5	35.2	11.4	1.0	52.4	46.6
	40歳代	88	2.3	46.6	38.6	6.8	5.7	48.9	45.4
	50歳代	89	3.4	39.3	36.0	14.6	6.7	42.7	50.6
	60歳代	130	4.6	44.6	33.1	11.5	6.2	49.2	44.6
	70歳以上	78	10.3	43.6	24.4	10.3	11.5	53.9	34.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	4.8	44.4	36.5	9.5	4.8	49.2	46.0
	太宰府東小学校区	60	3.3	30.0	43.3	20.0	3.3	33.3	63.3
	太宰府南小学校区	36	8.3	44.4	30.6	8.3	8.3	52.7	38.9
	水城小学校区	98	7.1	54.1	25.5	6.1	7.1	61.2	31.6
	水城西小学校区	75	2.7	45.3	34.7	9.3	8.0	48.0	44.0
	太宰府西小学校区	77	6.5	44.2	31.2	11.7	6.5	50.7	42.9
	国分小学校区	83	1.2	44.6	36.1	10.8	7.2	45.8	46.9
	わからない	46	2.2	39.1	45.7	13.0	-	41.3	58.7
	無回答	4	-	25.0	75.0	-	-	25.0	75.0

(2) 市職員の応対や行動などに対する満足度 (問 66)

●市職員の仕事への取り組みについては約6割が満足。
 ●年齢の高い層で満足度が比較的高い。

市職員の応対や行動などの仕事への取り組みに対しては、「満足している」が8.7%、「ある程度満足している」が51.8%で、この2つを合わせた『満足派』は60.5%である。「満足していない」は11.1%、「あまり満足していない」は24.4%で、これらを合わせた『不満派』の割合は35.5%となっており、『満足派』が『不満派』を25ポイント上回っている。

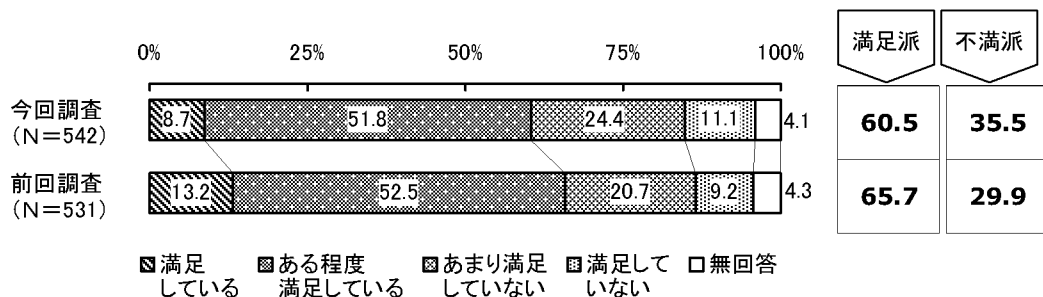
経年比較でみると、前回調査よりも『満足派』が5.2ポイント減少しており、満足度が低下している。

性別でみると、『肯定派』の割合には男女で大きな差はみられない。

年代別でみると、年齢が高い層ほど満足の度合いが高まる傾向がみられ、70歳以上では『満足派』が73.1%、60歳代では65.4%となっている。一方、20歳代では『満足派』が49.0%、『不満派』が47.1%で拮抗している。

小学校区別にみると、『満足派』の割合が相対的に低いのは国分小学校区(53.0%)水城西小学校区(53.4%)と太宰府東小学校区(55.0%)であり、5割台半ばにとどまっている。『満足派』の割合が比較的高いのは太宰府南小学校区(69.5%)、水城小学校区(67.4%)、太宰府小学校区(66.7%)である。

問 66. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、満足していますか。(○は1つ)



		標本数	満足している (%)	ある程度満足している (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		542	8.7	51.8	24.4	11.1	4.1	60.5	35.5
性別	男性	227	7.9	52.0	27.3	10.1	2.6	59.9	37.4
	女性	315	9.2	51.7	22.2	11.7	5.1	60.9	33.9
年代別	20歳代	51	3.9	45.1	31.4	15.7	3.9	49.0	47.1
	30歳代	105	6.7	50.5	24.8	14.3	3.8	57.2	39.1
	40歳代	88	5.7	48.9	27.3	13.6	4.5	54.6	40.9
	50歳代	89	6.7	51.7	27.0	9.0	5.6	58.4	36.0
	60歳代	130	7.7	57.7	23.1	9.2	2.3	65.4	32.3
	70歳以上	78	21.8	51.3	15.4	6.4	5.1	73.1	21.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	11.1	55.6	19.0	9.5	4.8	66.7	28.5
	太宰府東小学校区	60	8.3	46.7	31.7	11.7	1.7	55.0	43.4
	太宰府南小学校区	36	13.9	55.6	16.7	8.3	5.6	69.5	25.0
	水城小学校区	98	13.3	54.1	17.3	11.2	4.1	67.4	28.5
	水城西小学校区	75	2.7	50.7	28.0	10.7	8.0	53.4	38.7
	太宰府西小学校区	77	9.1	53.2	20.8	13.0	3.9	62.3	33.8
	国分小学校区	83	4.8	48.2	33.7	10.8	2.4	53.0	44.5
	わからない	46	6.5	52.2	26.1	13.0	2.2	58.7	39.1
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0

(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 67)

●過去1年間の市役所窓口の利用率は8割以上。

過去1年間での市役所の窓口の利用の有無については、「はい」が81.5%、「いいえ」が16.8%で、8割以上がこの1年に窓口を利用している。

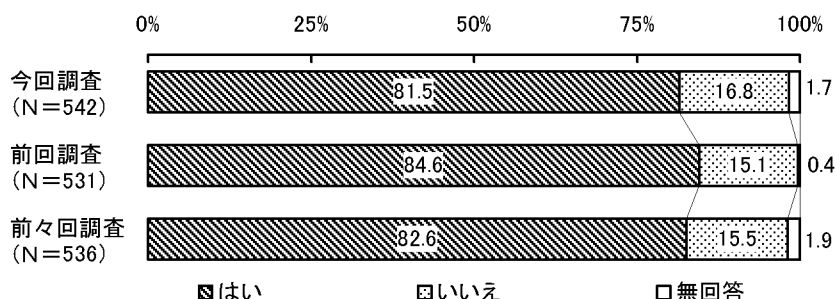
経年比較でみると、過去1年間での市役所の窓口の利用は、前回調査から3.1ポイント減少している。

性別でみると、男女ともに「はい」が8割を超えており、大きな差はみられない。

年代別にみると、利用率が相対的に低いのは40歳代(75.0%)と70歳以上(76.9%)である。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区は「はい」が71.7%で、市役所窓口の利用率が他の校区に比べて低くなっている。また、水城西小学校区も比較的利用率が低い(76.0%)。一方、窓口の利用率が高いのは国分小学校区(88.0%)である。

問 67. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		542	81.5	16.8	1.7
性別	男性	227	80.2	17.6	2.2
	女性	315	82.5	16.2	1.3
年代別	20歳代	51	82.4	17.6	-
	30歳代	105	81.9	18.1	-
	40歳代	88	75.0	25.0	-
	50歳代	89	86.5	13.5	-
	60歳代	130	84.6	13.1	2.3
	70歳以上	78	76.9	15.4	7.7
	無回答	1	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	81.0	17.5	1.6
	太宰府東小学校区	60	71.7	23.3	5.0
	太宰府南小学校区	36	83.3	16.7	-
	水城小学校区	98	80.6	18.4	1.0
	水城西小学校区	75	76.0	22.7	1.3
	太宰府西小学校区	77	85.7	11.7	2.6
	国分小学校区	83	88.0	10.8	1.2
	わからない	46	84.8	15.2	-
無回答	4	100.0	-	-	

(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 67 付問 1)

●窓口の事務処理は『迅速だった』が8割近くを占めている。

市役所を利用した人(442人)に窓口の事務処理についてたずねたところ、「とても迅速だった」(20.8%)、「どちらかと言えば迅速だった」(57.7%)を合わせた『満足派』は78.5%で、8割近くの人が窓口での事務処理が迅速だったと感じている。一方、「とても遅かった」(2.7%)、「どちらかと言えば遅かった」(15.2%)を合わせた『不満派』は17.9%であった。

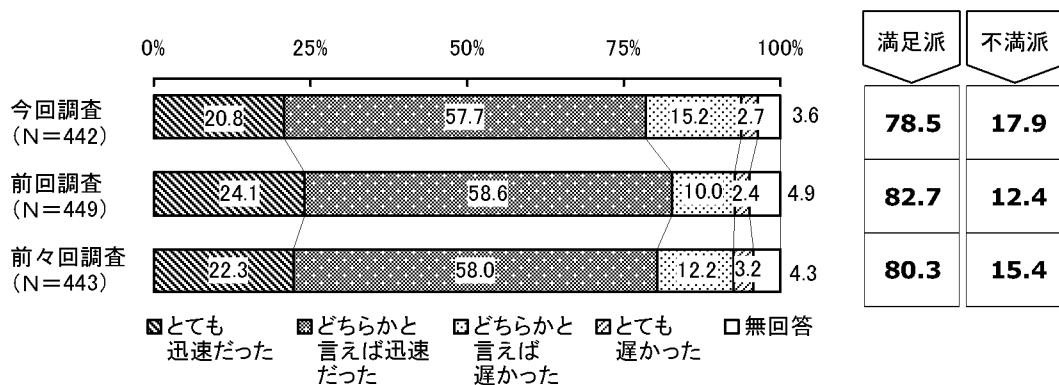
経年比較でみると、前回調査に比べて『満足派』が4.2ポイント減少し、『不満派』が5.5ポイント増加しており、わずかに満足の度合いが低下している。

性別にみると、『満足派』は男性の方がやや高くなっている。

年代別にみると、『満足派』は20歳代(83.3%)と70歳以上(85.0%)でやや高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』の割合が相対的に低いのは太宰府南小学校区(73.4%)、太宰府東小学校区(76.7%)、水城西小学校区(77.2%)である。

問 67 付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。(〇は1つ)



		標本数	とても迅速	どちらかと言えば迅速	どちらかと言えば遅	とても遅	無回答	満足派	不満派
全体		442	92	255	67	12	16	347	79
		100.0	20.8	57.7	15.2	2.7	3.6	78.5	17.9
性別	男性	182	22.5	57.7	14.3	2.2	3.3	80.2	16.5
	女性	260	19.6	57.7	15.8	3.1	3.8	77.3	18.9
年代別	20歳代	42	14.3	69.0	14.3	2.4	-	83.3	16.7
	30歳代	86	14.0	61.6	16.3	4.7	3.5	75.6	21.0
	40歳代	66	19.7	57.6	18.2	3.0	1.5	77.3	21.2
	50歳代	77	26.0	48.1	15.6	1.3	9.1	74.1	16.9
	60歳代	110	18.2	60.9	16.4	0.9	3.6	79.1	17.3
	70歳以上	60	35.0	50.0	8.3	5.0	1.7	85.0	13.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	51	21.6	62.7	9.8	5.9	-	84.3	15.7
	太宰府東小学校区	43	20.9	55.8	9.3	4.7	9.3	76.7	14.0
	太宰府南小学校区	30	26.7	46.7	16.7	3.3	6.7	73.4	20.0
	水城西小学校区	79	30.4	50.6	16.5	1.3	1.3	81.0	17.8
	水城西小学校区	57	12.3	64.9	17.5	1.8	3.5	77.2	19.3
	太宰府西小学校区	66	25.8	53.0	16.7	-	4.5	78.8	16.7
	国分小学校区	73	11.0	68.5	13.7	4.1	2.7	79.5	17.8
	わからない	39	15.4	53.8	23.1	2.6	5.1	69.2	25.7
無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 67 付問 2)

●窓口での職員の対応に『満足』が約4分の3を占める。

窓口での職員の対応について、「とても満足した」が17.0%で、「どちらかと言えば満足した」(58.1%)を合わせた『満足派』は75.1%に上る。「とても不満だった」(4.5%)、「どちらかと言えば不満だった」(16.5%)を合わせた『不満派』は21.0%である。

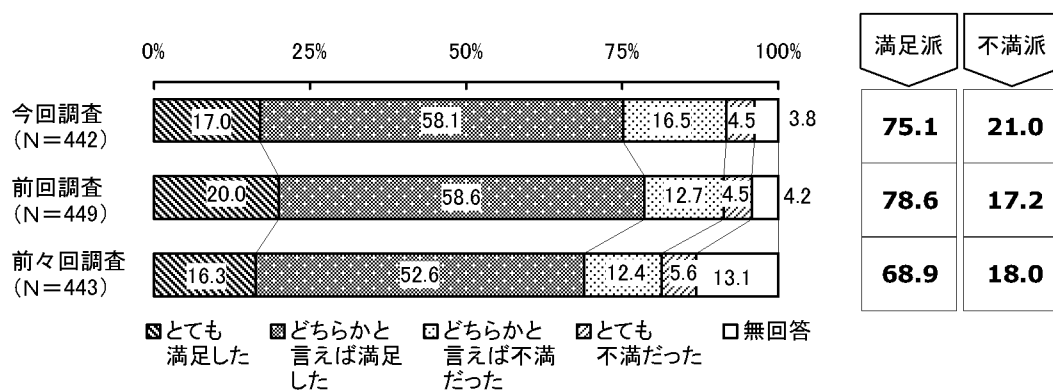
経年比較でみると、前回調査より『満足派』がわずかに減少しているものの、全体の傾向には大きな変化はみられない。

性別でみると、男性は『満足派』(76.9%)の割合が女性(73.8%)に比べてやや高い。

年代別でみると、『不満派』の割合が30歳代(29.1%)と40歳代(28.8%)で比較的高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』の割合が相対的に低いのは国分小学校区(65.7%)、太宰府南小学校区(70.0%)である。

問 67 付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)



		標本数	とても満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	とても不満	無回答	満足派	不満派
全体		442	75	257	73	20	17	332	93
性別	男性	182	16.5	60.4	14.8	4.9	3.3	76.9	19.7
	女性	260	17.3	56.5	17.7	4.2	4.2	73.8	21.9
年代別	20歳代	42	14.3	66.7	11.9	2.4	4.8	81.0	14.3
	30歳代	86	12.8	57.0	19.8	9.3	1.2	69.8	29.1
	40歳代	66	13.6	53.0	27.3	1.5	4.5	66.6	28.8
	50歳代	77	16.9	58.4	15.6	3.9	5.2	75.3	19.5
	60歳代	110	16.4	61.8	11.8	5.5	4.5	78.2	17.3
	70歳以上	60	30.0	51.7	13.3	1.7	3.3	81.7	15.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	51	21.6	60.8	9.8	5.9	2.0	82.4	15.7
	太宰府東小学校区	43	7.0	76.7	9.3	4.7	2.3	83.7	14.0
	太宰府南小学校区	30	23.3	46.7	20.0	3.3	6.7	70.0	23.3
	水城小学校区	79	26.6	50.6	11.4	6.3	5.1	77.2	17.7
	水城西小学校区	57	10.5	64.9	19.3	3.5	1.8	75.4	22.8
	太宰府西小学校区	66	24.2	54.5	12.1	4.5	4.5	78.7	16.6
	国分小学校区	73	6.8	58.9	27.4	2.7	4.1	65.7	30.1
	わからない	39	12.8	51.3	25.6	5.1	5.1	64.1	30.7
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-

3. 広域連携の推進（問 68）

●住民サービスの向上について、『肯定派』が4割弱、『否定派』は2割強。前回調査より『肯定派』が増加。

広域的な取り組みによる住民サービスの向上については、「そう思う」が9.4%、「どちらかと言えばそう思う」が27.7%で、これらを合わせた『肯定派』は37.1%である。一方、「そう思わない」（8.3%）と「どちらかと言えばそう思わない」（15.5%）を合わせた『否定派』は23.8%となっており、『肯定派』が『否定派』を13.3ポイント上回っている。また、この質問に対しては「わからない」が36.5%と多くなっている。

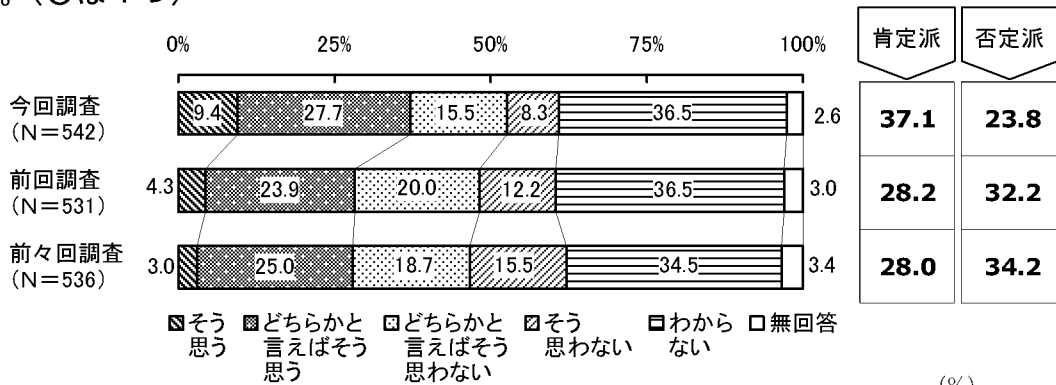
経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が8.9ポイント増加し、一方『否定派』は8.4ポイント減少しており、広域的な取り組みによる住民サービスの向上を感じている人が増加していることがうかがえる。

性別にみると、『肯定派』は男女で差がみられないが、『否定派』の割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、30歳代で『肯定派』の割合が相対的に高く、一方『否定派』が低い。『否定派』は40歳代、50歳代で他の年代に比べて高い。

問 68. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。（○は1つ）



	標本数	回答内容 (%)					無回答	肯定派	否定派
		そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えば思わない	そう思わない	わからない			
全体	542	9.4	27.7	15.5	8.3	36.5	2.6	37.1	23.8
性別									
男性	227	8.8	29.1	18.9	9.3	32.6	1.3	37.9	28.2
女性	315	9.8	26.7	13.0	7.6	39.4	3.5	36.5	20.6
年代別									
20歳代	51	9.8	23.5	13.7	5.9	43.1	3.9	33.3	19.6
30歳代	105	12.4	26.7	14.3	2.9	42.9	1.0	39.1	17.2
40歳代	88	8.0	30.7	11.4	17.0	33.0	-	38.7	28.4
50歳代	89	4.5	31.5	22.5	6.7	34.8	-	36.0	29.2
60歳代	130	10.8	25.4	13.8	10.0	34.6	5.4	36.2	23.8
70歳以上	78	10.3	26.9	17.9	6.4	33.3	5.1	37.2	24.3
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別									
太宰府小学校区	63	14.3	25.4	19.0	6.3	34.9	-	39.7	25.3
太宰府東小学校区	60	3.3	26.7	25.0	15.0	28.3	1.7	30.0	40.0
太宰府南小学校区	36	16.7	30.6	-	8.3	44.4	-	47.3	8.3
水城小学校区	98	12.2	28.6	13.3	3.1	40.8	2.0	40.8	16.4
水城西小学校区	75	6.7	26.7	13.3	8.0	42.7	2.7	33.4	21.3
太宰府西小学校区	77	14.3	29.9	14.3	9.1	27.3	5.2	44.2	23.4
国分小学校区	83	6.0	33.7	18.1	10.8	27.7	3.6	39.7	28.9
わからない	46	2.2	15.2	17.4	6.5	56.5	2.2	17.4	23.9
無回答	4	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0

第5節 まちづくりに対する自由意見

目 標	施 策 名	意見数
健やかで安らぎのある 福祉のまちづくり	子育て支援の推進	29
	高齢者福祉の推進	4
	障がい福祉の推進	2
	地域福祉の推進	3
	生涯健康づくりの推進	1
	社会保障の適正な運営	4
安全で安心して暮らせる まちづくり	防災・消防体制の整備充実	4
	防犯・暴力追放運動の推進	8
	交通安全対策の推進	23
	安全な消費生活の推進	0
豊かな心を育みふれあいを 大切にするまちづくり	人権を尊重するまちづくりの推進	3
	男女共同参画の推進	0
	生涯学習の推進	12
	社会教育の推進	1
	学校教育の充実	5
人と自然が共生する 環境にやさしいまちづくり	文化芸術の振興	0
	生活環境の向上	16
	自然共生社会の構築	6
	環境型社会の構築	3
	低炭素社会の構築	1
魅力的な生活空間が整い 産業が活気づくまちづくり	環境教育・学習の推進	1
	未来に伝える景観づくり	4
	計画的なまちづくりの推進	26
	地域交通体系の整備	49
	良質な水道水の安定供給	27
	下水道の整備と普及促進	0
歴史を活かし文化を守り 育てるまちづくり	産業の振興	4
	文化遺産の保存と活用	10
	観光基盤の整備充実	9
市民と共に考え共に創る まちづくり	国際交流・友好都市交流の推進	1
	市民参画の推進	4
	情報の共有化と活用	7
	市民のための行政運営	26
その他	広域連携の推進	0
	市議会 議員	6
	税金 公共料金	8
	その他	18

合計 325

附属資料 使用した調査票

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートにご協力をお願い

本庁なちで、歴史と文化の豊かさの文化のまち、その発展のために長年努力を怠らないまちづくりを
掲げ、まちづくり計画期間：平成25年度～平成27年度の実施計画を策定し、進めています。また、積極的に
取り組んでまいりたい。その実現に向け、市民の皆様のご意見や市の活性化の促進についてご意見
をお寄せいただき、まちづくりの発展に寄与してまいりたいです。

先ほどお申し込みいただいたアンケート調査票の発送は印刷と返却の都合で、**3月22日(水)**
以降の発送の遅延が生じることがあります。ご理解をいただき、**切手は不要です。**
ご質問が起きたりお手数をいただく場合は、**お問い合わせください。**（切手は不要です）
市民意識調査の進捗やお問い合わせ先は、**お問い合わせ先**をご覧ください。

※このアンケートは、本庁を中核とし、10歳以上の1,000人を随机抽出し、30日
前後に実施いたします。

※アンケート結果は、市民意識調査の結果として、ご意見を公表することはありません。
市民意識調査の結果は、市民意識調査の結果として、ご意見を公表することはありません。
市民意識調査の結果は、市民意識調査の結果として、ご意見を公表することはありません。

平成23年3月 太宰府市長 井上 保 廣

ご記入にあたって

1. 全て系のご本人のみ記入ください
 2. 本庁が別府でもない場合は、ご回答の方が知事不在についてお断りください
 3. お答えは、あくまでも回答の欄に「〇」印を付けてください。
 4. たいとほ、「1. 〇」欄で「〇」印を付けてください。その他の欄が埋まらなくても
回答があってもよいので、それぞれの回答の欄を必ずご記入ください。
 5. ご記入は郵送または第一封筒に入れてお送りください
- ※この調査に関するお問い合わせは、次のようにお願いします。

本庁内 総務課 経営企画課 企画推進係
電話 9 2 1 - 2 1 2 - 4 5 4

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(平成23年3月末時点で)

1. 20～24歳
2. 25～29歳
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50～54歳
8. 55～59歳
9. 60～64歳
10. 65～69歳
11. 70～74歳
12. 75～79歳
13. 80歳以上

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代同居世帯 親が不在
4. 3世代同居世帯 親が同居
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他

問4. あなたの職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なものを1つ)

1. 会社員
2. 個人事業主
3. 自営業 (農林水産物等の生産者以外)
4. 学生・アルバイト・パートなど
5. 専業主婦
6. 無職
7. その他
8. その他
9. その他
10. その他

付問1【問4で5・6・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中から
お選びください。

1. 本庁内
2. 郊外
3. 郊外以外
4. その他
5. 本庁内
6. 郊外
7. 1から6以外の指定のない町
8. その他

〔まちの住みやすさについておたずねします〕

- 問9. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)
1. 住みやすい
 2. どちらかといえば住みやすい
 3. どちらともいえない
 4. どちらかといえば住みにくい
 5. 住みにくい

- 問10. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)
1. 住み続けたい
 2. どちらかにつない
 3. 住みたくない

付図1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|-----------------|------------------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 子育てがしやすい | 19. 学校の授業が面白い |
| 2. 自然景観の環境が良い | 11. 農産物産出が豊富である | 20. 農産物産出が豊富である |
| 3. 水・冷暖気設備が良い | 12. 子育てしやすい | 21. 子育てしやすい |
| 4. 交通手段が便利である | 13. 交通環境が良い | 22. 交通環境が良い |
| 5. 支那や北米が身近である | 14. 教育・文化活動の盛況が感じられる | 23. 教育・文化活動の盛況が感じられる |
| 6. 暮らしの定住者が多い | 15. 健康づくりに関する事業が充実している | 24. 健康づくりに関する事業が充実している |
| 7. 人口・地人が多い | 16. 治安がよい | 25. 治安がよい |
| 8. 通勤通学の交通の便が良い | 17. 外国産品や産物の産出が多い | 26. 外国産品や産物の産出が多い |
| 9. 居住が安く買い取りやすい | 18. その他 | 27. その他 |

…付図2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 近所づきあいが悪い | 10. 子育てが難しい | 19. 学校の授業が面白い |
| 2. 自然景観の環境が悪い | 11. 農産物産出が少ない | 20. 農産物産出が少ない |
| 3. 水・冷暖気設備が悪い | 12. 子育てが難しい | 21. 子育てが難しい |
| 4. 交通手段が不便である | 13. 交通環境が悪い | 22. 交通環境が悪い |
| 5. 支那や北米が身近でない | 14. 教育・文化活動の盛況が感じられない | 23. 教育・文化活動の盛況が感じられない |
| 6. 健康づくりに関する事業が少ない | 15. 健康づくりに関する事業が充実していない | 24. 健康づくりに関する事業が充実していない |
| 7. 人口・地人が少ない | 16. 治安が悪い | 25. 治安が悪い |
| 8. 通勤通学の交通の便が悪い | 17. 外国産品や産物の産出が少ない | 26. 外国産品や産物の産出が少ない |
| 9. 居住が安い | 18. その他 | 27. その他 |

問5. あなたの住んでいる行政区を次の中からお選びください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|
| 1. 芝山 | 13. 新町 | 27. 緑台 | 41. 吉松 |
| 2. 石川 | 14. 日川 | 28. 豊中 | 42. 豊津 |
| 3. 坂井 | 15. 五条 | 29. 藤原台 | 43. つつじが丘 |
| 4. 二茶 | 16. 赤松 | 30. 水津 | 44. ひまわり台 |
| 5. 二茶台 | 17. 五条西 | 31. 水津台 | 45. 穂積 |
| 6. 穂積屋 | 18. 五条東 | 32. 水津中 | 46. わかあそび |
| 7. 豊津 | 19. 南中 | 33. 三茶 | 47. 入舟野 |
| 8. 藤原台 | 20. 早中 | 34. 二本 | 48. 入舟野台 |
| 9. 藤原西 | 21. 藤原 | 35. 数寄屋 | 49. 西舟野 |
| 10. 入舟 | 22. 西原 | 36. 東原 | 50. 舟原台 |

問6. あなたの住んでいる小行政区を次の中からお選びください。

1. 太宰府小学校
2. 太宰府東山小学校
3. 太宰府中山小学校
4. 水津小学校
5. 水津西小学校
6. 太宰府中山小学校
7. 芝山小学校
8. 石川小学校

問7. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成29年3月末時点で)

- 次の中からお選びください。
1. 3年未満
 2. 3年以上～5年未満
 3. 5年以上～10年未満
 4. 10年以上～15年未満
 5. 15年以上～20年未満
 6. 20年以上～25年未満
 7. 25年以上

問8. あなたの住まいを次の中からお選びください。

1. 持ち家(分譲マンション)
2. 賃貸住宅(ワンルーム)
3. 4世帯
4. 借家(下宿)
5. その他

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 11. あなたは第五次全国都市総合計画後継計画に掲げた次の3-4の施策について、
今後どのように取り組むべきかと思いますか。
(○は施策ごとに1つ)

	1. 重要施策として取り組むべき施策 と見なす	2. 取り組むべき施策と見なす が、優先度は低い	3. 取り組むべき施策 と見なさない	4. 取り組むべき施策 と見なさない理由 (自由記述)	5. その他 の記述				
施策01	子育て支援の推進、子育て支援センターの拡充 等、子育て支援の推進	1	2	3	4	5	6		
施策02	高齢者福祉の推進、高齢者の生活の質の向上 等の推進、高齢者福祉の推進	1	2	3	4	5	6		
施策03	中小企業の支援の推進、中小企業の成長支援 等の推進、中小企業の成長支援	1	2	3	4	5	6		
施策04	地域振興の推進、地域振興の推進、地域 振興の推進	1	2	3	4	5	6		
施策05	生活困窮者への支援の推進、生活困窮者への 支援の推進	1	2	3	4	5	6		
施策06	社会福祉の推進、社会福祉の推進、社会福祉 の推進	1	2	3	4	5	6		
施策07	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策08	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策09	交通・物流の推進、交通・物流の推進、交通・ 物流の推進	1	2	3	4	5	6		
施策10	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策11	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策12	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策13	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策14	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策15	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		
施策16	防災・減災の推進、防災・減災の推進、防災・ 減災の推進	1	2	3	4	5	6		

	1. 重要施策として取り組むべき施策 と見なす	2. 取り組むべき施策と見なす が、優先度は低い	3. 取り組むべき施策 と見なさない	4. 取り組むべき施策 と見なさない理由 (自由記述)	5. その他 の記述				
施策17	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策18	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策19	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策20	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策21	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策22	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策23	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策24	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策25	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策26	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策27	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策28	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策29	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策30	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策31	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策32	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策33	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		
施策34	生活環境の向上、生活環境の向上、生活環境の 向上	-	2	3	4	5	6		

各施設について
具体的に教えてください

子育て支援の施設

【次の2問は、中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問12. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

問13. あなたは子育てに関して不安や負担を感じますが、(○は1つ)

1. 大きな負担を感じる
2. どちらかといえば大きな負担を感じる
3. どちらかといえば大きな負担を感じるはない
4. 全く不安や負担を感じない

通学通園施設の施設

問14. 【5歳以上の方だけにおたずねします】

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. よく生活している
2. どちらかといえば生活している
3. どちらかといえば生活していない
4. 全く感じていない

問15. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

障がい福祉の施設

問16. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問17. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が障がい者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問18. あなたは市内の民間施設(商業施設等)が障がい者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

地域福祉の施設

問19. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が頻りに行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

生涯学習づくりの施設

問20. あなたのご家族間の関係状態はいかがですか。(○は1つ)

1. よく生活できている
2. 悪くない
3. あまり悪くない
4. 悪くない

問21. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問22. あなたはこの一考問に、1回以上健康診断を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けている
2. 受けていない

防犯・消防体制の整備状況

問 23. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか、以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

- ① 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転倒防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ

防犯・暴力団対策に関する意識

問 24. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)

- 1. とても安心している
- 2. やや安心している
- 3. どちらかといえば安心している
- 4. どちらかといえば不安定である
- 5. とても不安定である

付随1 あなたの家や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありますか、具体的に記述してください。

防犯・暴力団対策に関する意識

問 25. あなたやあなたの家族が、この1年間に単身・不慮請求や不慮正金引付金(虚偽請求やキャッシュサービス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

- 1. 被害を受けた
- 2. 互換の被害はないが不安を感じた
- 3. 被害を受けた

+付随1【被害を受けた、互換の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的に、どのような被害や不安ですか。(○は1つでも)

- 1. 単身請求・不慮請求
- 2. 虚偽請求・虚偽請求・的虚偽・請求書・キャッシュカード改ざり
- 3. キャッシュサービス・現金請求による被害
- 4. 振り込み詐欺
- 5. その他(具体的に)

人権を尊重するまなづくりの推進

問 26. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を尊重されたことがありますか。(○は1つ)

- 1. ある
 - 2. ない
- +付随1【あると答えた方】におたずねします。それほどどのような人権尊重ですか。(○はいくつでも)
- 1. 性別差別
 - 2. 年齢・若年・高齢者による人権
 - 3. 障害のある人権
 - 4. 障がい者の人権
 - 5. 高齢者の人権
 - 6. 外国人の人権
 - 7. HIV感染などの人権
 - 8. その他(具体的に)

問 27. あなたは今の本署前市では調和問題をほじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

- 1. 尊重されている
- 2. どちらかといえば尊重されている
- 3. どちらかといえば尊重されていない
- 4. 尊重されていない

問 28. あなたは「調和地区」(調整別調整)と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思いますか。(○は1つ)

- 1. 人種や民族が理由
- 2. 宗教が理由
- 3. 特定の事業に競争しつた
- 4. 中世から歴史的原因からして社会的・政治的に決められた
- 5. 土地が狭いから
- 6. 悪い話のイメージがある
- 7. その他
- 8. わからない
- 9. すべてが理由の1つを挙げられない

問 29. あなたは調和を定めるときに、軍情とか血縁を調和にする調和についてどのような思いですか。(○は1つ)

- 1. 調和がとれず、調和がとれない
- 2. 調和がとれず、調和がとれない
- 3. 調和がとれず、調和がとれない

男女共同参画の意識

問 30. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって区別された役割分担の考え方にどの程度同意しますか。(〇は1つ)

1. 同意する
2. ある程度同意する
3. あまり同意しない
4. 同意しない

問 31. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思っていますか。

(〇は1つ)

1. 女性の方が優れている
2. どちらかといえば、女性の方が優れている
3. 平等である
4. どちらかといえば、男性の方が優れている
5. 男性の方が優れている
6. どちらもない

生涯学習の意識

問 32. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(〇は1つ)

1. 生涯学習の経験がある
2. 生涯学習の経験がある
3. 月に数回程度経験がある
4. 年に数回程度経験がある
5. 年に1回程度経験がある

問 33. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)

1. 生涯学習の経験がある
2. 生涯学習の経験がある
3. 月に数回程度経験がある
4. 年に数回程度経験がある
5. 年に1回程度経験がある
6. 年に1回程度経験がある

文化芸術の意識

問 34. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加を含む）をしていますか。

(〇は1つ)

1. 生涯学習の経験がある
2. 生涯学習の経験がある
3. 月に数回程度経験がある
4. 年に数回程度経験がある
5. 年に1回程度経験がある

生涯学習の向上

問 35. あなたは生涯学習の環境は有意で進歩的だと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. やや思う
3. あまり思うのではない
4. そう思わない

問 36. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の糞いす、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思えますか。

(〇は1つ)

1. 守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. 守られていない

問 37. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(〇は1つ)

1. 参加している
2. 参加している
3. 参加していない

環境共生社会の意識

問 38. あなたは本市府市の自然は量かであると感じますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. やや思う
3. あまり思うのではない
4. そう思わない

環境共生社会の意識

問 39. あなたは日頃から、省エネルギー、省資源の活動（節電・節水や、エコバッグや画集包装など）を行っていますか。(〇は1つ)

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. 行われていない

問 40. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。(Oは1つ)

1. 毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生涯教育・学習の意識

問 41. あなたはこの1年間で、取組に関する学習会や講座等に参加したことがありますか。(Oは1つ)

1. 全く参加していない
2. 主に1回程度に参加している
3. 数回参加したことはない

地域に居る価値づくり

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 43. あなたは美術館・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたが住んでいる地区は、農村なまちなみだと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

計画的なまちづくりの意識

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道幅や公園などの都市景観が整えられるなど、計画で整備がよいところだと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 46. あなたは公園や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思えますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

地域交通体系の意識

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思えますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを使いたくないのでわからない

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思えますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 49. あなたは市内の道路整備について、決断もなく円滑に整備できると思えますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 50. あなたは日頃、どのようにして買い物に行きますか。(Oは1つ)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自家用車
4. 鉄道
5. ネット通販(イリス・山形県民)
6. 送迎バス
7. タクシー
8. その他 :

旅費の負担

- 問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物をしていますか。(Oは1つ)
1. 家や近所
 2. 福寿町
 3. 高井町
 4. 香取市
 5. 本野町
 6. 野田川町
 7. 香取市
 8. 1から7.以外の町や町

文化遺産の保存と活用

- 問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思っていますか。(Oは1つ)
1. そう思う
 2. どちらかといえば思う
 3. どちらかといえば思わない
 4. そう思わない

県立施設の整備状況

- 問 53. あなたは九州国立博物館に寄ったことがありますか。(Oは1つ)
1. 4回以上寄ったことがある
 2. 2～3回寄ったことがある
 3. 1回寄ったことがある
 4. 行ったことがない

国庫文庫・本野町文庫の整備

- 問 54. あなたは日頃から市内住の外国人と交流していますか。(Oは1つ)
1. ほぼ毎日交流している
 2. 週に1回は交流している
 3. 月に数回は交流している
 4. 年に数回は交流している
 5. ほとんど交流していない

- 問 55. あなたは本野町市では本野町市、福徳市、香取市、高井町市と富城町市
 福徳市とは高井町市をそれぞれ姉妹市として締結していることをご存じですか。
 (Oはいくつでも)

1. 本野町市とは姉妹市締結が完了している
2. 本野町市とは姉妹市締結が完了していない
3. 高井町市とは姉妹市締結が完了している
4. 高井町市とは姉妹市締結が完了していない

- 問 56. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘郡や京研都市である高良市、
 高井町市の人たちと交流をしていますか。(Oは1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回は交流している
3. 月に数回は交流している
4. 年に数回は交流している
5. ほとんど交流していない

- 問 57. あなたは外国人や留学生などのような交流をしたいと思いますか。(Oはいくつでも)

1. 積極的に交流
2. スポーツ交流
3. 文字通り
4. ホールやスポーツ
5. その他

市民参加の状況

- 問 58. あなたは自治会活動に参加していますか。(Oは1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

- 問 59. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(Oは1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

情報の共有化と活用

- 問 60. あなたは市民と行政とが互いに情報を共有できていると思えますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. そう思わない

問 61. あなたは「広聴だより」「太宰府市議会だより」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見えていますか。(Oはそれぞれ1つ)

広聴だより	議会だより	本報府市ホームページ
1. いくつも読んでいる	1. いくつも読んでいる	1. いくつも読んでいる
2. 1かよいて読んでいる	2. 1かよいて読んでいる	2. 1かよいて読んでいる
3. ほとんど読んでいない	3. ほとんど読んでいない	3. ほとんど読んでいない
4. 読んでいない	4. 読んでいない	4. 読んでいない
5. 見る必要がない	5. 見る必要がない	5. 見る必要がない

問 62. あなたは市が積極的に情報をお知らせしていると思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えば思う
3. どちらかと言えば思わない
4. そう思わない

問 63. あなたはパソコンを持っていますか。(Oは1つ)

1. 持っている
2. 家族が使っている
3. ない

▶付問 1【持っている・家族が使っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(Oは1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

問 64. あなたは携帯電話を持っていますか。(Oは1つ)

1. 持っている
2. 持っていない

▶付問 1【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(Oは1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

市民のための情報窓口

問 65. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えば思う
3. どちらかと言えば思わない
4. そう思わない

問 66. あなたは市議員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。(Oは1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 67. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

▶付問 1【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。

(Oは1つ)

1. とても迅速だった
2. どちらかと言えば迅速だった
3. どちらかと言えば遅かった
4. とても遅かった

▶付問 2【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の前向き姿勢に満足しましたか。(Oは1つ)

1. とても満足した
2. どちらかと言えば満足した
3. どちらかと言えば満足しなかった
4. とても満足しなかった

広聴活動の推進

問 68. 福岡県市圏では通称専攻通聴推進員や水戸東の通聴、田舎通聴や市民通聴の広聴利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する取組に対し、圏域全体の一体的対応と、圏外と圏内にあふれた住みよき都市圏の形成に向けて取組を進めています。あなたは福岡県市圏の広聴的な取組によって住居サービスが向上したと認識しますか。(Oは1つ)

(Oは1つ)

【福岡県市圏の概要】

- 福岡県市圏(福岡市)の周辺11市町(五本松町・香川町・大野城町・大野城町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町)
- 福岡県市圏(福岡市)の周辺11市町(五本松町・香川町・大野城町・大野城町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町)
- 福岡県市圏(福岡市)の周辺11市町(五本松町・香川町・大野城町・大野城町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町・新宮町)

1. そう思う
2. どちらかと言えば思う
3. どちらかと言えば思わない
4. そう思わない
5. わからない

(最後にまちぐりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)
※「同意放棄」

貴重なご意見をありがとうございました。

今後で、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みでしたら、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、**3月22日(水)**までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

発行年月日 平成 23 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601